朝陽



No. 70
2021 Jun

東京都立新宿高等学校〔府立六中〕朝陽同窓会

凪屋 nagiya

東京ノアレザンプロデュース
サンドイッチ専門レーベル



2021年初夏　OPEN予定！

都立新宿高校正門から甲州街道を渡ってすぐ!

サンドイッチ専門店《凪屋 nagiya》
新宿3丁目に魅惑のフルーツサンドイッチが登場

〒160-0022 東京都都新宿区新宿３丁目１-３２

最高級食パン専門店 東京ノアレザン

安心･安全な素材にこだわり、しっとり耳まで柔らかく
スイーツのような最高級食パンを
お楽しみください



【西瑞江店】 TEL. 03-5636-4220
【船堀販売所】 TEL. 03-5636-4220（西瑞江店で承ります）
【亀戸販売所】 TEL. 03-6696-7036
【人形町店】 TEL. 03-6842-4276
【蒲田店】 TEL. 03-6424-9940
【港南台店】 TEL. 045-831-8887
【井土ヶ谷販売所】 TEL. 045-743-3299

お土産としてもどうぞ…



新宿 丸港水産

北海道各地の新鮮魚貝
産地直送厳選素材を集めました

御予約の際に『新宿高校OBです!』とお伝え頂ければお得なサービスご用意させて頂きます！





北海道直送の厳選素材をたっぷりご用意! 漁師街の様な活気あふれる店内で思う存分ご堪能下さい。

【新宿店】



TEL.03-5367-2377
東京都新宿区新宿3-12-12 吉田ビル1・2F 年中無休

ご宴会承ります!!
人数・ご予算ご相談ください

自然薯料理 山薬（さんやく） 清流庵

万能の山の薬。滋養あふれる
自然薯を様々な料理でどうぞ



【自然薯麦とろと田舎蕎麦　山薬清流庵　新橋汐留店】
TEL. 03-5537-5308

【自然薯麦とろ御膳　山薬清流庵　イオンモール幕張新都心店】
TEL. 043-213-5300

【自然薯麦とろおばんざい　山薬清流庵　新百合ヶ丘エルミロード店】
TEL. 044-965-3163

【自然薯麦とろおばんざい　山薬清流庵　ココリア多摩センター店】
TEL. 042-313-7587



山芋の中で唯一の日本原産種である希少な自然薯。
滋養強壮･美肌効果などに役立つ「山の薬」と呼ばれる自然薯の専門店です。

鳥 からあげ とり多津

元祖 **東京醤油からあげ**

純粋はちみつと淡口醤油に数種類のスパイスを絶妙にブレンド。
豊な風味をお楽しみあれ。

《金賞》トリプル受賞

とり多津はさらに(紅生姜からあげ)と(チキン南蛮)もトリプル受賞しています。

日本唐揚げ協会 からあげグランプリ 味バラエティ部門 紅生姜からあげ 金賞受賞

日本唐揚げ協会 からあげグランプリ チキン南蛮部門 チキン南蛮 金賞受賞

4年連続 日本唐揚げ協会 からあげグランプリ 東日本しょうゆダレ部門 東京醤油からあげ 金賞受賞

株式会社エフアンドビー･プロジェクト
東京都大田区東蒲田2-30-17（サンユー東蒲田ビル2階）

代表取締役社長　織岡 陽一郎（24回卒）

朝陽七十号　目次

会長ご挨拶……19橋本健一…2

周年記念特集記事

卒業二十周年……五三回生…3
卒業三十周年……四三回生…9
卒業四十周年……三三回生…15
卒業五十周年……二三回生…21
卒業六十周年……十三回生…29

会員随筆

大家族主義体現の場…38鈴木仁志…31
七三才のユーチューバー……
……18三上（伊藤）彩子…35
東日本大震災十年の福島から…
……38阿部浩一…38
コロナから納豆……34横田康子…42
視座を変えるということ……
……41松岡由紀…44
成蹊と私……7別府祐弘…47

新宿高校旧教職員寄稿随筆

高校生と「核兵器のない世界」
をめざして……社会科　菅　豊…49

支部便り・部活報告

朝陽ＵＳＡ支部報告…34横田康子…50
群馬朝陽会便り……25浅原寛人…51
九州朝陽会便り……29山下美智恵…51
多摩朝陽会便り……33大内　哲…51
宮城朝陽会お知らせ…38小田島肇…52
朝陽バラ会……39武内俊介…52

母校便り

学校長ご所感……藪田憲正校長…55
母校だより……高取克明副校長…56
退任のご挨拶
「発展を続ける新宿高校へ」……
……加藤　隆前校長…57
異動に伴うご挨拶……
……内海秀一前副校長…57
教職員異動・進学データ…事務局…59

創立百周年記念特集

３／１００の高校生活……
……8小林暁生…60
新宿高校らしい百年誌を目指す…
……15西出紀久…60
個性豊かな面々に思う……
……18柴田真樹…61
旧教職員として……24西尾信子…61
副会長になりました…25渡辺康隆…62
朝陽同窓会での二十歳代、
三十歳代の活動の場について……
……27宮坂雅子…62
ＴＥＡＭ　ＴＡＴＥＹＡＭＡ
髙橋寛です！……32髙橋　寛…63
幾多の偶然により得られた繋がり…
……34小野瑞城…63
高校での教えが導いた秘策……
……34渡辺信久…64
創立百周年記念に寄せて……
……60楠木綿太…64
新宿高校でのラグビーとの出会い…
……31中越一統…65
世代を超えた卒業生との出会い…
……44廣田勝彦…65

事務局便り

令和二年度紙上総会報告……
……22寺澤忠興…67
同窓生支援活動……事務局…67
母校支援活動……事務局…67
寄贈図書一覧……事務局…68
会費納入状況……事務局…70
令和三年度総会書面開催議案……
……22寺澤忠興…67
議案１　役員人事……事務局…70
議案２　館山寮再建の取組……
……事務局…71
議案３　二〇二〇年度事業報告と
決算……事務局…72
議案４　二〇二一年度事業計画と
予算……事務局…75
財団朝陽会財務諸表…22寺澤忠興…77

追悼文・訃報

追悼：岩波祐治先生…35高橋　望…78
追悼：井村誠司先生…29川村喜昭…79
訃報……事務局…80

告知記事

０会案内……80
六声会合唱団募集……66

広告目次

エフアンドビー・プロジェクト……表2
京王プラザホテル……54
焼肉酒家李苑……74
名刺広告……53
株式会社ゼンショーＨＤ……表3

会長ご挨拶

百年続く同窓会の知恵の結集を

朝陽同窓会会長　橋本健一（一九回）



一九六四年（昭和三九年）、東京オリンピック開催。私は高校一年生でした。十月二一日（水）には午後一時国立競技場をスタートしてマラソンが行われました。コースとなる甲州街道までは自宅から五分程の距離。テレビを観つつ、頃合いを見計らって沿道まで駆けつけ、人垣の隙間から優勝したエチオピアのアベベ選手が走り去る瞬間を目撃しました。しかし、この日は平日。当然、学校では授業が行われていました。なぜ、私が自宅でテレビを観ていたのか、そこだけ、記憶はないのですが…。

それは兎も角、本来なら既に語り草となっていた筈の二度目の東京オリンピック、延期となった今年も開催が危ぶまれている状況が続いています。

同窓会の目的の一つは規約にも謳われているように会員相互の親睦を図ることにあります。それは総会、ホームカミングデー、朝陽クラブ等々、人が集まることにより成し遂げられてきました。しかし、その「人が集まる」というスタイルを昨年に始まるコロナ禍は奪い去ってしまいました。総会も同窓会誌「朝陽」に議案を掲載し、Eメール等で賛否をお伺いする紙上開催方式をとらざるを得ませんでしたが、結果的には二〇七名の方からご連絡をいただくことができ、従来、総会の出席者数は百名前後でしたから、これまでより多くの方のご意見を反映させることができたことになったのは紙上開催方式の一つの収穫であったかもしれません。本年度も同様の方法での開催となりますが、ご協力をよろしくお願いいたします。また、同窓会が直面する課題として館山寮再建の問題がありますが、詳しくは募金趣意書に述べましたので、併せてご覧いただければ幸いです。

さて、いよいよ、母校創立百周年を迎える二〇二二年も目前です。既に、奨学金支給等の記念事業も開始され、明年の記念祝賀会、記念音楽会などの諸事業も検討段階に入らなければなりません。しかしながら、これまでのようなスタイルで果たして実行できるのか、全く見通しのきかない状況は続くと覚悟しなければなりません。百年続く同窓会の知恵を結集し、よくぞここまで工夫したねと称賛される百周年記念を迎えたく、重ねてのご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、昨年、田中俊郎前会長の突然の辞任を受け急遽会長職を引き継ぎましたが、此の度、会務運営上の都合により、会長を青柳正規氏（一五回）にお願いしたく提案することにいたしました。実は青柳氏には二〇一五年に一度会長をお引き受けいただいたのですが、直後に文化庁長官に就任されたため会長職との両立は困難であるとのご判断から、僅か一年で垂水尚志元会長（一五回）に引き継がれた経緯があります。現在もご多用であることに変わりはないのですが、重ねての懇請にご承引いただくことができました。別掲のご経歴のように、百周年記念を迎える朝陽同窓会のリーダーとして相応しい方をお迎えできます。ぜひとも会長をお願いし、私は実務面から同窓会に貢献できればと考えています。会員の方々のご賢察をお願いいたします。

卒業二十周年

53回

懐かしの新宿体操

E組　中村（角田）沙織

およそ十年前に一度、同窓会が行われ懐かしい話で盛り上がったように思います。

更にそれから約十年。この度、学年代表幹事ということで、寄稿依頼のお話をいただき、卒業して二十年もの月日が経ったことに気づくことになりました。

なかなか日々忙しく連絡を取り合うことが少なくなりましたが、これをいい機会に同級生たちと久し振りにSNSなどで連絡を取らせていただきました。急な依頼にも関わらず、今回執筆にご協力くださった皆様にはこの場をお借りして、深く御礼申し上げます。

さて二〇二〇年・二〇二一年は、新型コロナウィルス感染症により「緊急事態宣言」が出され、長期間皆様も大変な思いをされたことと思います。

緊急事態宣言が出た当初、一日中家に子供たちと過ごしていると家事や子供たちの喧嘩の仲裁が増え、些細なことではありますが、自分のペースで生活することが難しくなり、多少ストレスを感じ始めておりました。

親子共にストレスや運動不足解消にと、毎日いろいろな動画を見ながら運動をすることにしました。

そんな時、新宿高校の同級生がSNSで「エクササイズ用に動画検索をしていたら、『新宿体操』の動画を見つけました」というリンク付きの投稿を見つけ、すぐさまクリックしてみました。

高校当時体育委員長を務めていた私は、運動会などの準備体操時に朝礼台で見本として体操をするため、何度も繰り返しこの動画を見て動きを覚えたことを思い出しました。

曲が流れ出すと、約二十年ぶりだというのに不思議と身体が覚えていることに驚きました。やり終えた後に少し息が切れている自分に歳を感じてしまいましたが、とても懐かしくパワーをもらえたような気がします。子供たちには、「この体操、とっても面白いね」と独特な動きに興味津々で好評でした。

元気な身体で過ごせていることや当たり前だった日常に感謝をして、少しでも物事を前向きに捉え、日々過ごしていけたらと思っています。

恐らく、現役の新宿高校生の皆様は、行事開催や部活動など、例年どおりの実施とはならず、歯がゆい思いをされていることと思います。そんな中でも、記憶に残る充実した高校生活を送っていただけたらと願うばかりです。

新型コロナウィルス感染症の早期終息を期待して、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

新宿高校卒業二十年にあたり

A組　八木澤　隆史



光陰矢の如し、新宿高校を卒業して二十年が経ちました。この度は貴重な寄稿の機会を頂き、朝陽同窓会関係者の方々に感謝申し上げます。

思い返しますと、高校に入学した一九九八年、新宿南口エリアは再開発真っ只中でした。旧校舎は当時オープン間もない高島屋と目と鼻の先にあり、特に下校時間帯に感じた街の華やかさ

は刺激的なものでした。賑やかな場所である一方、一旦教室に入るとその喧騒を忘れさせるような新宿御苑の緑が眼前に広がり、そのギャップに不思議な感じがしたことを覚えています。体育祭や学園祭などクラスで団結して臨んだ行事の数々も素敵な思い出です。

医師を志して大学は医学部へ進学しました。学生や研修医時代に、社会では目の前の課題・プロジェクトを一人だけの力で解決することは不可能な場合が多いことを学びました。チームワーク、ディスカッションの場で相手にコンパクトに要点を伝えるスキル、考察力や経験・知識の蓄積に基づいた的確な現場判断力を養っていくことが二十～三十代にかけて非常に大切であると感じています。これは医療現場だけではなく、あらゆる分野で通ずることだと思います。教育目標である自主自律の精神の下、充実した高校時代を過ごせたことが現在の自分の礎となっています。

近況ですが、二〇一八年に米国での三年間の研究留学から帰国し、現在は母校から程近い大学病院にて泌尿器科を専門に腎臓移植や悪性腫瘍など多岐に渡り診療を行っています。

超高齢化社会の中、コロナ禍を経て確立されるニューノーマルな生活形態のもと、今後も時代の変化にadjustしながら医療を通じて社会貢献していきたいと思っています。最後に、新宿高校の今後の更なる発展を祈念致します。

高校はサステナブルか

B組　田中　真之



新宿高校剣道部の先輩が経営する割烹、日本橋小舟町の「はな青」に「客」となり、記念に同店で酒を酌み交わすに至りました。高校でともに稽古した先輩後輩（といっても卒業生と在校生として）が、それぞれ全く異なる分野にいながらビジネス上の人間関係を成立させていることに、若干の感慨を覚えました。

ところで、ちょうど本稿を執筆している時期に、新宿高校のウェブサイトでオンライン授業が始まったことが公表されました。まさに時宜にかなった対応であり、これを一時的なものとせず、さらに発展させることができれば、高校はサステナブルでしょう。

そもそも、勉強のうち、インプットのすべてとアウトプットの一部は一人で行うことに適しており、そのために高校に集まる必要はありません。従来、集まってするものだと思っていた議論や質疑応答などもオンラインで何とかなることを、私たちは最近の経験から学びました。もはや、教室で行う授業のために学校に集まる必要はない、といえます。

また、小中学校には、託児所としての役割がありますが、高校にはそれはありません。

そうすると、オフラインの高校に残るのは、理科の実験・観察をする場所、人付き合いを学ぶ場所、自他を比較し、自己の長所短所を知る場所としての役割といったところでしょうか。

これらに加えて、高校には、一人ではできない活動をする場所としての役割もあります。剣道の稽古は一人ではできません。茶道も客がいないと成立しません。遠泳も、一人ではしなかったでしょう。

そう考えてみると、剣道の稽古を通じて二十年後も形を変えて展開する人

間関係を得た私や先輩後輩は、オフラインの新宿高校をそれなりに有効活用していた、と評価できます。

オンライン授業を原則としつつ、オフラインの高校に残る役割を見極めて限りある通学日を充実させることが、高校生に何十年も活かせる価値を提供することになり、高校を持続可能にする、といえるのではないでしょうか。



出会いと選択

C組　大澤　和正

卒業生の皆様、在校生の皆様、はじめまして。新五三回の大澤和正と申します。

人生には沢山の出会いと選択をすることがあります。私の場合、高校時代の出会いと選択が人生を大きく変えました。

水泳部顧問になられた勝田先生との出会いと一言です、『お前はインターハイに出場できる能力があるのに、なんで真面目に部活をしないんだ？』

当時、なんとなく部活をしていた私は、ここで選択に迫られます。インターハイを目指す？　目指さない？

目指す選択をしたことで、人生が大きく変わりました。その後、頑張りましたが、インターハイには行けませんでした。しかし、全国を目指した事で、何かのスポーツで日本一になる‼　という新たな目標ができ、一人の先輩との出会いで、ライフセービングというスポーツを選択、大学チャンピオンになります。そして、プロ選手として活動していた、二六歳の時に脳腫瘍になりますが、術後半年で復活、日本選手権準優勝。これもたくさんの方の出会いと選択の結果です。

四十歳の時に、全日本チャンピオンになる！　という新たな目標を選択、二八歳で一時引退。

時が経ち、結婚し、家族が5人になり、復活までの道筋を計画中、妻の友人との出会いから、プロ選手として復帰、トレーニングを開始したところです。

普通の人が経験しないであろう人生だなと自分でも思いますが、とても楽しい人生です。

すべては高校生の時に始まりました。

在校生の皆様、皆さんはこれからたくさんの出会い、選択をする場面が来ます。経験上ですが皆さんがいい人でいるならば、いい出会いが必ず訪れる。そして自分が決めた選択には後悔することはないと思います。素敵な出会い、選択をするためにもこれからの人生で何をしたいのか、どうなりたいのかそして、他人に誇れる高校生活を過ごすことが、皆様のこれからの人生に、いい出会い、いい選択をもたらす種まきの期間になるのではと思います。

私も四十歳で、全日本選手権優勝に向けて楽しんで頑張っていきますので、皆様も出会いを大切に高校生ライフ楽しんでください。



脳腫瘍から半年後、ライフセービング
全日本種目別選手権へ挑む筆者



卒業二十年に寄せて

C組　岡田（広瀬）華織

卒業から早二十年。コロナ禍で緊急事態宣言が発令されたある日。休校中の子供達と家で出来る簡単な運動はないかとインターネットを探すと、業間体操（新宿体操）を踊る鈴木裕太先生を見つけました。後ろに写っていたのはバドミントン部として過ごし、仲間との様々な思い出がいっぱい詰まった旧校舎の体育館。先生が踊る体育館と玄関前のスペースでは空き時間に素振りやフットワークをしていたなぁ…と懐かしさのあまり嬉しくなり、軽い気持ちでＳＮＳにアップすると、同級生達が反応してくれました。卒業から二十年経つにも関わらず、懐かしい日々が一瞬で戻ってきたような感覚がしました。

卒業からまだ二十年。現在は高校卒業時には想像もしていなかった関西で生活をしております。引っ越してきた当初は見知らぬ土地で、知り合いがおらず不安しかありませんでした。

そんな時に関西朝陽会の存在を知り、連絡をさせていただきました。参加当初は総会が夜間の開催で、子供が小さかったこともあり参加が叶いませんでしたが、ここ数年は昼間の開催ということもあり、世話人として参加させていただいております。総会の日だけは日頃の関西弁は少し控えめに、関西各地から集まる、一番上は祖父ほどに歳の離れたＯＢ方と昔話に花を咲かせては楽しいひと時を過ごし、交流を重ねております。同じような話であっても、時代によって全く違うので、参加する度にお互いに新しい発見があります。

そんな関西朝陽会では会員を随時募集しております。例年十一月頃の昼間に大阪周辺で関西朝陽会総会を開催しております。進学や仕事等で関西２府４県及び周辺地域在住の卒業生がおりましたら、是非お気軽に朝陽会本部もしくは支部長 渡辺（34回 nobuhisa.watanabe@oit.ac.jp）までご連絡、お問い合わせいただけたら幸いです。参加お待ちしております！



音楽と野球と私

C組　山田（藤江）智美

「人生においては何事も偶然である。しかしまた人生においては何事も必然である。このような人生を我々は運命と称している」とは、『人生論ノート』における三木清の言葉だ。

古びた校舎で友達と過ごした日々を振り返ると、私にとって部活が一番の思い出だ。私は管弦楽部に所属しながらソフトボール同好会にも入っていた。今思うと無謀であるが、その経験が現在につながっている。

管弦楽部は毎日練習があった。演奏会に向けて課題曲をひたすら練習した。指揮者の先生に何度も叱られた。苦い思い出もあるが、音程を崩さずに和音を作れたとき、初めて曲を通しで演奏できたとき、本番でたくさんの拍手をもらったときの喜びは忘れられない。仲間と一つの曲に打ち込むことは高校時代でなければできないことだ。

ソフトボール同好会の練習にはなかなか参加できなかったが、練習や試合に参加できたときはとても楽しかった。高三の夏休み、勉強漬けだった息抜きに一日だけ部活の友人を誘って神宮の

バッティングセンターに出かけたことも思い出す。わがままを受け入れてくれた友人達には心から感謝している。

野球部の応援に行き、神宮第二球場で演奏したこともいい思い出だ。応援曲をひたすら演奏するのは疲れたが、野球部が勝利すると嬉しくなって、みんなで喜び合った。

それから十五年。私はヤクルトスワローズのファンになった。たまたま同僚から神宮球場でのプロ野球観戦に誘われたことがきっかけだ。今は試合に行き、応援するのが何よりの楽しみになっている。神宮でヤクルトの応援曲を聴いていると、演奏していたあの時を思い出し、懐かしい気持ちになる。

演奏と野球、応援と神宮。自分とのつながりは実に不思議で運命的である。高校時代の経験がなければ今の私はない。そして私と関わった様々な人のおかげで現在の私がある。

高校時代やこれまでの縁を強く感じていたときに、この原稿依頼が舞い込んで来たことにも偶然と必然を感じる。



卒業生が支える「館山の臨海教室」はすごい！

D組　坂田　晋一

私は高校卒業後に進学した卒業校で教員をしている。学校の成果は卒業生であり、伝統校ほどその積み重ねがある。実は伝統校の思い出深い学外教育ほど卒業生が支えている。

改めて、新宿高校の「館山の臨海教室」は凄い。



館山寮から沖ノ島（矢印）の写真

新宿校生伝統の思い出である「遠泳後のカレーは最高だった！」ではなく…。

「無理だと思ったことを乗り越えた！」

この思い出作りを館山の皆様・教員・保護者・卒業生で支えていることが凄い。

私の学校も、教員でない人も学生教育に関わる伝統を作りたいものである。

最後にコロナ禍で改めて「集う価値」を考える機会となった。卒業二十



2020年２月１日新53回水泳部同期会

周年を機に、思い出話に花を咲かせる方法も模索したい。



ターニング・イヤー

E組　寺脇（熊谷）千草

一九九八年。それは日本サッカー界の歴史的な年である。フランスで行われたサッカーワールドカップに、初めて日本代表が出場したからだ。日本中が固唾を飲んで試合を見ていた。私が高校一年生の時であった。

いつも驚かれるのだが、私が小中学生の頃は、人見知りが激しく、声が小さくて、とてもおとなしかった。目立つことが苦手で、恥ずかしいことは絶対にやりたくない、失敗なんてしたくない、そんな子だった。そしてそんな自分が大嫌いだった。

懸命にワールドカップの日本代表の試合を見ていて気になる選手がいた。彼は髪を金色に染めていたのでよく目立っていた。彼を深く知るため、雑誌を買い漁り、何度も読み返した。彼は日本人離れした、とてもシンプルな考え方をする人だった。彼のインタビューの一言一句に、当時の私は頭を殴られたような非常に大きな衝撃を受けた。

大人の言う事を聞き、社会の枠に嵌まって生きることが正しくて、社会の枠からはみ出ることはとても悪いことなのだと私は信じ切っていた。しかし、彼はそんな私の古臭い「いい子ちゃん」な考えをいとも簡単に木っ端微塵にしてくれた。彼の名は、中田英寿という。

自由に発言していい、それは恥ずかしいことじゃない。

失敗しても構わない、次に活かせるように自分で考えればいいことで、恥ずかしいことじゃない。

他人の目は気にしなくていい、周囲に無理に溶け込まなくていい、自分の生きたいように生きていい。

夢があるなら、自分に何が足りないのかを「自分で」考えて努力していけばいい。

彼の考えはとても理に適っていて、「そういわれればそうだな」と説得力があり素直に納得できるものだった。そして彼の姿は、私が自分自身を嫌悪している時に、「あんな風になれたらなぁ」と憧れる人物像そのものだった。

一九九八年を境に、私は中田英寿氏の考えを吸収し始めた。「中田英寿だったらどう考えるだろう、どう行動するだろう」と少しずつ彼の考えを習得していった。

あの年はずっと忘れられない。私が生まれ変わった年だから。

今でも、彼は私の「人生の道しるべ」である。



卒業三十周年……月日は流れ、今思うこと

43回



私達四三回生は、ベビーブーム世代のためA組からI組までの九クラス、増学級の学年です。入学は昭和六三年四月。入学式の日は雪。一年生の冬休み、天皇崩御、元号が平成に変わりました。大喪の礼が新宿御苑で行われるため、校門脇に機動隊が立ち、パトカーが御苑の中を走る物々しい雰囲気だったことも、記憶しています。高島屋のある場所は、まだ何もなく代々木の駅から歩いてくる新宿高校生の姿がみえ、都庁は建設中。三年生の時、完成した都庁のテープカットに同期が新宿高校を代表して出席しました。卒業は平成三年三月。新宿高校からそれぞれの道に進んだ私達ですが、三十年の年月を経ても記憶に残ることが多く、高校生活はかけがえのないものであったと言えるでしょう。

（E組　澤本美樹）



前略、道の上より

D組　小林　由紀

昨年、新型コロナの流行が本格化する中で世田谷区の自宅から新宿区にある勤め先までチャリ通を試みんとて自転車を購入。以来、週に二度ほど新宿高校の前を通っています。

そこで高校と御苑との間にバイパス道路が出来上がっていることに気づきました。この道路については在校中に編集委員を務めた「轍」で取り上げたことがあります。計画が出来たのは昭和二一年。何年かごとに実現化の話が持ち上がり、その度に御苑（旧環境庁）と高校（東京都）が互いに「あっちの土地を削れ」と押しつけあっていたあの道路、生涯完成を見ることはないと思っていたあの道路がついに！……と、なぜか、この一事にもっとも強く三十年という時の流れを感じています。

さて、ペダルを漕ぎながら徒然なるままに高校生活を振り返りますと、まず一年次に昭和天皇が崩御、冬休みが明けると同時に平成の世も幕開けしたことが思い出されます。すぐに新宿御苑で大喪の礼が行われると発表され、開催当日まで新宿高校は厳重な警備の下に。門前には常時機動隊員が立ち、ハンドボールコート脇の塀に開けられた「新宿御苑　新宿高校門」は塞がれ、校庭と御苑を隔てる塀の上には赤外線が巡らされました。窮屈ではありましたが、歴史的イベントを最前列で目撃しているのだという興奮を昨日のことのように覚えています。

二年次は水上寮の林間教室に参加。安全に配慮しながら谷川岳に尾瀬にと引率して下さった秋山先生、大きなおむすびを作って下さった橋本先生、水上温泉のストリップ「美人座」は経験上お勧めしないと忠告して下さった豊澤先生、大変お世話になりました。

三年次は影絵劇団「影の軍団」を結成し、朝陽祭で「夕鶴」を上演。これは窪谷先生の発案でスタートした企画でしたが、私たちの作った台本の、あるセリフを巡って先生と口論になり決

裂。残った有志で上演したものです。大変楽しかったのですが、誰ひとり影絵の作り方なんて知らないのに受験の天王山と呼ばれる夏を丸々ここに投じたのですから、まあ全員どうかしていました。ついでに言うと、実は天上界のセレブであったつうの元に象に乗った執事が迎えに来て、哀れな与ひょうを残し「アディオス・アミーゴ！」と去っていくラストもどうかしていた。でも無性に見たいので、上演時のムービーを持っている人はぜひ名乗り出て下さい。

私たちはバブルの空気を追い風に、自由気ままな高校生活を送ることのできた代でした。が、一方で、「自主自立を重んじる都立伝統校の闊達な空気」という遺産を食いつぶした代だったんじゃないかと、内心申し訳なく思っていたりもします。

今の新宿高生はコロナ禍でどんな学校生活を送っているのでしょうか。三十年という時間の隔たりとはまた趣きの違う隔世感を覚えます。きっと、これまでのどの世代とも違う形になるでしょうけれど、どうか実りある三年間を送ることができますよう、自転車の上より切に願っています。

富山の海から

A組　小池　冬実

今年で高校卒業して三十年が経ったようだ。いつの間にかそんなに経ったんだなぁ～。まあでも、三十年は長いよね。

高校生の時期って、わずか三年間でしかなかったけど、あの時過ごした時間は今でも自分の中で大きな影響を与えているんだな。正直、覚えている事は少ないんだけどね。それでも、ラグビー部の先輩が練習中の掛け声で「妥協すんな!!」って言ってたのがすごく心に残っている。入学間もなかったおらには妥協なんて難しい言葉使ってるなぁって思ってたけど、いつの間にか自分にも馴染んで練習中に叫んでたなぁ～。そして今でもどうするか迷う時に、「妥協すんな」って言葉が、決断を推してくれている。まさに高校時代の宝物だね～。ありがとうラグビー部！ありがとう新宿高校！

今、自分は、富山湾で刺し網漁師をしている。約二十年前にホタルイカ定置網の団体に入って、終わりの四年間は代表を務めた。子供が就職したのもあって四年前に刺し網を専業で一人で始めた。当然いきなり出来るわけではなく、定置網漁をしながら空いた時間に刺し網漁の経験を積んでいった。そして今は、嫁さんと猫五匹を何とか食わしていける位の魚を取れるようになったかなぁ～。ただこの先、魚がどんどん減っていくような傾向にあるので、どうなることやら将来のことは分かりません。

せっかく『朝陽』に乗るんだから、海のゴミ問題についてのおらの体感を書きたいっす。刺し網は浅い所で水深十メートルから深い所では五百メートル位の所に仕掛けたりするんだけど、浅い所はお菓子の袋、ビニール袋、カップ麺の容器などいろいろなゴミが掛かってくる。更に港から五キロ程走った水深五百メートル地点の海底にまで古くなったビニール袋等の切れっ端や腐りかけの空き缶等が掛かってきて、どんだけのゴミが富山湾に沈んでるんだろうと愕然としたことがある。それまでのイメージではせいぜい水深二、三百メートル位まではゴミがあってもそれより深い所は綺麗な海が広がっているものと思ってたけど甘かった。この感じなら富山湾の最深部にまでゴミが到達しているのかもしれない。

海が荒れた後に沖に出るといろんなゴミが流れているのを見かける。おらの網に掛かったゴミは陸に持ち帰っているがそんなのは微々たる量で意味なし。富山湾でこんな状態なんだから、日本中、世界中の海岸線には膨大なゴミがある。一回だけプラゴミ問題の本を読んだけどもう手遅れレベルの汚染が進んでしまっているみたいなことが書いてあって、読むのがイヤになった。大きく言えば、ゴミが増えていくとだんだん魚が減っていくって構図なんだな。ゴミの増加が魚の増加を遥かに上回ってるのが現状なんす。

とはいえ漁師は僕の天職だと思っているから、何とか魚の無事を願うばかりです。未来にかけても漁師という職業が無くならないでほしいっす！そして次の、そのまた次の世代が安心して漁を引き継いでいけるような海になっていって欲しいと強く思う！！

魚が食えない世界なんてイヤだよね！

漁師で生活出来ないなんてイヤじゃぁ～

漁師最高におもしれえんだよ～～！

進化と拡大

H組　北山　健史

新四三回生の北山です。この度、新宿高校卒業三十年という節目に、『朝陽』に寄稿させていただくこととなりました。大変光栄に思います。文才のない私ではございますが、肩肘張らず自分スタイルで思うままに綴らせていただきます。最後までお付き合いいただければ幸いです。

私の趣味嗜好はＩＴ系に傾向しており、現在ＩＴ系の企業に勤務しています。

そこで今回は三十年前の出来事からＩＴ関連の情報を私の視点で抜き出し、当時を振り返りながら二〇二一年現在と比較して、時の移り変わりについて自分なりの考えを述べさせていただきます。

一九九〇年の出来事で一番に目についたのは「任天堂のスーパーファミコン（スーファミ）発売」です。私の中の最初の家庭用ゲーム機である「ファミコン」の次世代機ということもあり、当時はかなりワクワクしていました。発売日当日の入手は無理でしたが、兄とお金を出し合って数か月後に購入。よりきれいな画面、より迫力のある音に進化を遂げたスーファミに魅了され、こちらも暇を見つけては遊んでいました。

二〇二一年現在、最新の家庭用ゲーム機はプレイステーション５（PS5）、Xbox Series S/X（Xbox）です。簡単にスペックを比較するとスーファミ：最大解像度 512×478、表現可能色数 32,768 色、16bit ステレオサウンド（左右から滑らかな階調の音源）PS5, Xbox：８Ｋ（7680×4320）、ＨＤＲ（現実により近づいた濃淡表現）対応、３Ｄオーディオ（立体的な音場）と、映像・音ともに桁違いの進化を遂げていることが分かります。また、以前はカセットという物理的な媒体をお店で購入してゲームを体験しましたが、今はデータという目に見えないものをネット経由でダウンロードして遊ぶことができるようになっています。このようなゲーム機の進化に伴い、ゲームを遊ぶ側にはどのような変化が起きか考えてみます。

昔から様々な種類のゲームがありますが、画面や音の表現能力向上は没入感（あたかも自分がその場にいる疑似体験性）の向上に寄与していると考え

ます。注：没入感の向上と、遊び手が充実感・満足感を得ることができるかは別の話です。また多人数型のゲームを遊ぶ場合、以前は自分の周りの友達に声をかけて、隣同士座りながら同じ空間で遊びましたが、今はネット通じて直接面識のない人とでも一緒に遊ぶことができるようになっています。このことは、人がゲームの世界を体験する意識空間が現実から仮想へと拡大し、人と人の交流が直接的な関係から間接的な関係にまで拡大したと言えるのではないでしょうか。すなわち、技術の進歩は人の感受性・社会性を拡大し得るものであると考えます。

技術の進歩は歩みを止めません。現在は5Gによる無線高速通信が普及しつつありますが、これもいずれは過去のこととなります。その時の未来は技術がどこまで進化し、それに伴い人の感受性・社会性はどこまで拡大していくのか、自分なりに未来を想像しながら、私自身技術発展に寄与できるよう、まだまだ頑張っていきたいと思います。長々とした駄文にお付き合いいただき、ありがとうございました。



夢と感動を支える者として

A組　西村　雄一

私は、サッカー審判員という、スポーツを支える活動をしています。新宿高校在学中から始めた三十年のレフェリー人生において、日常からサッカーがなくなるという経験が二回あります。一回目は東日本大震災で、物理的にサッカーをする環境が整わない状況になってしまった時でした。そして、二回目はCOVID-19新型コロナウィルスよるもので、我々が生きていく上で「健康」が最も大切であるということを思い知らされました。

スポーツを通じて、幸せあふれる素敵な日々を過ごすことが当たり前のように生きてきましたが、二〇二〇年は「スポーツに求められるものは何か?」ということに、深く向き合う機会となりました。スポーツは不要不急とされ、「親しむ」、「観る」、「支える」という、スポーツに関われる「楽しみ」を奪われてしまいました。この困難な状況において、各スポーツ団体が高い意識をもち、感染対策の最善を尽くして活動を再開した結果、あらためて、スポーツは文化として人々の心に根付いていて、スポーツに求められる価値や意義、スポーツが果たすことができる役割を、みんなで再認識するきっかけになったと思います。

では、「審判員に求められることは何か?」を考えた時、最も大切なことは、支える者としての「在り方」だと感じています。選手から「決定」を委ねられている者として、選手の努力に想いを馳せ、起きうるあらゆる状況を予測して「事実」を正しく見極め、選手が自分のチカラで未来を拓いていけるように最善を尽くす。そして、この苦しいときに支えてくださるファンの皆様のために、「美しい競技」をなんとかして実現する。選手が創り出す「美しさ」に人々は感動し、楽しみ、幸せを見つけ出しています。当然それを支える審判員の在り方にも「美しさ」は求められます。支える者として「どうすればみんなで幸せになれるのか?」を目的としたマネジメントを心掛けることで、選手にも、ファンにも、自分にも幸せが訪れる。新しいスポーツ文化には、スポーツに関わるすべての人々の「在り方」が試されているのかもしれません。

私がサッカーを通じて学んできたこ

と、それは「リスペクト」です。スポーツの場に限らず、社会においても「リスペクト＝大切に想う」の志をベースにして対話をしていくことが重要だと思っています。誰もが苦労して生きていることに想いを馳せ、耳を傾け、お互いに肯定し合うことでポジティブなエネルギーを交わし合う。スポーツに関わるということは、幸せに生きるためのパワーをもらえるということ。スポーツと共に、幸せあふれる素敵な日々を過ごせるように、「リスペクトファースト」の新しいスポーツスタイルを、これからも支えていきたいと思います。

館山寮の想い出

I組　相本　忍

高校時代の思い出として、同窓生の誰もが真っ先にあげる行事の一つが、館山寮で行われる臨海教室であろう。

夏休みに入って間もない昭和六三年七月、早朝の新宿駅西口に集合し、貸切バスに分乗して出発。アクアラインや館山道はまだ開通していなかったから、京葉道路を経由して千葉市街を抜けると、海沿いの一般道をひた走る。道路混雑もあって館山寮に到着したのは昼過ぎで、ずいぶん遠くまで来たという印象だった。

到着後すぐに昼食が提供され、食べ終えると休む間もなく海へ向かった。技量に応じたグループに分けられての猛特訓が始まった。

練習中、上空をヘリコプターが頻繁に飛び交っていた。海から上がり食堂でテレビニュースを見て、横須賀沖で潜水艦と遊漁船が衝突する海難事故が発生したことを知った。

沖ノ島を目指す遠泳では、泳ぎには自信があったものの、開始から一時間を過ぎたあたりから身体が冷えはじめ、その後は歯を食いしばって寒さに耐えながら海に浮かび続けていたことを覚えている。

翌年、所属していた放送研究部の合宿場所が、水上寮から館山寮に変更されることになった。現地への交通手段がわからず、大判の時刻表を片手に放送室の隣にあった体育教官室へ駆け込んだ。内房線の館山駅から路線バスを利用することや、所在地は香と書いて「こうやつ」と読むことなど説明を受けた。当時の房総方面は、夏ダイヤと称して海水浴客向けの臨時列車が多数運行されており、皆で座れるように と指定席の団体予約を手配した。

卒業後もOB参加という形で、夏になると館山寮を訪れることがしばらく続いた。再会した仲間と海を眺めながら、互いの近況や思いを語り合うことが支えとなった。交通手段はいつしかマイカーに変わっていた。

社会人となって間もない頃、酒を飲めるほうがよいという話になり、数人で香周辺の旅館に宿を取ることにした。夕刻、以前から気になっていた、バス停近くにある磯料理店に向かった。近海で獲れた新鮮な魚介を味わうことができる店で、店内には小さな生け簀があった。品書きには時価の文字。その中から活アワビを注文し、稼げるようになった喜びと共に噛みしめた。

酒を酌み交わしながら話が弾み、先生方も飲みに来られているのではと思い、素性を明かし店主に尋ねてみた。すると、普段は長閑な土地で、臨海教室の時期はとても賑やかになることや、学校関係者が近隣住民を招いて一席設けているといったことを語ってくれた。

楽しい学校行事も、先生方をはじめとする関係者の周到な準備と、地域の協力の上に成り立っていることに気付かされると共に、未だ学生気分の抜け

きれていなかった自分達を大いに反省したのだった。
館山寮は一昨年の台風により甚大な被害を受けてしまった。再建に向け尽力されている関係各位にこの場を借りて敬意を表するとともに、臨海教室の早期再開と地域の復興を心より願っている。

数学と宮城朝陽会

E組　横山（川崎）智子

高校入学初日に配布された、矢野健太郎先生の「解法のテクニック　数学Ⅰ」が私の高校生活、大袈裟に言えば青春の全てでした。
高校一年生は英語科の足助厚先生、二、三年生は同じく英語科の橋本晃和先生に担任していただきました。数学は三年間、秋山小南先生にご指導いただきました。秋山先生は当時ＮＨＫ教育テレビの高校数学講座を担当される程の方で、今風な言い方をすればカリスマ教師、先生に教えていただけたことは本当に幸運でした。ところが、秋山先生に教えていただきながら、数学の成績は低迷を続けました。勉強しても勉強しても偏差値は上がらず、じっと手を見る毎日。今思えば、解法のテクニックを写経のように書いて暗記しようとした勉強法が間違いの素でしたが、当時は一生懸命。結局、旺文社の標準問題集を繰り返し解くことでなんとか標準的な問題は解けるようになりましたが、自分の能力の限界を感じずにはいられませんでした。
ただ、卒業後三十年にして思うことは、数学を勉強して本当によかった、ということです。若い頃の苦労は買ってでもせよと言う諺がありますが、本当にその通りだと思います。文系数学でこんなことをいうのは恥ずかしいのですが、何よりも苦手な数学から逃げなかったこと、あの難しい数学が出来たんだから大抵のことはやれば出来る、という思いが今でも自分の礎になっています。
苦学して入学した大学でしたが、当初は友達も出来ず、寂しい日々を送っていました。そんな時に、宮城朝陽会学生部の先輩方に「新入生歓迎コンパ」に誘っていただきました。初めてのコンパで、故豊澤弘正先生の豪快かつ、心温まるお話で盛り上がったことは本当に良い思い出です。また、当時は毎年一月に宮城朝陽会が催されていました。当時の宮城朝陽会は、大企業の会社役員、大学教授、医師、裁判所判事等、立派な大先輩ばかりで正に地元の名士の集まり。初めて参加した時は身の置き場がありませんでした。しかし、皆さん頭脳明晰、器が大きく、懐の深い先輩ばかりで、色々なお話を伺い、人生勉強になりました。会の最後には、「六中健児の歌」を斉唱。一次会が終わると、二次会では先輩の行きつけのお店に連れて行っていただき、ご馳走になったことも本当に良い思い出です。仕事と子育てで、宮城朝陽会にはすっかりご無沙汰していますが、いつかご恩返ししたいと思っています。
就職してから、仕事で女性の先輩にお会いする機会がありました。三十歳位上の先輩でしたが、当時の新宿高校では大学よりもずっと色々なことを教わった、とその先輩はしみじみおっしゃっていて、改めて新宿高校の先生方、先輩方の偉大さを思い知った次第です。
今自分を顧みると、立派な先輩方の足元にも及ばず、正直情けないです。また、高校時代の私はといえば、今より二十キロ近く太っていて悩んでばかりの青春でした。でも何故か、あの頃の自分に会いたい、と痛切に今思います。

33回

地域に生きる子どもをめぐるコミュニティとともに

A組　岩岡（市川）いづみ

私は小学生の頃からその当時世田谷に30数個あった子ども会に入り、手作りの紙芝居、人形劇、ペープサートなどを作っては、ガリ版刷りの印刷を地元の小学校などに配布して地区会館などで年に数回地域の子どもたちにお楽しみ会のようなものを催していました。

それは大人がお膳立てしてするものではなく、企画、宣伝、実行全て子どもたちがやるものでした。大人は背後で子どもを支え、見守るという自治の精神を育む仕組みがそこにはありました。

高度成長期の中で地域にあった空き地は一つ一つビルに姿を変え、子どもたちの溜まり場であった駄菓子屋も一緒に一つ一つ姿を消して行きました。子どもの縦社会も形を変えガキ大将が年下の子どもに教えていく子どもの社会のあり方も変わって行きました。娯楽といえばまだテレビのチャンネルがいくつか、ゲームはもちろんまだ姿を表していない当時、そんな拙い催しに２００人近い子どもたちがひしめき、子どもたちの劇を見る瞳がキラキラと輝いていたことを見たことが私の原点です。

新宿高校を卒業して短大に進みましたが、その頃ちょうど「三年Ｂ組金八先生」が始まり、日本中に校内暴力の嵐が吹き荒れました。私の母校でも同じようなことが起こり、地域でボランティア活動をしていた私は、地元の大人たちが彼らのために作った「勉強会」で彼らを教えられる機会を与えられました。そこで初めて自分自身の意思ではなく、育った環境によってもたらされる子どもたちへの学校教育の機械均等でない不平等を知りました。彼らの校内暴力の背景には家庭環境やそれに対応しきれない学校教育の問題点がありました。

私自身の小さな力で、「学びたくても学べない子どもたち」に学びと自分の存在を少しでも肯定できる場を作ろうと二一歳の時に「寺子屋」という学習塾を始めました。今年で三九年を迎えます。ここ数年不登校児童が年に一～二割の勢いで増加しています。コロナ禍に於いてそれはさらに加速しています。子どもが育ち、その子らしく育って生きたいという思いはいつの時代も変わらない人間の本当にささやかな願いだと思います。



数年前に始めた子ども食堂は昨年から「寺子屋弁当」という形になり、地域の商店街の飲食店と連携して飲食店から惣菜を購入し、それを弁当のおかずに入れて低価格で販売しています。時は移っても子どもたちの大切な芽を育むという使命はどんな大人にもいつの時代にも課せられていると思います。不登校児童のための学校以外の勉強の



場も始めました。時代に沿った教育、子育て環境を地域の人たちと、行政とこれからも一緒に作っていこうと思っています。



いかがですか？ マレーシアでのセカンドライフ

B組　林　紳太郎

三三回卒業の林です。大学を卒業するまでは日本から一歩も出たことがありませんでしたが、三十歳を前に、豪州へ赴任したのを皮切りに、米国、タイ、シンガポールと転々として、現在マレーシアのクアラルンプールでサラリーマン最後の生活を送っています。

東南アジアと言えば、まずシンガポールを思い浮かべる方が多いかと思いますが、ここクアラルンプールも近代化が進み、中心部だけを見ればシンガポールに引けを取らないほどです。我々の世代も第二の人生に突入する頃合いですが、長期滞在先としてマレーシアが脚光を浴びているので、その観点から今回はここマレーシアの紹介を簡単にさせていただきます。

マレーシアは、二〇〇六年からロングステイ先としては、豪州やハワイを抑えて十四年連続で人気滞在先ナンバーワンとなっています。これまで各地を転々とした経験からしても、人気が高いのも頷けます。

まず第一に物価が安い。最近は高くなりつつありますが、それでも東京やシンガポールの半分で生活ができます。買い物の際に価格を気にする必要がないがうれしい。第二に、気候が年中温暖で、天災がほとんど無い。地震や台風被害が全くと言っていいほどありません。第三にビザが比較的簡単に取れること。リタイヤ向けの長期滞在ビザ（現在コロナで受付休止中）や留学ビザ（インターナショナル学校も多数、同伴の親も滞在可）、第四に日本人を含めた外国人向け医療施設もあり、レベルも高い、第五に多民族国家ゆえ人種差別的な経験をすることが少ない、といったことが挙げられます。今では、在留邦人が二・八万人ほどおりますが、そのうちの二～三割が（駐在員ではなく）長期滞在ビザや留学ビザの方ではな



いでしょうか。ゴルフ好きの方は週四日プレーしているツワモノがざらにいます。私もあと数年でリタイヤの予定ですが、暫くこちらに居残るつもりでおります。

イスラム教の国なので多少不便なこともありますが、それを差し引いても余りあるほどの良さがあると思います。もしマレーシア滞在にご興味がおありであれば、ぜひご一報ください。ご相談に乗らせていただきます。

灰色に思えた青春時代、実は愉快なオレンジ色の日々だった

C組　安田（石井）惠美子



私にとっての新宿高校の思い出は、長らく灰色でした。同い年の他の子に比べて自我の目覚めが遅く親に言われるがままに21群を受験し、元男子校である新宿高校に入学が決まった時の母親の喜びようったらありませんでした。ところが本人の私は周りのみんながとにかく大人に見えて話についていくことも出来ず、三年間ですくすくと劣等感と疎外感を育ててしまったのです。高校一年の月曜日一限が体育で、通勤ラッシュの凄まじさで既に疲労しながら眠さと絶望感を抱きつつ、どんよりとした空の下、東映裏の映画の看板をじとーと眺めながら、広い運動場のいちばん奥のハンドボールのコートまで向かった記憶があります。最悪だったのが夏の水泳教室。遠泳を泳ぎ切れなくて後々まで敗北感と罪悪感が残ってしまいました。



こんな「悲惨な」高校生活を送ったこの私が自我に「目覚めた」のは何とつい最近のこと。イタリア生活ですっかり自分を取り戻したおかげで、現在楽しく人生を謳歌しております。そして自分が誰であるかが分かると、全く別の視点で過去を見直し始められるのが実に不思議です。

そう、高校時代も決して悪い事ばかりではなかった！例えば部活帰りに、女の子達と小田急ハルク地下のソフトクリームやマイシティ地下のクレープを買い食いした事。毎週木曜日は野村ビル上の「百円ラーメン」を先輩や顧問の野村先生達と食べに行った事。当時の名物先生達の実に個性溢れる授業、特に現国・古典の飯田先生や中野先生の語りは、今思うと奥深い大変貴重な



イタリアのクレモナ・ヴァイオリン博物館にて説明ガイド中の筆者

ひと時でした。懐かしいです。それから戸山戦！今でも後夜祭で延々と真面目な顔をして「ひょっこりひょうたん島」を踊り続けた自分の姿を思い返しては、げらげら笑い出してしまいます。

人生に無駄な経験はひとつもない。灰色と思い込んでいた高校時代があったからこそ、イタリア人と肩を並べてクレモナ観光業に勤しむ今の私がいるんだな、と思います。やっと素直に感謝が出来ます。オレンジ色の新宿高校時代よ、ありがとう。

里親の取り組みについて

F組　岡本　琢郎



二〇一八年、妻の提案があって東京都の里親制度の研修を受け、登録しました。新聞、テレビ等の報道でお聞きになると思いますが、虐待、親の病気、離婚など様々な事情で家族と離れて暮らす子供達が増加しています。現在は児童養護施設で暮らしている子供達を自分の家庭に迎え入れ養育するのが里親制度です。我が家の場合、養子縁組を目的とするのではなく、一八歳迄に実親の家庭に戻るか、その年で自立するまでの間、家族の一員として生活をします。

我が家には大学生の子供がいますが、妻が、子供が小さい頃から学校や地域で読み聞かせやフォスターペアレントなどの活動をしていて、子供が好きなこともありますが、里親になって他人の子供を迎え入れることを考えているとは思いませんでした。しかし夫婦で里親研修を受ける中で、子供達を取り巻く現状を知り、これは意義のある取り組みだなという気持ちになりました。

家庭内で何が起きているかは外から見え辛く、子供にとって親しか頼れない、あるいは親にも頼れないという状況は深刻です。人間関係が希薄化した社会になり、子供の居場所や逃げ込んでいく場を社会全体が努力して作っていかなければならない時代なのです。

昨年十月及び十二月に短期間ですが小学生の女の子を預かりました。事情により緊急避難的に我が家に来ることになったのですが、子供が来る前は家の中で騒いだり、ものを壊されたりするんじゃないかと心配することもありましたが、全くその様なことはなく、一緒に料理を作ったり、食事をしたり、テレビを見たりと、和気あいあいと過ごしました。いきなり長期間子供を預かる前の経験としては良かったと思いました。また先日、児童相談所から小学校低学年の子を長期で、つまり最長十八歳まで、預かってほしいと相談がありました。今後、施設での面会やらショートステイなどでお互いの相性を見た上で、里親養育へ移行するか否かが決まります。まだ最終決定ではありませんが、秋頃には家族が増える可能性もあり、今年は大きな変化の年となりそうです。

気がつけば四十年

G組　入月　康晴



高校を卒業して四十年が経とうとしています。当時と比べ多少髪が薄くなった以外は個人的な成長はほとんど見られませんが、環境的には大きく変わり、当時は例えば携帯電話やスマートフォンさえ存在していませんでした。

携帯電話は、今や人々の生活におい

て無くてはならない最も身近なツールです。四十年前は重さ約3kgのショルダーフォンの時代で、とても携帯できるものではありませんでした。その後、三十年前の前半にかけてポケベルが、後半から携帯電話が飛躍的に普及してきました。また十年前あたりからiPhoneに代表されるスマートフォンの普及が始まり、昨年には第五世代移動通信システム（5G）のサービスも開始されています。

このような携帯電話等に代表される情報技術分野の進歩は非常に早く、今ではついて行くことさえ困難になってきましたが、高校当時はこのような分野に進むことになるとは考えてもいませんでした。

その後技術系に進むと、社会ニーズから、いかに安く原料を調達し、付加価値の高いものを作る、さらには製造工程を見える化し、自動化するといった、情報技術分野が注目されており、そこに足を踏み入れることになりました。この四十年間、情報技術分野の常在戦場のような環境変化と格闘しているうちに気がつくと今に至ったという感じがします。

不思議なもので、高校卒業してから十五年後にまさか新宿高校の同級生と結婚することになるとは驚きでした。

当時、結婚したら奥さんは専業主婦になるのが主流の時代でした。妻のほうが給料も多く、共働きすることでの余裕のある生活が理想でしたが、そういう時代なので、渋々退職してもらったのを覚えています。今では、多くの方は共働きで、結婚したからといって奥さんが退職勧奨されることは少ないのではないでしょうか。

さらに身近な現状として、今のコロナ禍の状況を一年前に想定できる人はほとんどいなかったのではないでしょうか。このように、いろいろなところで、四十年前とはかなり環境が変化しています。先行きの見えない不安を含め、環境変化に何とか対応できるように、これからも頑張っていきましょう。



お世話になった先生方の思い出

F組　渋谷　正宏

【現国】有元先生　確かバドミントン部の顧問をされていて短パンでトレーニングをしていた姿が印象に残っている。勢いと迫力のあるエネルギッシュな授業でした。晩年は、国立教育政策研究所統括研究官になられ、何かの研究会の講師をなさっていて御挨拶した。

【数学】佐藤先生　3年F組の担任でたくさん御迷惑をおかけいたした。最後に怒られたのが、卒業アルバムの写真撮影で、新宿御苑の塀を乗り越えて入ったことがばれた時だった。

【英語】大変申し訳ないが思い出せない。苦手だったため、3年間心を閉じていたのかもしれない。共通一次のために、ドイツ語を履修して一ヶ月で止めたことを思い出した。

【化学Ⅰ】お名前を忘れてしまったが、いつも赤っぽいベストを着ていた講師の先生。教科書を使わない授業で化学を面白いなと感じさせてくれた。この先生の影響で、一時化学の先生になってもいいかなと思った。

【地学Ⅰ】豊澤先生　山岳部の顧問

をされていて、特徴あるもみ上げで独特の風貌をされていた。お人柄も授業も面白かった気がするのだが、人生で最初の赤点を取った。

【生物Ⅰ】橋本先生　現在の同窓会長をなさっていてびっくりした。新宿高校に着任したばかりで、とてもわかりやすい板書だった。お酒が好きだということを盛んにおしゃっていた。

【物理Ⅰ】有賀先生　真面目で几帳面な先生。2Bの女子がバレンタインのチョコを上げたら、ホワイトデーに奥様の作った牡丹餅?のお返しをしていた。

【体育】戸田先生　2年B組で担任をしていただいた。怠惰な生活を送っていた時期の通知表に、温かい所見を書いて下さったことが忘れられない。

中学校の国語の教師となり、現在、校長となってみて、当時の新宿高校の先生方を振り返るととても個性的で、力のある方々だったと思う。良き先生と良き仲間（特に2年B組）に恵まれた高校3年間だった。卒業生として唯一のコンプレックスは、「六中健児の歌」を歌えないことだ。

ぬり絵

F組　北島（岩波）理恵子

おとこのこも　おんなのこも
すわっていた石段も
乳母車も　水飲み場も
仔馬の乗り物も
そこではすべて
細い線で縁どられていた

ひらがなだけで書かれた
さみしい詩のように
線画のあいだを
ひゅーひゅー
風がさむく吹き抜けていた

背景には　人けのない神社があった
古い木戸があった
廃屋と廃屋の暗がりに
海へ抜ける　ひみつの路地があった
どこか
なつかしい場所へとつながっている
人ひとり通れる　その小路に
みんな手をつなぎ　一列で入っていく
仔馬の乗り物も
水飲み場も
乳母車も
すわっていた石段も
おんなのこも
おとこのこも
線で出来た輪郭を　斜めに傾けながら

色を持つことのない
一枚のぬり絵

消えてしまったのに　消えてはいない
もう会えないのに　そこにいる
ひょいと　端を引っぱれば
ひと筆書きのように
たやすくほどけてしまいそうな　午後

（りえこの理はリルケのリ。今聞くと赤くなるような名付けの逸話を父から聞いたせいか、十代の頃から詩を読むのが好きでした。四十を過ぎふと思い立ち、詩作を始めた次第です。現在は同人誌や月刊の詩誌に作品を発表しています。詩集も二冊上梓しました。今回の詩はそのうちの一冊、『ぬり絵』という詩集の表題作です。好きだった南口のさびれた風景も御苑の桜を見渡せた二代目の校舎も消えてしまったかのようですが、詩のなかでは、それらと自由に行き来できる気がしてなりません。生物を学ぶ喜びを教えて下さった橋本先生、鮮烈な現国の授業をして下さった有元先生、音楽部の仲間、クラスの友だち、新宿高校でのすべてがすっかりそのままです。）

卒業五十周年……卒業半世紀　これまでとこれから

23回

激動の三年間を振り返る

A組　太田　正行

私たち二三回生（一九六八年四月入学～七一年三月卒業）の高校生活は、激動の三年間でした。六八年には昼で授業が打ち切られた10・21新宿騒乱事件、六九年夏の水上林間教室で聞いた人類初の月面着陸の中継放送、七十年春の修学旅行で見学した大阪万博、秋には放送室で聞いた市ヶ谷自衛隊での三島由紀夫割腹自殺第一報など思い出はつきませんが、ここでは入学試験、新校舎への移転、高校紛争の三点に絞り振り返ります。

「学校群と入学試験」

都立高校入試の歴史に残る悪名高き「学校群制度」二年目、私たちは第2学区（新宿・渋谷・目黒・世田谷の四区）の第21群を受験、駒場でなく新宿高校に割り振られ入学しました。当時は、東大合格者が全国トップの日比谷、西、戸山、新宿などへ都内中学から優秀な生徒が集まり「受験地獄」と言われる状況でした。この過熱する受験競争解消のため導入されたのが「学校群制度」でした。この制度は、トップ校への志望者を分散するため、日比谷は九段・三田、西は富士、戸山は青山、新宿は駒場と組み学校群を形成、各群の合格者を均等に割り振ることで学校間格差を解消しようとしました。しかし受験生の希望は完全に無視されたため、合格者（21群の応募倍率は男子一一一倍、女子一一・三〇倍）のうち、男子は二五名、女子は九名が入学を辞退しました。辞退した生徒は、国立大附属や早慶の附属、私立の受験校へ進学しました。結局、男子はほぼ全入でした。

「昭和43年度学校要覧」から、私たちの入学時の数字を見ると、生徒数（昭和四三年五月一日現在）一年生は、男子二八四名、女子一〇一名合計三八五名、男子は定員二九二名を八名割っていました。これは、予想以上に入学辞退者が出て定員を割ったのです。現住所別生徒数（一年生）は、世田谷区一五八名で約4割、新宿区六七名、目黒区六十名、渋谷区四九名でした。また、大学への進学状況は、一九六八年三月の合格者数で、東京大学六八名、早稲田大学一六四名、慶應義塾大学七四名とあります。なお、翌六九年は、東大と教育大の入学試験は紛争のため中止されました。

「新校舎への移転」

二年生の夏、新校舎への移転作業が行われました。「第二グランド」に二年間かけて建設された新校舎は、旧校舎と比べ格段に明るく、教室から新宿御苑が一望できました。教室に冷房はありませんでしたが、ガスストーブがありました。旧校舎では、石炭ストーブに朝点火する週番の仕事は難儀でした。九月から新校舎での授業が始まり、旧校舎には校舎改築中の竹早高校が移転してきました。通学ルートも今までは、新宿駅南口から甲州街道の坂を下り、グループサウンズで有名なジャズ喫茶「アシベ」を横目で見ながら明治通り交差点を渡っていましたが、新校舎へは、新宿駅南口から甲州街道の下り坂の途中から、狭い石段を下り、甲州街道の下をくぐり、新宿貨物駅に沿って明治通り交差点を渡り日通の倉庫の横の狭い通路を校門へ向かいまし

た。校舎は五階建て、一階の真ん中からグランドに出られるピロティがある斬新なデザインでした。また、二足制となり下駄箱スペースが設けられました。また、新体育館が十二月に完成、授業のほか集会や部活動にも使われました。

「高校紛争」

当時、東大はじめ全国で大学紛争が起こり、高校生の政治活動も活発に行われるようになりました。制帽そして制服が廃止されたのもこの時期でした。一九六九年九月から十月にかけ、九段、青山、日比谷など周辺の高校で生徒が校舎をバリケード封鎖し、青山と日比谷では警察官を導入し封鎖を解除し学校がロックアウトするなど混乱が続きました。文部省は十月三一日、高校生のデモ・集会への参加を禁止、違反した生徒は処分するよう都道府県教育委員会に通達しました。母校でも、十一月五日全共闘メンバー約三十名が校長室に入り六項目を要求、以後二週間、授業は行われず全校集会とホームルームが断続的に行われました。ハンストもあり、校長から三次にわたる回答が文書で行われ、掲示・印刷物の許可制と特別考査の廃止、政治活動について禁止しないが慎重にという回答を得ました。受験に特化した授業は生徒から批判され、教育課程を変更し三年生は今まで全員必修であった数学Ⅲ、物理、化学は選択となり、自由選択科目が用意されました。

「母校教師となる」

私は卒業後、佐藤喜一先生のお誘いもあり、五十周年記念会館（同窓会館）の同窓会事務室で、数年間同窓会誌「朝陽」や「50年の歩み」などの編集に携わりました。大学在学中、第一次石油危機があり民間就職内定者の中には、入社延期で自宅待機となった人もいました。その後四十年間はバブル景気やリーマンショックなど経済の激動も経験し現在に至っています。私は大学卒業後、一九七七年都立高校教員となり、十年後の八七年母校に赴任、十一年間勤務しました。その後、新校舎（新新校舎）の完成や学区制撤廃、単位制高校への再編による男女別定員廃止などで、校舎も生徒も母校の様子は一変しました。



一瞬の輝き

D組　酒井（工藤）優子

薄暗く埃っぽい旧校舎には、得体のしれないワクワク感が潜んでいた。登れない屋上への階段。講堂の隠れ扉から突如現れる上級生。満員電車に揺られて、雑踏に押し出される。夜の倦怠感が残る南口を抜けて甲州街道沿いに学校に向かう。業間体操で片手をあげて片足で回ったり、点数順に廊下に張り出された紙を眺めたりしているうちに、新校舎に移った。

新校舎の窓からはいろいろなものが見えた。大きな鉄の球が揺れて木造の部室が解体された。淀橋浄水場跡にぽつんと、京王プラザホテルがカニの爪のようなクレーンで伸びていった。御苑の塀を超えるのも丸見えだった。ある日、校庭を一団のデモ隊がムカデのように這うのを見た後、学校はストップした。先生も生徒も戸惑い、授業はホームルームになった。七十年安保である。前年は東大入試がなく、新宿西口広場には大勢の人が集まり、歌った。

その頃の自分がどんな人間だったか、おぼろげにしか思い浮かばない。部活動にのめりこむでもなく、勉強に打ち

込むでもない。ただ、本だけはいつも読んでいた。十三歳で四国から移り住んだ私は東京の街、人の中に身を置いて、耳だけを澄ましていたような気がする。

一浪して大学でスペイン語を専攻した。より広い世界を見たかったのかもしれない。浪人中はフランス語を学び、大学でロシア語のクラスに潜り込み、ラテン語も習った。大学院に進学してスペイン留学した後、六年ほどあちこちの大学で非常勤を務め、スペイン語教員の職を得た。十五年後、学部編成の都合で言語学を教えることになった。このことは研究に幅と深みを与えた。国語の入試問題の作成にかかわったことも為になった。そうして、三一年間勤めて、サドン・デスのように定年を迎えた。

高校を出て五十年。三年間しかなかったけれど、新宿に行くといつも高校生の心になる。初めて会った人には、ただの老人にしか見えないだろう。しかし、歩いているのは高校生の私だ。四十数年ぶりに会った同級生たちも皆、高校生のままだった。

あまり深く考えることなく過ごした高校生活。あの頃の希望や不安や輝く目は、もはやない。一方で、それと引き換えに得たものもある。だが、得たものにしがみついているうちは、自分のものではない。本当に自分のものになるのは、それを投げ捨てたときではないか。何かを得ようと突っ走った日々の後は、いろいろなものを捨てていく。そこにどんな自分が残るのか、それを見るのが楽しみだ。

定年後の過ごし方

A組　青木　正英

定年後はウエッブの仕事が時々来るが、それ以外は毎日が日曜日。

朝起きてコーヒーを沸かし、朝食後は周囲の自然の中を音楽を聴きながら一時間の散歩。さて、その後は何をするか……

時間もお金もある六十代から七十代半ばは黄金の十五年と言われており、この時期をいかに充実した時間を過ごすかは人生後半の大きなテーマである。同期の皆さんはどのようにお過ごしだろうか。仕事も趣味と考えると、私の場合は趣味ざんまいかもしれない。

趣味の一つ目はロードバイクだ。定年と同時に専門店で24万円をはたいて自転車を買った。私の住む茨城県南部は利根川、小貝川沿いの土手や霞ヶ浦の周囲とそこから筑波山に伸びるりんりんロードなどサイクリングロードが見事に整備されている。千葉県に足を伸ばせば手賀沼や印旛沼、江戸川サイクリングロードなどもすばらしい。天気の良い日は体がむずむずしてきて、30キロから60キロ走って妻に呆れられている。意外と同年代の愛好家も多い。体への負担が少ない割には消費カロリーが多く、自然の中を気持ちよく疾走するこのスポーツはシニアにおすすめできる。

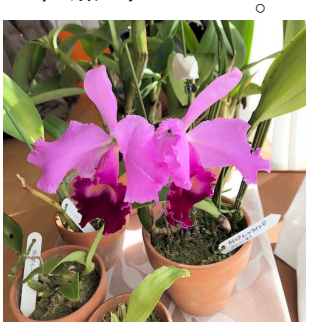
二つ目は西洋古城のジオラマ作りだ。隣町のペーパークラフト五十年の作家さんとの出会いがきっかけで始めた。私の流儀は徹底したリアリズム。百枚程度の写真とグーグルアースの三次元画像を元に作り込む。一昨年は実物見たさにフランスまで行って来た。最近ではエスカレートして街まるごと再現している。「ジオラマ作り方　城」で検索すると私のブログが最初に出てくるのと、イ



ンスタグラムでは matubaaoki で登録してあるので是非ご覧頂きたい。

三つ目は洋ランの栽培である。地元のサークル「らん友会」に入っていて、毎月の会合に参加している。昨年は胡蝶蘭とカトレアが大輪の花を咲かせてくれた。蕾が膨らんできて、翌日パッと開花する姿は生命の神秘であり感動する。

四つ目の趣味は最近、同じ歳の鉄道模型の愛好家と知り合いになったのでレイアウト作りに挑戦しようかなーと考えている。



落書の思い出から

E組　安武　和之

たしか旧校舎の講堂で行われた私たちの入学式……忘れられないのは二階の講堂へ上がる階段の手すりに書かれた落書です。「白痴はお前だ」というその落書は、それまでに見た軽薄で下卑た落書とはレベルが違いました。多感で自意識過剰な新入生を、お前はまだ本物じゃないと一蹴する先輩の辛辣な言葉だと私は受け取りました。高校生はこんな物言いをするのかと感嘆しつつ、自分も一つ上の新しい世界に入った気がしたものです。この話を三年前のクラス会でしたところ、皆がそんな落書は見たことがないと言う。とすると、これは私が頭の中で作り上げた、新宿高校の幻影なんでしょうか。

六五歳で福岡県立高校の国語教師を退職～陽春や　始業のチャイム道に聞く、それからウォーキングと低山登りにハマり～見慣れたる低山に知る　新天地、庭に2坪の菜園を作り～屠蘇筑前煮（がめに）家（ウチ）ン芋ぞとしたり顔（これらは賀状の近況報告句）など時々体を動かすだけなので、ちょっと頭を働かそうと、以前から調べていた「北斎の逆さ富士」と、戦前に福岡県を走っていた「朝倉軌道の流線形気動車」について作文を始めました。北斎は富士とその逆さ富士の絵を3枚描いています。不思議なことに3枚とも逆さ富士は富士の真下ではなく、左にズレて映っている。特に七五歳頃の「富嶽百景」末尾の逆さ富士は、ズレが甚だしく大きさも本体の数倍、この非科学的であり得ない逆さ富士の描写に北斎の秘密のメッセージが隠されているという内容です。もう一つは時速十数キロのノロノロ運転の気動車をどうして流線形にする必要があったのか、その真意を探るものです。

ところがこれが一向に完成しません。それは私が寿命を忘れてボーっと生きているせいでしょう。期限・締め切りがないのはノン・ストレスですが、結局何も生まれない可能性も高いようです。

今回、卒五十年の一文を書く機会を頂いたのは幸いでした。大したことではないけれど、多くの方々へ自分の近況や思いを発信できたからです。やはり世の中に向けて何かを発信することは大切ですね。なにより自分が活性化します。もしかしたら誰かが何か返信してくれるかもしれません。たかが落書にだって、心を動かされた者がいたのですから。最後に同窓という良縁に感謝いたします。

長い迷路を歩く　だから面白い

B組　木下　徳之

新宿高校卒業以来、予備校卒業、大学卒業、就職、結婚、子育て、退職、そして親世代の介護と長い道を歩いてきました。どれも初めて経験すること

ばかりです。大体の自分の行き方を思い描いて、一生懸命生きてきましたが、自分では判断できず、女房や友人に相談したりもしました。道は平坦ではなく、時に落ち込むこともあれば、途中から別の道を進んだこともあります。「面倒だな！」「苦手だな！」「こんなことがあるのかな？」といった「紆余曲折」が多いと思います。時間を逆戻りして別の一歩を踏むこともできません。今の自分は歩んできた道の一番前にいるのです。就職した頃、先輩から「よく考えて、時期を外さず、自分に忠実に正直に歩め」と言われたことを指針としています。また退職にあたり、先輩から「これからは、〝きょうよう〟と〝きょういく〟が大事だ」と助言されましたが、理解できず、「やっと自由な時間が出来るのに、また教養（きょうよう）を積み、教育（きょういく）を受けるのですか？勘弁して欲しいです」と質問したところ、「今日（きょう）用（よう）事（じ）があるか？今日（きょう）行（い）く所があるか？という意味だ」と言われてびっくりしました。要は退職後の有り余る時間をどうするかということでした。退職後はのんびり旅行でもして、温泉に浸かれたらボカア幸せだなあ～位しか考えていなかったので、悩みました。一方女房から「退職して（女房の父母の）介護を助けてくれなかったら、私は倒れていました」とも言われました。いろいろあります。思えば人生は今でも夢にでてくることがある高校時代の数学と似たようなものではないでしょうか？解は一つではなく複数あることも多いです。解き方もいろいろあります。場合分けするとさらに解が増えることもあります。「解なし」ということもあるでしょう。思えば人生は「迷路は迷路でも行き止まりのない長い迷路」と思えばどの道を歩いても正解ではないでしょうか？出口が見えないということは、逆に出口が見えないから面白いという考え方にもつながります。自分が納得して、一歩一歩しっかり足元をみて進めばよいとする考え方です。確かに不安はあるのですが、悔いることがない生き方をしたいと思います。コロナウイルス猖獗下ですが、同期の皆様、元気でまたお会いしましょう。



前期高齢者の汗かき生活

F組　川西　徹

卒業五十周年の寄稿の話をいただき、手元にあった朝陽六八号を覗いたところ、五十周年の副題は「今を愉しむ」でした。卒業五十年といえば、そろそろ現役から一歩退き悠々自適でありたい頃。一方私は未だ毎日汗かき生活を送っています。そんな我が身について、とにもかくにも報告させていただきます。

新宿高校を卒業、当時の多数派として一年の傘張り生活を経て、やっとこさ大学に入り、さらに薬学部から大学院修士課程を経て、国立衛生試験所（現国立医薬品食品衛生研究所）に入りました。結局この研究所で人生の過半の四十年を過ごしました。ただ研究職でありながら「あなたの専門は？」との質問が大の苦手。結局最終的には、専門は「レギュラトリーサイエンス」と答えることにしました。一般の方々は、この言葉を聞いて「なんのこっちゃ？」と思われるでしょう。強引にまとめれば「医薬品等の医療製品や食品安全等についての規制を支える科学」となるかもしれません。例えば医薬品は開発企業が製造販売するにあたって試験

データとともに厚労省に申請し承認をうけるわけですが、その基準や試験方法をとりまとめるのが仕事です。また食品安全でいえば、食品添加物や残留農薬等を規制するための基準や試験法をとりまとめます。また製品に問題が生じた場合、国としての試験を行うこともあります。そんな仕事に四十年間従事した後、引き続き現在は食品安全委員会という食品リスク評価を担当する機関で、日々汗をかく毎日です。

ところでここ一年近く、新型コロナのために皆様不便な生活を強いられていることと思います。確かに新型コロナの克服は社会的に最重要事ではあるものの、悪いことばかりではありません。当初冬が近づくにつれてインフルエンザの同時流行が懸念されていたのですが、インフルエンザの発生は中間的ではあるものの日本では例年の約0・2%以下という数字が報告されています。これは新型コロナ対策である三密回避、手洗い、マスク着用が、インフルエンザ予防にも極めて有効であることを示していると思われます。また私の現在の仕事と関連して、昨年春から注視している食中毒の発生状況についても、総数は例年より2割程度減少していることが速報値ではありますが報告されています。

こんな具合に、高校卒業五十年の前期高齢者であるにもかかわらず、「今を愉しむ」までには成長しない、汗かき生活が続いています。

クラス仲間は、いつまでも

H組　石地　徹

五時限目、倫理社会の渡辺先生は「どうして男子だけなの、女子はサボり」と首をかしげる。昼休み、塀の穴を通り仲良しクラスはお弁当を持って御苑へ。帰りは穴が塞がれ男子だけ塀を乗り越え無事帰還、女子は遅れて到着。その思い出も薄れてきた卒業三十年後、学年同期会が開催された。それをキッカケにH組の新しい歩みが始まる。翌二〇〇一年に朝陽会館でクラス会（29名参加）、初めは三瓶君が幹事、二〇一〇年からは私が引き継ぎ年3～4回、毎回20名程が顔を揃える。

クラス会の明るさの代表はシェ松尾の元社長、梅澤君。いつも洒落た服装で登場。「渋谷で向こうから小柄なイタリア人が来ると思うと梅澤君」と笑う鶴見（遠藤）さんはエレクトーンの講師を続け、食品製造会社を経営する斎藤（佐藤）さんは仕事で遅くなっても律儀に顔を出す。アロマセラピー・ダンスと多彩な才能を昇華させ、本田（中島）さんは昨年から大叔母様の古民家を継いで九州は壱岐に移住。「将来は民泊を開くから皆で来て」とLINEが入る。ノンちゃんこと信澤（福山）さんは「昔よりも男子と話しやすい」と笑う。長髪、サングラスで大型二輪に跨り高校に乗り付けていた西崎君は「岡山で乗馬クラブを経営」と短い髪で現れ、皆を驚かす。山梨でワイナリーを立ち上げ漫画美味しんぼにも登場の大川君はワインを持ち込み、味わい方を披露。大手病院の内科部長の風格を備える大盛君が病気と健康について語れば皆が耳を傾ける。英語で学ぶ私設小学校経営の山口君には海外赴任経験者の古市君が相談に乗る。東京の自宅の他に根本君（蓼科）と松野君（三浦半島）はデュアルライフでの楽しみ方を語る。今もサッカーのシニアクラブで活躍する植村君。米沢市で企業支援をする橋本君も顔を出す。ネット掲示板は二十年前から開設し、900件を越える投稿数。横井君（鉄道写真）、三瓶君（水中写真）、冨田君（航空機写真）の作品が数多く載る。

今、私は板橋区で中小企業支援の職にある。横井君（製品デザイン・ブランド戦略）、秋吉君（ＴＶショッピング活用）、田中君（自動車関連技術）の力を借り、企業の課題を解決している。この年になっても友人と共に働ける幸せを感じている。

クラス会継続のコツは、高校時代のような理屈好きな連中だとは思わずに呼び掛ける事。場所は私の出身大学の同窓会館（神楽坂）を使い、当日ドタキャンも可能。割り勘で３０００円弱の会費で済み、二次会は近くのお安い居酒屋が定番である。

クラス会からの帰り道。高校卒業の時には誰も歌おうとは言い出さなかった舟木一夫の高校三年生の歌詞が聞こえる気がする。

「クラス仲間は、いつまでも」と。

高校時代から
形を変えても変わらぬこと

G組　高橋　響

中学校でブラスバンドにいたこともあり、高校では管弦楽団で下手糞なトランペットを吹いていた。ラッパの類を吹いていることは私にはとても楽しく、大学に入ってからも続けていた。大学に入るとアルバイトしてトロンボーンやサキソフォンにも手を広げて楽しんでいた。大学院に入り、その間ドイツ（当時の西ドイツ）で勉強する機会を得た。勉強もさることながら、当地の楽器屋を見て回るのはとても興味深かった。日本では図鑑でしかお目にかかれない古い楽器が、中古楽器屋で売られていた。田舎のお祭りに行けば、地元のブラスバンドが民謡を演奏している。楽しそうなのである。楽器や音楽が日々の生活に結びついていて、凄い、かなわないと感じた。

外国で暮らせばこちらが外人である。少し教養のある御仁は日本人とみると禅や能の話をし始める。座禅組んだこともない、能や狂言見たこともない。どうしても自分のアイデンティティーを意識した。それまで楽しんでいたラッパ類が自分のものでない感じがしてきた。

それで帰国してすぐ尺八の師匠の門をたたいた。ドイツで向こうの音楽の伝統と言うか、今日に脈々と続く様子に圧倒されたが、自分の周りに義太夫を唸るおじさんや、小唄端唄を歌うおばさんがいたりしたわけではない。身の回りの日本音楽は盆踊りの炭坑節くらいである。案の定、尺八音楽でも純邦楽の節回し、歌い方に苦労した。

最初の十年ほどは箏・三味線との合奏（三曲という）を楽しみ、それ以降は古典本曲を主に演奏している。古典本曲は虚無僧が吹き伝えた曲で、たいてい無拍子（拍節がない）の独奏曲が多い。私にはこれぞ尺八音楽と感じられ、使う楽器も一尺八寸（尺八の名の由来）のみならず、もっと長い、低音の楽器も使う。低い素敵な音なのであるが、長い楽器ほど正確な操作が必要で、体力も要求される。ここ二十年ほどは尺八の自作にも取り組んでいて、三尺一寸などという超長管も自作した。尺八作りもまた奥深い世界で楽しい。フランス人、スペイン人、中国人などに尺八の作り方を教え、ドイツ人の尺八を修理したりしている。

尺八の吹奏には深い呼吸が要求され、苦しくはあるが健康には良いように感じる。体力のピークはとうに過ぎ、以前のように長いフレーズを一息で吹くことはできなくなってきたが、ラッパほど喧しくなく、生涯楽しむつもりでいる。皆さんにもお勧めです。三曲、古典本曲、民謡、詩吟、演歌、ロック、ジャズ何でもありです。

「#わきまえない女」たちの源流

C組　足立　眞理子

私たちはまさに、沸騰する時代の空気感のなかで高校生活を送った。一九六八年四月に入学し、新宿の南口からやや薄暗い繁華街を抜けて学校に通うという、小田急線の郊外しか知らずに育った「女子」には、見慣れない光景が日常となった。夏休みまでは、音楽部でフレンチ・バロックの歌などを唄っていたのだが、十月、国際反戦デーの翌朝、新宿南口駅が炎上した姿を目の当たりにし、鼻を衝く臭いの立ち込めた中を登校した。二年生の六九年には、世の中はますます過熱し、西口では毎週末フォークゲリラが集会を開き、「私たち、クラスの女子」で、ベトナム戦争反対の集会に行ったり、手をつなぐフランスデモに参加したりした。女子はクラスの四分の一しかいないのでかえって仲が良く、自分の意見を言うことに臆することはなかった。翌七十年には、時代の息苦しい熱気にうっすらとした翳りが生まれてきていて、その秋に三島由紀夫の市谷での自決事件を、何故か校庭にいるときに聞いた。

そして、この年の冬には何か違う風が吹き始めたようにも思われ、「選択する自由ではない自由」を夢想しつつ、もう一階段のぼった感じがした。

その後、研究職を続けて、お茶の水女子大学で国際経済学の教鞭をとることとなった。私自身は、男子が圧倒的に多数の環境で教育を受けたので、女子大学というところがわからなかった。そこで、女子大というのはどんなところですか?と、大先輩の教授に尋ねた。「そうね、一言でいえば、重たいことも、汚いことも、全部女子でやるというところね」。たしかにそうである。女性学長のもと、基本的に女性が主体で何事も決定する。それゆえ会議の時間は短く、早い。女子が自分たちに関わることは全て自分たちで行うのが当然であるという感覚。この感覚こそ、沸騰する時代の中で、新宿高校の四分の一しかいない女子たちが、自然と身に着けていた自尊感覚である。女子大のように、女性が主語である世界とは、一見真逆のように見える、女子が少数派の高校という空間で、しかし時代のうねりは確実に、女子に対する「主体であることの呼びかけ」を行っていた。

日本学術会議参加学協会「日本スポーツとジェンダー学会」は緊急声明を発表し、森喜朗オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会長の発言が、オリンピック・アジェンダ２０２０のジェンダー平等の実現に反していると批判した。ＳＮＳでは森発言の「わきまえる」を揶揄する「#わきまえない女」の投稿は、現在でも続いている。そして私は何より「#わきまえない女」たちの源流は、遥か半世紀も前の、激動の時代の高校生活のなかで培われたもののなかにあり、それが育ち受け継がれたのではないかと、一人真夜中に思うのである。

終わりに

代表幹事　松野・天田

我々23回生も、はや卒業五十年となった。短いような長かったような混沌とした気持ちである。

学友の原稿を読むと、あの頃が鮮明に浮かび上がってくる。貴重な原稿を執筆頂いた学友に感謝する。

しかし、あのころ語りあい時代をともに生きた友も、何人かは再び会えぬ世界へ逝ってしまった。

亡き友へ哀悼の意を表し、五十周年の終わりとしたい。

卒業六十周年……六十年の走馬灯

新宿高校第十三回生（昭和三十六年卒）同期会・みろく会　13回

この原稿を書く段になって、記憶の糸を手繰り寄せてみる時、ああ、あれはもう六十年以上も前のことだったのかと、過ぎ去った年月を、しみじみと愛おしく思い出している。

新宿高校時代の記憶としてまず蘇ってくるのは、私たち一年A組が学園祭で取り組んだ演劇「車輪の下」の上演である。ヘルマン・ヘッセの小説を演劇として上演しようというアイデアがどこからどうやって生まれたのか、誰がシナリオを描いたのか、もうすっかり忘れてしまったが、舞台の上での記憶は鮮明だ。主人公ハンスを演じた福原基忠君、その悪友ハイルナーを演じた私、そして、私が放校される原因となった喧嘩の相手ルチウスを演じた河東杉雄君、少年たちの姿が、目の前にはっきりと見えてくる。そしてハイルナーの私がハンスに語った言葉、「ホラ、見てごらん。なんて美しい雲だ。あんな雲になれたらなあ」すべては、昨日のことのように鮮明だ。これに対して、「なれたら?」と問うハンスに私は答える。「そしたら、船のように空を飛ぶことができるんだ」今、年老いたハイルナーは、雲になって空を飛び、今はなくなってしまったあの古びた講堂のバルコニーの上から、あの時の舞台を眺めている。ところどころ床板が剥がれていて、歩くと躓きそうになった講堂。一年A組の仲間たちと造り上げた舞台が、今ここで目の前に再演されているように感じられる。

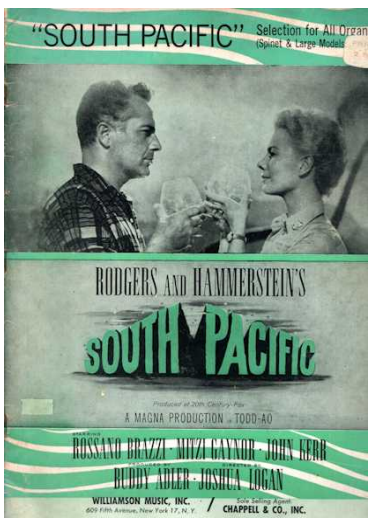
勉強においてまず苦しんだのは、澤先生の英語だった。クルクルトーンに恐怖を抱いたのは、私だけではないはずだ。しかし、その後何十年もしてから、澤先生の著書「日本の土に」が出版された時、先生と私との間を結ぶ縁に驚いた。この書で語られているのは、先生が師と仰がれたエダ・ライト女史のことである。彼女は、熊本でハンセン病救済事業をされていた方であり、その頃、多磨全生園でハンセン病患者さんたちの治療のお手伝いをしていた私にとっては、先達として尊敬していた方だった。しかし、朝陽記念館で開催されたその本の出版記念会に、澤先生のお姿はなかった。不思議に思い、ご子息に伺ったところ、何と、悪性の病気で、私が勤務していた病院に入院しておられたのだった。その翌日、私は、私の病院の集中治療室の先生のベッドに行き、ご著書をお見せして、「先生、読ませて頂きました。有難うございます」と叫んだ。先生は、うっすらと目を開けられ、少し微笑まれた。それ以後毎日、私は先生のベッドサイドにお邪魔したが、いくら話しかけても、もう二度と目を開けては下さらなかった。

私たちが新宿高校生だった頃、伊勢丹の向いは。日活映画館だった。その四階、人呼んでテッペン劇場は、冷暖房完備、すなわち、夏は暖房、冬は冷房の日活名画座だった。このテッペン劇場では、フランス映画祭とかイタリア名画祭とか銘打って、シリーズで、いわゆる名画を上演した。子供の頃からの映画ファンだった私は、しょっちゅうテッペン劇場に通った。時には授業をさぼって名画座にいった私は、それがばれて担任に呼ばれたが、名画

座に行ってましたと答えると、「今何やってるんだ?」と聞かれるだけのことが多かった。

ある日、音楽部で一緒だった同学年の女子、Yちゃんから、名画座の映画に誘われた。ミュージカル映画の「南太平洋」だった。彼女は、「K君を誘ったんだけど断られちゃって、だから今度はI君を誘ったんだけど彼も行けないっていうの。だから、岩田さん行かない?」と素直に言って、私を誘ってくれた。ミュージカル映画が大好きな私は、勿論断るわけはない。Yちゃんは、ありがとうと言って、映画だけでなくアイスクリームまでおごってくれた。「魅惑の宵」を歌うロッサノ・ブラッツィ、「ワンダフルガイ」を歌うミッチー・ゲイナー、そして「バリ・ハイ」を歌ったあのおばちゃん。全てはくっきりと目に、そして耳に浮かんでくる。それから四半世紀後、ニューヨークの病院で働いていた私は、近所の楽譜屋で、ミュージカルの楽譜をいくつか買った。もちろん、ロジャース&ハマースタインの「南太平洋」は、真っ先に買った楽譜である。

テッペン劇場では、ありとあらゆる名画を見ることができた。なかでも、



「赤と黒」「パルムの僧院」「肉体の悪魔」で出会ったジェラール・フィリップは、私の理想の男性像になった。数十年後にパリで学ぶことになった時、私の先輩として教えてくれた医師から、フランスの神経内科学の大御所だった先生の孫が彼の友人で、その奥さんが、ジェラール・フィリップの孫娘、アンヌ＝マリー・フィリップであると聞いて驚いた。映画のことを告げた私に、その先輩医師から、アンヌ＝マリー・フィリップの夫、文芸評論家ジェローム・ガルサンの著書「私の劇場」が送られてきた。

テッペン劇場で上演された映画のうち、最も沢山見たのは、「ナポリの饗宴」だった。これはナポリの下町を舞台としたカンツォーネにあふれる映画だったが、そこに出ていた十九歳のソフィア・ローレンに憧れて、六回もテッペン劇場に足を運んだ、そのうちの四回は、「ナポリの饗宴」の本邦最終というタイトルに欺かれて慌てて行ったものである。

映画少年だった私の望みは、映倫委員になることだった。私たちと入れ違いに新宿高校を去られた落合喬一郎校長は映倫委員だったと聞き、私もそれを目指したのだ。時を経て医者になった私の前に、かつて日活の役員だったという患者が来られた。診察の後、私は、日活名画座のファンだったこと、映倫の委員になって、ノーカットの映像を見ることが私の夢だったと話した。しかし、彼の答えは長年の夢を一瞬にして粉々に砕いてしまった。「映倫の委員にお見せするのは、カットしてからの映像ですから、先生が映倫委員になっておられたとしても、ノーカットの映像はご覧になれませんでしたよ」

遥かなる霧の中に、茫漠たる姿を見せる我々の青春よ、永遠であれ。

みろく会代表　岩田　誠



同窓会員寄稿随筆

大家族主義の体現の場

鈴木　仁志（三八回）



一九八四年ロサンゼルスオリンピックが開催された夏、新宿高校水泳部に入部した私は初めて館山の臨海教室に参加した。今でも忘れられない光景と言葉がある。就寝時、真っ暗になった大部屋を定期的に照らす海上自衛隊館山航空基地のサーチライトの光、そして入寮式（初日）に故須田先生か戸田先生が仰った「臨海教室を終えて初めて新宿高校生になれる」のお言葉。

あれから三七年目の夏を迎えようとしている。館山寮を照らすサーチライトの光は今も変わらず、「臨海教室を終えて初めて新宿高校生になれる」の言葉も臨海教室の入寮式で先生方に連綿と語り継がれている。

臨海教室は、一九二二年（大正十一年）の創立時に始まった。来年で一〇〇周年を迎えるが、初代阿部校長が掲げた教育理念「大家族主義」の体現の場として臨海教室が実施されたのだ。当時の先生方七人（「七人の侍」と言われていた）が房総半島を踏査し、現在の地（当時は塩見地区、現在は香（こうやつ）地区　この土地の名「香」は平城京から出土した木簡にも記載されている。干し鮑など海産物を貢物として送っていたのだ）に寮を構えたとのこと。今でも房総半島では臨海教室を実施している国公私立学校が数多くあり、都立高校では私の知る限り日比谷高校（勝山）、新宿高校（館山）、立川高校（館山）、旧九段・現千代田区立九段中等教育学校（勝浦）の四校である。取り分け立川高校は館山寮の近くにあり、新宿高校から異動された体育科の先生もおられ長く交流が続いている。一昨年の台風十五号の被災に際しても立川高校水泳部ＯＢ／ＯＧや卒業生からお見舞金・再建の寄附金をいち早く頂いた。改めてこの場を借りて御礼を申し述べたい。

さて、母校の臨海教室の話について少し長くなるがお付き合い頂ければと思う。

今では二泊三日二クラスずつを四期に分けて行い、クラス担任の先生や水泳指導の体育科の先生、そしてその補助指導員の水泳部ＯＢ／ＯＧの体制で行われており体育科の先生にはＯＢがお二人もいる。大変心強い。三年前までは三泊四日で実施されていたが、昨今の働き方改革の社会情勢等から各期一日短縮された行事に変わってしまった。個人的には三泊四日が復活することを切望する。

生徒たちの体力の源となる食事は今年で十三年目を迎える小島さんが先代のお父様の後を引き継ぎ、川崎市にある創作料理店を休業してかけつけ下さる。仕出し弁当しか提供していない他校もある中、海で体力を消耗する生徒や先生方そしてＯＢ／ＯＧのために栄養たっぷりの沢山の食事を作って下さり、本当に有り難い。特に四期目に近づくにつれ熟成されていく遠泳後のカレーライスは絶品！

その遠泳は六中時代と今ではだいぶスタイルが違う様である。先ずは建物。大正十一年は地元のご家庭に分宿、その翌年の大正十二年初代館山寮が完成した。当時の写真を見ると何と瓦屋根

の三階建て（つぽい）。その年の秋の関東大震災で倒壊し、翌年再建された寮は平屋で寮内には畑があったようだ。自給自足していたのだろうか？　次に水着。当時は男子ばかりなので先生方も生徒も皆褌を締めている。そんな姿に憧れる私は今もあの浜で褌を締めて泳いでいる（日焼けをすると褌焼けでお尻の皮が剥けるのには笑えた）。最後は遠泳の距離。どうも六中時代の臨海教室は、全国的にも10マイル遠泳が標準だったようで、六中第一期の水泳部ＯＢの話によると図１の反時計回りの三角形のルート約15㎞（約10マイル）を一日がかりで泳いでいたそうだ（当



図１
六中時代の
遠泳ルート

時の沖ノ島は本当の島だった。今は砂洲になっているがそこを通過して泳いでいたと思われる）。余談だが、10マイル遠泳とまではいかないまでも当時の遠泳を体感しようと朝陽水泳会有志で昨年夏、最長直線距離の７㎞を泳いだ。六中時代の先輩達の体力・精神力には脱帽する（二四回Ｋ先輩の四年越しの夢が実現した！）。



その後の遠泳は図２のように沖ノ島に向かう１・７㎞のコースになり、東日本大震災後には沖ノ島には向かわず隣の香湾（こうやつわん）を上陸するルートとなり、水着も褌が廃れ現在のスタイルに変わった。

話は少し戻るが、その寮は畑付き平屋？から昭和四二年（私の生まれた年）に大食堂を中央に配置するハイカラなデザインとなった。先生、生徒、ＯＢ／ＯＧが一つ屋根の下で食事を共にするのである。五三年も経つとさすがに建物の傷みが激しく、そこに追い打ちをかけるように令和元年九月九日未明、台風十五号（風速48・85ｍ館山観測地点）の直撃で男子寮は倒壊した。私自身、再建に関わる立場にいるが一日も早い再建を実現すべく同窓会事務局や役員会と打ち合わせを重ねている。

臨海教室の話に戻る。

臨海教室の日常生活を紹介するが、どうしても水泳部ＯＢ目線なることをご容赦願いたい。

私の時代は三泊四日×四期の行事で三日目午前中に遠泳が行われた。その後の昼食が例の伝説の世界一美味しいカレーライス（私の一期下のＯＧはカレーライスが当時も今も食べられられない、可哀そうに、笑）。

在学中の部活動で毎日お見えになる大学生コーチの先輩から、「水泳部は卒業したら臨海教室のお手伝いをするんだぞ」と言われ続けた。水泳部の合宿も勿論館山寮である。当時は口も聞けない歳の差なので「そういうものなんだ」と刷り込まれ（？）、母校愛と

使命感に燃えている勘違い（？）男の私はみちのくの大学に進学するも、入道雲が湧き、夏の光が溢れてくると居てもたってもいられず、夏休みと同時に東北道を館山に向かって一気に南下した四年間であった。

その臨海教室は開寮作業から始まる。先発隊と言ってＯＢ／ＯＧは前日入りし、浜の東屋（あずまや）の設営、寮の清掃、船の稼働確認、布団の配置、スケジュール表作成、泳力別班編成とＯＢ／ＯＧの担当割、食事当番、牛乳屋担当などを決めていく。一年目は勝手が分からず先輩からひたすら口頭伝授を受け、それこそ背中を見ながらとにかくＯＪＴ（On the Job Training）。生徒の安全を最優先に考え、長い年月の間に蓄積された指導ノウハウを体験・体得していくのである。初日の入寮式でいよいよ受け持ちの生徒（後輩）と初対面。どの生徒も色白で不安そうな顔。初日、二日目の練習を終える頃には寮生活にも慣れ、顔つきも目に見えて変わってくる。そして三日目のメインイベントの遠泳。気象条件にもよるが一時間近く、沖ノ島を目指して泳ぎ続けることになる。先生方、ＯＢ／ＯＧが万全の体制を整え、遠泳時の隊列を決めて午前８：30スタート。海なので勿論足は着かないし、浜からどんどん離れていく。そんな中、お互い励まし合い、己に挑戦し、克服し、完泳した時の生徒（後輩）の顔はどの顔も疲労困憊ながらも達成感と自信に満ちた顔になっている。その夜の演芸大会は恩師演芸はじめ趣向を凝らした生徒・ＯＢ／ＯＧたちの芸が披露され、お互いの絆が一層深まっていく。そして最終日の四日目。初日とは比べものにならないくらい逞しく輝いた顔になって彼らは寮を後にする、「臨海教室を終えて初めて新宿校生になって」。

このような生活を繰り返す中、先輩・同期・後輩の距離がどんどん縮まり、先生方や厨房スタッフそして地元の方々との親睦も更に深まっていく。それが毎年繰り返され代を重ねていくこの行事は、本当に「大家族主義」を体現する場である。上は31コから下も33コまで、世代は違えども変わらぬ思い出を語り合い、社会人になっても付き合えるのは「大家族」の証である。かけがえのないものであり、一般的な社会人生活には無い人間関係ではないだろうか。

そんな臨海教室が終る頃になると館山寮の浜には色とりどりのビーチパラソルの花が咲く。館山寮は同窓生やその家族、友人達の宿泊施設に様変わりするのだ。私は平成二十年から五年間寮の管理人をやらせて頂いた。プライベートビーチ＆オーシャンビューのビーチリゾート施設として毎年多くのリピータが帰って来て、そんな「大家族」との再会がとても楽しみだった。38回のＢＢＱは毎年この時期に寮で開催している。

宿泊者がいないある夜、以前戸田先生からお聞きしたアナゴの夜釣りの話を思い出し、一人沖合に船を漕ぎ出した。真っ暗な夜の海で満点の星空の下、船腹に当たる優しい波の音がとても心地良く、陸を走る車のヘッドライトを見ていると小宇宙にいるかのように思えた。が次の瞬間、第一投の釣り糸に強い当たりが来てからと言うもの、アナゴの入れ食いが始まり船の下がアナゴの絨毯かと思えるほど投げれば投げた分のアナゴが釣れ、catch & release ではなくcatch & eat を釣りのポリシーとしていた私は捌き方も知らないしこれでは食べきれないと思い、その夜は途中で止めて二十数匹を寮に持ち帰り、厨房の小島さんに明日のおかず、



と渡したら叱られた。今から思えば無邪気極まりない管理人だが忘れられない思い出の一つとなった。

臨海教室に始まりビーチリゾートになった館山寮も、鯛の声を聞く頃には店仕舞いとなる。臨海教室に来たＯＢ／ＯＧ、最終日に宿泊されているリピータの皆さんが片付けを毎年手伝ってくれる。とても助かるし有難い。厨房の小島さんは片づけの量も多く毎年殿（しんがり）だ。布団を集めて、食堂を片付け、畳を上げて、汗だくになった身体のクールダウンは、夕陽を背にした富士山を観ながらの遊泳。今年も事故無く無事に終えることが出来たことへの感謝と至福の時間だ。浜に上がり都会の服に着替えて帰路に向かう「大家族」を見ると夏の終わりを実感する。

閉寮した後は、地元の香地区の方々が寮の面倒を見て下さる。我々は夏にしか帰らないが、地元の方々に年間通してお世話になっており、この伝統行事が継続出来るのも区長の鈴木さん、長老の本間さん、、寮内清掃をして下さる嶋田さん、鈴木さん達のお蔭である。改めて厚く御礼申し上げます。

この伝統行事は、関東大震災、太平洋戦争、東日本大震災そして今般のコロナ禍で四回の中止はあったものの、百年近く無事故で継続出来ているのは先生方・生徒・同窓生・ＰＴＡ・地元の方々そして小島さん達のお蔭である。同じ窯の飯を食い、遠泳の完泳という目標に向かってone teamとなって取り組んでいくこの行事は、正に「大家族主義」の体現の場である。

この原稿を書いている時点、様々な要因で台風十五号で倒壊した寮の今夏の再建の目途は立っていない。とても悔しく、辛く、情けないが同窓会事務局の奮闘と努力に引き続き期待する。

伝統行事を安全に継続していく事はとても大変であり伝統であるが故に絶対に絶やしてはならないと思う。止めることは簡単だが止める選択は母校の教育理念が失われることに他ならない。〝ならぬものはならぬもの〟だ。

これからも先生方、同窓生、ＰＴＡそして母校のサポータの皆さんの応援を頂きながら次の百年に向けた礎を築いていきたい。

（あとがき）

私は毎年梅雨明け頃から閉寮までの間、週末はほぼ館山の海に帰っている。早朝帰館すると水着（時には褌）に着替え一人沖ノ島の往復泳をする。（冒頭の写真の奥に写るのは沖ノ島。帰ってきた直後のショット）三七年も泳いでいると海の底を見ればどこを泳いでいるか分かるようになった。ただ、年を追うごとに一九八四年に初めて泳いだ海と変わって来ている。当時は岩の根にサザエやアワビの餌になる海藻が生い茂っていたが今は跡形も無く、砂漠化（潮焼け）している。珊瑚礁の北

限域は館山より更に北に進んでいるそうだ。海水温が上昇しているためだろう。いつまでも変わらない海であって欲しい。

（朝陽水泳会）

七三才のユーチューバー

三上（伊藤）彩子（一八回）



「エッ彩子さんってユーチューバーなんですか？」

最近は若い子に驚かれる。無理もない。れっきとした七三歳のおばあさんなのだから。スマホもできないのでは？と思われても不思議はない年齢なのだ。

そんなおばあさんが非常用のライトを照明代わりにスマホで撮影し、スマホでテロップ付けや編集をして、スマホで音楽を付けて…。

全て無料のソフトを取り込んでの作業だ。しかも二〇二〇年七月以来ほぼ毎週の配信。私の周りで驚かない人はいない。実は自分自身も驚いている。

私は五十年ほど前、フジテレビに局アナとして入社。娘が一歳になった時に退社し、フリーアナとなった。

以来、テレビ番組の司会のかたわら、新聞社のカルチャースクールで素人の方々を教えることとあいなった。弁護士や学校の先生、就職を控えた学生、ＰＴＡの役員になったからという主婦、さまざまな目的をかかえた人たちで、話し方の講座はごった返していた。

まさしく『話す』ことに不安を感じている人が多い！ということの現れだ。

またテレビ局が、アナウンサー志望の学生向けに開いたスクールでの講師。

さらにテレビ局に受かったばかりの新人アナウンサー研修の講師。これは責任重大で、自宅で『めざましテレビ』を見ていても、ついついチェックが入ってしまう。



大学での非常勤講師としての仕事も。『キャスター演習』は希望の学生が多く、抽選という人気の授業だった。４単位を２コマの毎週の授業は、私にとって大いに勉強になったのである。

しかし同時に素直な疑問も…。

私たちは、外国語のアクセントや発音記号などはよく勉強して知っている。しかし日本語はどうだ。教科書を音読しても、そこから先の指導はない。「サ行が違いますよ」などと指導する先生や親はいない。変なサ行の人が多いのに。

もちろん生まれ落ちた時から母国語に囲まれているわけだから自然に覚えるはずなのだが、その『まわり』が問題だ。教育だと思って子供に話しかけている人がいるのかどうか。

甘ったれた声で話しても何とも思わない、鼻濁音も無声化も知らない。話し言葉、話す順番などにどれだけ気を配っているのか、疑問だらけだ。挙句の果てに、人前で話す事を嫌う…。

欧米諸国に比べて貧相な自己表現能力を何とかしたいと、教育現場でも言われるようになったその頃、出版社から本にしないかと声をかけてもらったことがある。

二つ返事でその気になって挑戦をしてみたものの、実際にやってみると、話すテクニックを文章にするのは至難の業なのだ。

同じ内容を相手に伝える時、話す場合は書く時の3倍以上の言葉数が必要だ。土台の所で大きく違うので、どうしても冗長になってしまう。私の実力では文章で伝えるのは無理とあきらめた経緯がある。

そして今年のコロナ禍だ。

後ろ向きの毎日の中でネットの世界に入り込んでいるうちに、ドンドン目が釘付け状態に。あきらかにテレビとは違う映像の世界がそこにはあった。

テレビは「全国の皆様、こんにちは」の広がった世界。

ラジオは「そこで運転中のあなた」という限定の世界。

そのどちらでもない世界だ。

私はその瞬間ひらめいた、ここでやってみたいと。オーバーではなく頭の中に光が射した気分だった。

それこそ猪突猛進、ユーチューブで配信の仕方を勉強し、イケイケドンドンで一か月後に配信。

しかしまわりの人たちからは、真ん中に座るのは変、花くらい飾れ、後ろの小道具が変、壁が変、全体が暗い、テロップの位置がおかしい、音楽がうるさい…ありとあらゆるチェックが。

マイクだけは必需品ということで、まず買ったのがピンマイク。挫折するかもしれないと安さで選んだが、すぐに雑音が入りまくり。

『安物買の銭失い』も経験した。

編集、テロップ入れはスマホ上なので指先のタッチが命。それなのに震えるし、長時間の作業で目がかすむし、渾身の録画を削除してしまったことも。

録画が終わって再生したら、な、な、何と照明をつけ忘れて顔が薄汚く暗かったり、大切なマイクをつけ忘れて得意になっていたり…。

今度こそパーフェクトと画像をよく見たら、首から下着が見えていた、洋服のしわがどうしても気になる、スマホが斜めだったようで後ろに映っている柱が斜めに…。どれもこれも撮り直しだ。



一番大変だったのはアップロード。たった十分前後の画像にやたら時間がかかったり、配信できなかったり…、トラブルはずいぶん続いた。

何が原因か分からず「ユーチューブは素人の配信には冷たい！」などと根拠のない恨み節も。

これはひょんなことから、私のただの逆恨み、被害妄想の類いだと分かるのだ。

原因は老人独特の大きな勘違い。我が家はブロードバンドの契約だから大丈夫！と信じて疑わなかったのだ。ネット環境は日々すごい勢いで進歩しているというのに。

通信会社のお兄さんの一言。

「もっと大きな容量のモデムに変えましょう」

アッという間の解決であった。

今ここに来てお世話になった方々に心から感謝している。

全国ネットの大きなテレビ番組を担当できたのも、ディレクター、照明、音声、スタイリスト、結髪、大道具、小道具、効果…、その道のプロたちのおかげだ。

今やたった一人での制作だが、その頃のスタッフたちの金言が役に立っていることは言うまでもない。

配信に当たり自分に課していることが四つある。

まず『話し』の教科書を作っていることを忘れないということ。どうしても「こんにちは」に続き「コロナ禍、いかがですか？」「今年のお正月は…」などなどおしゃべりしたくなる。アナウンサーの性だ。



ユーチューブの場合、配信して一年たたないと普通は動き出さないらしい。二年後三年後を見据えるのであれば、時候の挨拶は邪魔なのだ。

次は私的にはとても大切な部分。

自分の五十年の仕事歴、四十年の指導歴に自信を持つということだ。

実はこれが一番難しい。スポーツでもなんでもそうだと思うが、自分を邪魔するのは自分なのだ。

今テーマにしている事は、本当はどうでもいい事ではないのか、これを知らなくても大勢に影響はないのでは？みんなくだらないと思っているのでは？　けっきょくは徒労に終わるのではないか…。こんな負の思いが去来することも。

だから次のようにも決めている。

評価は気にしない！

ここが一番の核だが、これが揺らぐ日がある。強い気持ちでいけない日も多い。そんな時は、私も弱い人間だと大いに悲しんで、サスペンス・ミステリー・ドラマにのめりこむ。理不尽な事件に巻き込まれた人の人生に触れ、謎を解いて犯人捜し…、けっこうな気分転換になるのだ。

そして一週間に一本制作。

といっても追い込むのは身体に良くないので、甘やかしもあり。

単純に計算してこの夏には六十本近く配信できるはずだ。

いまやユーチューブは私のブレーンだ。一本一本についての機械的な分析がすごい。視聴者の数、ネットのどこから私の動画に入って来たのか、視聴時間…。

視聴者数のランキングは、『あがり克服』『敬語』、この辺は想像できる。

驚いたのは、『自分の声で話す』『笑

顔が大事』『滑舌練習』『アクセント』『話し言葉』などプロっぽいものに興味があるという結果が。

分析し、それを反映して、素人が簡単に発信できる新しいメディア。すごい時代だと思う。

難しいことはできるだけ考えず、今、自分ができることをする。その結果、少しは誰かの役に立つと良いなあ…そんな気持ちで小さな画面とにらめっこをしている。

（YouTube　三上彩子の話し方のレベルアップ）

（元フジテレビアナウンサー）

東日本大震災十年の福島から

阿部　浩一（三八回）



二〇二一年三月十一日は、東日本大震災から十年ということで、マスコミ各社が挙って特集を組んだことから、当時の記憶を思い出された方も多いであろう。津波被災地の沿岸部では高台移転が進んで住民が帰還し、新しい街並みができて活気を取り戻したところがある一方で、福島県内には未だ高線量の帰還困難区域があり、中間貯蔵施設の建設により長年住み慣れた土地を手放した人々がいて、廃炉事業も長い年月を要している。今でも国道沿いにバリケードが張り巡らされて立ち入りを制限され、十年前から何の手も入っていない、雑草が生い茂り、建物が朽ち果てていくだけの光景が眼前に広がっているといったら、信じてもらえるであろうか。実際、私は原発事故から追い立てられるように避難していった住民たちの「一日だけの避難所」を、震災から七年後に目の当たりにして、言葉にならない衝撃を受けたことがある。普段はごく平穏な日常生活を送っていても、少し足を延ばしてみれば、十年前の震災当時と変わらない風景が隣り合っている、それが福島の現実の一端である。

今回、愛する母校の同窓会報に寄稿する機会を与えていただいたのは、二〇一三年に上梓した編著『ふくしま再生と歴史・文化遺産』（山川出版社）を寄贈した縁による。事務局の西出さんのご紹介で、ＮＨＫラジオ深夜便に出演させていただき、「進路部通信」への寄稿やキャリアガイダンスでの講義などの機会を与えられた。そして今回、本誌に東日本大震災から十年の福島の状況をお伝えする場をご用意いただいたことに感謝申し上げる。ここでは、世間一般でイメージされる被災地の復興事業とは異なる、地域の歴史を護ることで住民の心の復興につなげたいと十年以上続けている活動の一部をご紹介したい。



震災当時のままの
一時避難所（2018年）

私は東日本大震災の約半年前、二〇一〇年十月に縁あって福島大学に着任した。その間の事情については「進路部通信」第二号に寄稿したので、よけ

ればぜひご一読いただきたい（同窓会HPより入手可）。福島大学という小さな地方国立大学の中でも、行政政策学類という全国的にも珍しい、専門の歴史学とは何の関連もない名前で、地域貢献を掲げ、地元では公務員志望者の集まるところと目されている学部で、日本史教員としていったい何をすべきかを考えあぐねていたところに出会ったのが、史料ネットという存在であった。これは一九九五年の阪神・淡路大震災を機に、震災で被災した古文書などを救出し、震災の記憶を伝える多様な資料を保存する活動を展開する、歴史学研究者や文化財関係者、一般市民などの広範な連携体、ネットワークのことである。その後は全国各地で頻発する自然災害（地震、台風、集中豪雨など）のたびに被災地で史料ネットが立ち上げられていった。現在、全国で約三十の史料ネットが立ち上げられ、その代表・事務局の多くは地方国立大学の日本史教員である。福島でも二〇一〇年十一月にふくしま歴史資料保存ネットワーク（ふくしま史料ネット）が発足した。着任早々の私もその場に参加し、仲間とどんなことから始めようかと思いを巡らしている矢先に、東日本大震災での被災に遭った。


藏から古文書を救出する筆者

震災直後しばらくは水や食料の入手、ライフラインの確保が優先され、文化財の被災を心配するどころの騒ぎではなかった。やがて岩手県や宮城県の沿岸部などで、津波で泥まみれになった瓦礫の中から行政文書や博物館資料などを必死に救い出す活動が、全国からの応援を得て始まってからも、原発事故の起こった福島はそれどころではないという状況が続いた。そうした中で、被災した家屋や倉庫から文化財等の救出を求める声が次第に寄せられたことから、私はふくしま史料ネットの仲間たちとともに現場に駆け付け、被災した古文書や土器などを救出する活動に取り組んだ。

東日本大震災というと、福島＝原発事故というイメージがあまりにも強いため見失われがちだが、福島市や郡山市などの主要都市のある中通り地方にいた私には、日々刻々と変化する空間線量の数値に一喜一憂した記憶とともに、ブルーシートで屋根を覆われ、壁の崩れかけた家屋の広がる情景が脳裏に焼き付いているように、地震による家屋損壊の被害が深刻であった。大きな家の蔵の中には、農機具などとともに、用済みとなった文書類がたくさん保管


藏から資料を救出する筆者



水害から救出された古文書の一部

されていることがある。江戸時代から近代には、地域の有力な家が行政機関としての役割もはたしていたことから、それらは個人の家の歴史であるばかりでなく、地域の歴史の重要な語り部でもある。そうした文書類は、被災した蔵の解体とともに瓦礫としてまとめて処分される危険性が高い。こういうことは日本全国どこでも日常的に起こっているのだが、歴史資料の破棄が一気に加速するのが自然災害である。東日本大震災はまさにそうした危機に直面するものでもあった。

そこで私は、専門家たちと被災した家屋から歴史資料を救出する活動を続けるとともに、その後の保全措置を学生や市民とともに進める活動に乗り出した。大学には実習科目があり、私は博物館実習と古文書学実習を任されている。前者は学芸員資格取得のためのものであるが、後者は特に決まりがなかったため、被災資料の保全を授業内容に組み込むことにした。実習を夜間に設定することで、市民ボランティアにも参加してもらう機会を確保した。

まず、蔵から搬出した文書類は長年放置されて埃まみれであるため、クリーニングする必要がある。その後、どのようなものがあるかを把握するために目録作りが行われるのだが、くずし字で書かれていることが多いため、学生が読めるようになるには相応の時間を要する。そこで、まずはデジタルカメラでの撮影を優先的に進めることにした。これは、万一にも文書が再び被災して消滅することがあっても、文字情報だけは残せるというバックアップデータの役割も兼ね備えている。

学生たちは技術の習得が早く、程なく一人で三脚を組み立て、デジカメをセットして撮影に取りかかれるようになる。四年生が三年生を指導して、ノウハウが代々受け継がれていく。古文書に精通した市民ボランティアは、学生の指導を支援してくれる。夏には二日間の集中作業を企画しているが、卒業生たちの懐かしい顔が集い、全国からもボランティア参加者が集まって、ある種の夏の風物詩にまでなった（それだけに、新型コロナウイルスの影響で開催できないのは残念である）。


水損した古文書の吸水作業

学生たちが身につけた技術と経験は、学外活動でも如何なく力を発揮する。富岡町との連携もその一例である。

福島第一原発事故に伴う警戒区域の設定とその後の再編を経て、条件付きでの立ち入りが少しずつ認められるようになった段階で、警戒区域内にあった博物館等に収蔵されていた資料の救出が行われた。私は学生たちと一緒に、警戒区域の外に用意された一時保管場所に向かい、大型トラックから運び出される文化財等を手分けして搬入する

作業に従事した（詳細は前掲『ふくしま再生と歴史・文化遺産』を参照）。

事業の終了した二〇一四年度以降は、自治体や県内の博物館等が独自の活動を開始した。その一つが富岡町で、庁内に横断的な有志のプロジェクトチームを独自に立ち上げ、解体除染の行われる家屋から歴史資料を救出する活動に着手した。ここで保全される大量の古文書等を、学生や市民ボランティアが一緒になって記録整理を支援する活動を二〇一四年十一月から年二回程度のペースで続けている（これも現在は休止中）。富岡町では収集した歴史資料、震災の記憶を伝える多様な資料（福島県立博物館では「震災遺産」と呼んでいる）を活かし、町の成り立ちと日常生活、震災・原発事故の経験を町内外の人々と広く共有し、後世に伝えるため、町独自のアーカイブ施設を建設し、二〇二一年夏に開館予定である。私も委員の一人として、最初の町民会議の段階から長らく構想作成の議論などに係らせてもらった。双葉町にできた東日本大震災・原子力災害伝承館などと併せて、気兼ねなく旅行ができるようになった頃にぜひとも足をお運びいただきたい。

その後の福島は、震災十年を迎えるまでに、二〇一九年の令和元年東日本台風による阿武隈川水系での水害、最近でも二〇二一年二月の福島県沖地震など、幾度も自然災害に見舞われた。

令和元年東日本台風では資料館や収蔵庫が被災した地域に応援に駆けつけ、水浸しとなった古文書等の保全処置に取り組んだ。インクやボールペンで書かれた現代の洋紙だと、水濡れすると字が滲んで読めなくなってしまうが、和紙に墨で書かれた文字はそのまま残る。廃棄することなく、泥を落として乾かし、固着した紙どうしを丁寧にはがしていけば、元の状態に近いところまで復元できる。ボランティアで応援に駆けつけた学生たちと一緒に、水を吸って重くなった帳簿類を運び出し、大量の文書類の乾燥準備を手伝い、乾燥させた文書を一ページずつ剝がしていく気の遠くなる作業に、地元の方々と一緒に取り組んだ。学生たちはこうした経験を通して、身近な文化財を護ることの意味や、自分たちが専門で学んでいる歴史学や博物館学芸員資格のもつ意義を実感できたことだろう。そういう生きた「学び」を身近な現場で体験できるのは、被災地にある大学ならではの強みでもある。

学生たちとの活動は被災地、災害時だけにとどまらない。被災資料の調査活動をきっかけに、博物館実習の一環として「地域まるごと博物館」活動を続けている。これは、研究対象となる地域を設定し、一年間の座学とフィールドワークを通して、地元の歴史・文化遺産を学生の目で再発見・再評価し、地元での成果発表会と見学会によって、地域全体を博物館に見立てたかたちで紹介し、その成果をリーフレットにまとめて活用してもらうものである。

思い起こせば、学生たちと地域に入


水損で固着した古文書のはがし

り、調査や聞き取りをしながら、その成果をかたちにまとめる活動は、どこか高校時代の部活動に相通じるものがある。私は三年間、今はなき地理歴史研究部で活動していた。ちなみに、私の前の部長が、「進路部通信」二十回に寄稿され、大学でも学科の先輩であった山下信一郎さんである。

地理歴史研究部では、毎年テーマを決めての夏の巡検合宿、秋の学園祭でのジオラマ等の作成・展示などを恒例とした。一年生の時は山下さんたちに連れられて伊勢・志摩に赴き、伊勢神宮や真珠の養殖現場などを見学した。二年生の時は自分が部長である特権を行使し？　武田信玄と上杉謙信の決戦の舞台である川中島と、同じ長野県内から諏訪の製糸業をテーマに選んだ。当時は新宿駅から長野駅までの長距離普通列車が運行しており、安上がりの旅行だったが、車中ではほとんど寝られなかった記憶しかない。引率の二人の某先生たちが初日の夕食後に調査成果のまとめを兼ねてミーティングをやるぞと発破をかけておきながら、いつまで経っても現われず、実は部屋で酒を飲んでそのまま熟睡してしまったなどという逸話は、公にしても時効ということで許されよう。エピソードには事欠かないが、いずれも懐かしく、楽しい思い出である。

最初は三人だった同期の部員も、クラスの友人たちなどがいつの間にか加入し、気づいてみればそれなりの数になっていた。卒業以来会っていない仲間もいるが、同窓会で顔を合わせれば昔話に花が咲くし、今でも時折一緒にライブに出かける友人もいる。きっと「いつまで高校の頃と同じようなことをしているんだ」と笑われるだろう。

ただ、「進路部通信」にも書いたように、かつて高校の日本史教員をめざしていた自分にとっては、学生たちとフィールドワークに出かけ、研究成果を大勢の前で発表しかたちにする今の活動は、もともとやりたかったことなのかも知れない。今さらながら、自分の教育・地域貢献活動の原点の一つが新宿高校での三年間にあることに気づいたのは、本稿を執筆する機会を得たからに他ならない。あらためて感謝申し上げたい。

東日本大震災十年の福島の状況をお伝えすると言いながら、最後は高校時代のとりとめのない話で終わってしまった。同窓会報ということでご容赦いただきたい。

なお、一連の学生たちとの活動などについては、母校に寄贈した『「生存」の歴史と復興の現在』（大月書店）、『ＩＯＣＩＴＹ』八五号（株式会社ブックエンド）などで紹介しているので、ご関心をお持ちになった方はぜひご覧いただければ幸いである。

（福島大学行政政策学類教授）

コロナから納豆

横田　康子（三四回）



二〇二〇年三月十九日、カリフォルニア州は新型コロナ感染拡大を受けて州民四千万人に対し自宅待機命令を発出。ロックダウンに入り、この日から私の在宅勤務生活が始まった。

日本のようにレストランが時短でオープンというのではなく全て営業停止。コンサート会場、映画館、美術館、博物館も閉館。美容院も休業。最初の三ヵ月間はビーチも山も立ち入り禁止。許されることといったら家の周りを散歩することぐらいしかない。これだけ

徹底して感染防止対策を取っても感染者は鰻登りに増えるばかり。挙句の果てに人種差別問題が発生し、暴動が起こったりとまさに踏んだり蹴ったりの出口の見えない憂鬱な毎日が続いた。

八方塞がりの中でも人間は逞しい生き物だ。郷に入れば郷に従えという諺があるように限られた自由の中でも小さな楽しみを見つけ出すことに貪欲になる。今まで余暇といえば旅行やハイキングに出かけていたアウトドア派の私だが外出ができない状態の中で自然と関心が内に向かっていった。その矛先がたどり着いたのは毎日の食生活。

大の納豆好きである。海外生活三十年の今でも週に二日は納豆ごはんと豆腐の味噌汁という伝統的な日本の朝食で一日が始まる。美味しい納豆を食べると「今日も一日頑張るぞ！」と元気がでてくるのだが、どうもロサンゼルスの日系スーパーで売っている納豆は日本で売っている納豆と比べると味が落ちる。何となくカサカサして乾燥気味だったり、モノによってはじっとりとしていて新鮮さに欠ける。おそらく日本からアメリカに輸出する段階で冷凍しスーパーの棚に並べながら解凍するからだろう。店によっては冷凍品の棚に納豆がおいてあるところもある。パッケージを開けて中身がガチガチに凍っているのを見た瞬間に食べる気が失せてしまうこともしばしばだ。以前から気になっていたことだがコロナの前までは海外で納豆が手に入るだけでもありがたい、と味がイマイチであることには目を瞑っていた。ところがコロナで食に関心が向かってからというもの納豆の質の悪さが気になって仕方がない。いっそのこと自分で作れないだろうか？今まで全く考えもしていなかった納豆を手作りするという発想が突然頭の中を過った。思い立ったら吉日。早速オンラインで検索すると「Natto Making Kit」を販売しているサイトがあって迷わず注文を入れた。

二か月後のある日、アパートの郵便受けを開けると白いプラスティックのパッケージが目に飛び込んできた。やっと来た！ワクワクしながら部屋に戻る。パッケージの送り元を確認するとアイルランド。英語で書かれたレシピと共に中から出てきた納豆菌の小袋は、おやまあ、日本製だ。ある時、日本を旅していたアイルランド人が納豆を食べてその魅力に取りつかれ、母国にもどってネットショップで販売するに至り、それをアメリカ在住の日本人の私が見つけて注文を入れたというシナリオが思いつく。なんとまあ、納豆も国際的な食べ物になったものだ。

アマゾンで購入したオーガニックの大豆を水につけてふやかすこと丸一日。まんまるの白っぽい大豆は水を含んで黄金色の楕円形になり、もとの倍以上の大きさに膨らんだ。それを蒸し器に入れて五時間ほど気長に蒸す。豆の匂いと蒸気が部屋の中に充満してきた。

ふと、生まれ育った東京世田谷区代沢の実家で暮らしていた頃を思い出した。小学生の時、夕方になると母親からお使いを頼まれ、通学路だった北沢川沿いを歩いて梅が丘通りにある豆腐屋に行かされたものである。豆腐屋で買うのはいつも絹ごし豆腐一丁に藁納豆二束。



豆腐屋の主人はまだ若くてアンパンマンみたいな丸顔でにっこり笑いながら水桶にゆらゆら揺れている豆腐を手ですくい、持って行った弁当箱に豆腐を入れ、藁納豆と共に買い物かごに入れてくれた。その後、隣の駄菓子屋に寄り、お駄賃の十円でお菓子を買うというのがおきまりのコースだった。あまりに長く駄菓子屋でうろうろしているので、家に帰ると「遅い」とよく叱られたものである。あの豆腐屋は今でもあるのだろうか?今度帰国の際に北沢川沿いをぶらぶら歩いてあの商店街を訪れてみたい。

そんなことを考えながらしばしノスタルジックな思いに浸っていると、豆が柔らかく指で簡単に潰せるようになった。取り出して消毒した入れ物に入れて納豆菌を混ぜる。今度は四五度くらいに保ったオーブンの中で寝かせること丸一日。ドキドキしながらラップで覆った入れ物を開ける。と、そこには期待を裏切らず見事に発酵した褐色の納豆ができていた。糸を引いた柔らかい納豆に醤油と練りからしを混ぜて菜箸でぐるぐる混ぜるとネバネバが出てくる。温かいご飯にのせて頂くと口中一杯に新鮮な納豆独特の味わいが広がった。あー幸せ。これぞ私が求めていた懐かしい日本の納豆の味!

納豆を皮切りに豆腐、ベーグル、ビール作りも始めた。手作り豆腐は豆の味がしてコクがあって美味しい。豆の量に比べて出来上がりの豆腐の量が予想外に小さく、大半がオカラである、ということを学んだ。小麦粉の代用にオカラを使ってケーキを焼くとこれが意外にイケる。ベーグルは小麦粉をイーストで発酵させた後、オーブンで焼く前に蜂蜜入りのお湯で煮るという過程があるというのは新鮮な発見だった。

晴れた日曜日の朝、バルコニーの小さなテーブルに納豆ごはんと手作り豆腐のお味噌汁を並べ、ロサンゼルス空港を飛び立つ飛行機を眺めながら朝食をほおばる。あの飛行機は成田に向かうのかな、などと思いを馳せながら贅沢なおうち時間が流れていく。

コロナが教えてくれた「手作り」の楽しさ。自分の中に眠っていたクリエイティビティという新たな側面の発見は何気ない毎日の生活に新鮮な息吹を与えてくれている。まさに、ひょうたんから駒、コロナから納豆。娯楽のない退屈な日々がこんなにも豊かで充実した時間に変わるとは思ってもみなかった。感染が収束し以前と変わらない生活が戻っても「手作り」を通した私のクリエイティビティの探求はこれから先もずっと続いていきそうだ。

(国際交流基金ロサンゼルス日本文化センター　オフィスマネジャー)

視座を変えるということ

松岡　由紀(四一回)



徳之島へ移住して十六年が経とうとしている。小学生時代、図工の時間にジャングルで色とりどりの動植物に囲まれて暮らす未来の夢を描いて以来、その暮らしを南国で実現すべく、昨年は新居建設に着手した。二五〇〇㎡の敷地にどんな植生を配置してどのような家を建てるか、設計から関わった家作りは、人生の中でも最高に印象深い経験となった。

世はコロナ禍。いつもの飲み会や会合も軒並み中止になる中、職場と自宅と現場の往復が五か月続き、仕事以外は建築にほぼ全神経を注ぐような日々



であった。軒天、壁板、断熱材、石膏ボード、壁塗りまでを職人さんに交ってやらせてもらい（多分に足手纏いだったかと…）洗面台と鏡、キッチン台、下駄箱、書斎机、化粧台は自らデザイン、計測して集成材から手作りした。

　周囲を牛小屋とバナナ畑、サトウキビ畑に囲まれた我が家は、アジアンリゾートのコンセプト通り、マンゴー、アテモヤなどの南国フルーツやフェニックスなどの植栽、そしてヤギや猫やお隣のニワトリが闊歩するミニ南国農園の様相を呈している。そして改めて島の人に尋ねられる。「本当に島の人になったのね。でもどうして徳之島だったの？」

　徳之島は周囲およそ八〇㎞、面積二四八㎢、奄美群島の中央に位置する亜熱帯気候の島で、人口は約二万三千人を数える。行政区分では南部の伊仙町、西側の天城町、東側の徳之島町三町からなり、「長寿」「子宝」「闘牛」「五つ子ちゃん」などが有名。特に私の住む伊仙町は、人口約六千人に過ぎない小さな町ではあるものの、かつて長寿世界一を二人も輩出し（泉重千代翁、本郷かまと媼）、合計特殊出生率は二期連続日本一で、今期の発表で沖縄県金武町の2・47に後塵を拝したものの、日本の平均が1・36（二〇一九年）であるのに対し、2・46で国内第二位という出生率を誇っている。



　歴史に目を向けると二〇〇六年に国指定の史跡となった「カムィヤキ遺跡」は南島考古学史上最大級の発見とされており、また二〇一六年には「面縄貝塚」が国指定史跡となった。次なる国指定レベルの「面縄城跡」や鹿児島県指定レベルの「トマチン遺跡」などと共に、一〇〇〇年単位で人々の暮らしを雄弁に物語る大規模な史跡が足元に広がり、発掘現場ではいつも悠久の歴史と当時の人々の暮らしに思いを馳せる。他にも集落内に存在する「明眼の森」が国の天然記念物に指定され、アマングスク史跡では三万年前の人類の痕跡が見つかっている。

　コロナ禍の影響も受け、登録発表が延期になっているものの、二〇一七年に日本政府が世界自然遺産としてユネスコに推薦した「奄美大島・徳之島・沖縄島北部および西表島」は、今年の夏の登録を目前にしている。

　これらの歴史、自然の固有性は、自分が知識として知らなかっただけで、目の当たりにした時の深い感動と衝撃は大きなインパクトがあった。十八年前にコンサルとして初めてこの島へ足を踏み入れた時、真っ青に煌めく透明な海や咲き誇るハイビスカスは当然の事、島の人に案内されて巡った縄文の人々の暮らしの痕跡や天然記念物クラスの生物が日常の暮らしの中で見られる環境に、海外での異文化体験をそれなりに経験した自分を持ってして、かなりのカルチャーショックを受けた記

憶が未だ鮮明に蘇る。

私は高校時代から歴史は不得意で、過去から学ぶことの意味も当時は本質的に理解できていなかったが、日本地図に載るかどうか位の小さなこの島で、二千年から三万年前の人々の高度に発達した文化、暮らしの痕跡を目にした時、私たちが学んでいる歴史というのはあくまでも断片であり、辺縁の史実が明らかになることで、常識や前提が大きく覆る可能性を初めて感じた。

また島の人々の、見返りを求めない結の精神や大らかに相手を受け入れる懐の大きさ、事を重大に深刻に捉え過ぎず、誰のせいにもならないよう絶妙な塩梅で受け流す、阿吽の呼吸で日々の生活に根付いた島んちゅの流儀は、同じ日本人でありながら精神文化の大きな違いを見せつけられる。

移住後すぐに出産を経験し、それ自体も初めての経験ではあったものの、それ以上に集落の人達、友人知人が段取りをしてくれ、赤ちゃんが生まれたお祝いの会を盛大に準備してくれた経験もまた、東京出身の自分には驚愕するようなスケールと感動の連続だった。当日は口コミだけであれよあれよという間に場が整い、ご馳走が並び、お返しの品も準備され、当の赤ちゃんと私はお神酒を注ぐために部屋の奥に鎮座し…広報も広告もせずとも百人を超える島の人々が集い、唄い、舞う光景は、一人の子供の誕生を文字通りみんなで祝う、という島の伝統を、身を持って体験した出来事だった。



人のために時間を費やす。人のために体を動かす。理想論では理解しても実際に行動するのとでは雲泥の差がある。それをいとも容易く、当たり前のように行動する島の人々に、自分は何度助けられ学ばせてもらってきたか。

奄美の島々には生活の知恵に根付いた多くの諺が存在し、「子は宝」「挨拶に銭金要らん」「人は人の中、木は木の中」など、含蓄の深い諺と共に、それらが人々の行動原理にもなっている。「親先祖拝でぃ、神拝め」とは親や先祖に感謝してから神様を拝みなさい、という意味だが、宗教論以前に私の心には腑落ちした。



移住に際しては国内の他の地域にもいくつかオファーを頂いていて、条件だけで比較した場合徳之島は最善の選択肢ではなかった。それでも就職先も決めずに、身重の身一つでこの島への移住を決めた最終的な理由は、この島の人々との心の繋がりと、この土地自体が持つ目に見えない強い引力が、私と家族をここへ導いたと確信している。

私にとっては「地場」としか表現できないこの島の持つ強烈なエネルギーの上に歴史が積み上げられ、結果として奇跡のような出来事を引き起こし、それを本能的に感知した自分が、移住という決断を下したと今は理解している。

現在、伊仙町の教育委員会に在籍する中で、大きな柱として進めているのは、学校教育とは別の「地域教育」で、これからの変化の大きい社会を生き抜いていくために必要な能力は、学力のみならず体力や精神力、他者とのコミュニケーション能力であるという前提に立つ。自らが大切な存在であると言う自己肯定感を自然に身に着けるためには、これまで述べてきたような徳之島の環境は、人的関係性も含めて土地の優位性に他ならない。これらの特性を地の利として、子供たちが巣立つ前にいかに吸収できるか、家庭や地域が子供に人として大切な素養をいかに育んでいけるか、既に素地のある島では実現可能性は高い。

これまでは、離島であるが故の職業選択の幅の狭さ、大学レベルの高等教育に触れる機会がない現実、そして島の固有性、優位性を知らないまま、ポテンシャルを伸ばし切らずに子供たちが島を離れて行くのは仕方ないという大人の常識が存在していた。

ただ、皮肉なことに、世界の誰一人経験したことのない今回のコロナ禍の下、様々な常識が覆り、遠隔でも対面と遜色なく遂行できる伝達手段があることも証明された。そうなると物理的距離が情報や技能伝達の不利な条件とはならず、この土地にしかない互換性のない自然環境や地域文化の価値が、有利な条件となり得る。

よそ者の自分が、島で子どもを産み、その成長過程で直面する教育環境の壁にぶつかる中で、個人的にも行政としても、あらゆるライフステージに学びの環境を整えるべき余地があると実感している。高い地域力の中で本物の人の繋がり、本物の自然環境と伝統文化に囲まれている徳之島だからこそ、その強みにほんの少しの戦略と仕組みが組み込めれば、人間形成にとってこんなに有利な場所はないと確信している。

（伊仙町教育委員会社会教育課）



成蹊と私

別府　祐弘（七回）



私の父は十人兄弟の末子で、そのまた末子が私なので、明治の人の祖父の顔は知りません。しかし南国九州の中津近郊にある父の実家には、幼い頃より度々連れて行かれました。その奥座敷に飾ってある大隈重信より別府又十郎宛の彼の政党より立候補を強く促す一通の書簡が、見たことのない祖父への強い憧れとなって、私を早稲田大学政治経済学部に進学させることになりました。そしてそこで横浜国立大学学長黒澤清講師の教えを受けたことが、成蹊と私との最初の出会いでした。

先生は御担当の「会計学」の講義の

合間に卒業された成蹊実務学校（実科中学）を懐かしんで、成蹊新教育の精神とも云うべき創立者・中村春二の「椎のひともとの歌」（道のべの　椎の一もと葉かげなほ　まばらなれども椎のひと本）をよく引用されたものです。

後に縁あって大学図書館委員として、恩師の「黒澤清文庫」創設の委員会決定に列席させて頂きましたことは、誠にありがたいことでありました。この文庫が常に先生の愛された個性と実学尊重の成蹊の原点回帰の礎となれば、この上ない慶びであります。

中津の町はまた、福沢諭吉生育の地として、中津城公園二の丸に「独立自尊」の石碑があることで有名です。しかし同じ中津城本丸に、私の曾祖父の「大久保麓山先生紀念碑」も建立されていることを知る人は、今日ほとんどありません。そこには次のような碑文（漢文）が刻まれているのです。



① 大事にたへるには
　篤実でなければならぬ
② たとえば基礎が堅固で
　家が築けるようなもの
③ 君は実行を重んじ
　かくて弟子を教えた
④ 学風を後に伝えて
　きわまることはない

文人風を嫌って実学を尊重した藩学・麓山のこの学風が、後に塾生であった福沢諭吉の「学問のすすめ」の中にも色濃く受け継がれていると土地の古老は申します。（塾の北隣が福沢家）

そしてこの碑文を撰した「中村正直文庫」が三菱・岩崎家より寄贈されて、成蹊大学にあることがまた、成蹊と私を結びつけたいま一つのご縁でした。

この碑文こそがその後一橋大学古川栄一教授に師事して経営学を私に専攻させた理由であり、尊師の推薦によりこれを講じて三六年間、成蹊大学で研究教育活動に従事させて頂きました。その間経済学部経営学科、大学院経営学研究科修士課程・博士課程及び経営管理大学院の創設に参画し（→令和二年経営学部創設）、成蹊の原点である実務学校の伝統の上にこの碑文で中村正直に讃えられた④大久保麓山の学風を重ね合せて大学で実践すべく、微力乍ら私なりに努力してきた次第です。因みに②③が成蹊の「活きた学問の指導」であり、①③が成蹊の「道徳の実践躬行」「桃李不言　下自成蹊」（史記）です。

東京弁護士会に所属し、昭和五五年に八五才の天寿を全うした父、別府祐六が幼き日（一九〇三年）に、学問の神様を敬い讃えた歌を刻んだ三m程の石柱二本が、中津近郊の三毛門公園に現存する。最後に本稿に現れた巨人たちに何よりも私の成蹊に、この敬賛歌（漢詩）を献じて筆を置きたい。

遺徳千秋を照らし　芳名萬古に轟く

（令和二年春の叙勲　瑞中
教育研究功労　成蹊大学名誉教授）

https://kazuo1947.livedoor.blog/archives/33385088.html
「如水会　宇宙戦艦ヤマト」で検索（動画）。前列左から 2 人目が筆者。

新宿高校旧教職員寄稿随筆

高校生と「核兵器のない世界」をめざして

社会科　菅　豊

一九七〇～二〇〇〇年前後在職の教職員のみなさんとの懇親会を、今春も中止せざるをえなくなり、幹事としてとても残念に思います。

早く平穏な日常を回復し、懇談できる日が訪れるのを心待ちにしています。

ここ数年の間に、二十代半ばで赴任した生意気な若輩者を暖かく見守り、叱咤激励していただいた諸先輩方のご逝去の報に接することが多くなり、寂しい限りです。ご冥福をお祈りしながら、当時を思い出すことも多くなりました。



原宿駅前2020.9 右端　菅

八十年初頭、社会科の蔵書に被爆体験を元にした中沢啓治漫画『はだしのゲン』を加えていただき、貸出しをはじめました。「漫画は低俗なもの」という風潮の時代に学究的な社会科でお願いするのには勇気がいったように思います。

修学旅行は、奈良・京都だけでなく「広島・長崎」平和学習を考えるようになりました。（近年は「沖縄修学旅行」が多くなっているようです）

「原爆」をテーマにした授業では、今でも冷や汗がでるが「原爆許すまじ」を歌った（2クラスでやめました）記憶がよみがえります。

一九四五年八月六日朝、故郷愛媛県今治の海岸から異様な広島の空をみたという話を聞き、五四年アメリカビキニ水爆実験で被ばくした第五福竜丸に関わる「放射能汚染されたマグロや雨」の恐怖を子ども心に刻みました。

二〇〇八年、退職後、都立・私立の「平和・憲法・社会問題」に関心のある高校生のサークル「東京高校生平和ゼミナール」の世話人として、高校生とさまざまな活動をしてきました。

二〇一一年、東北震災半年後、現地ボランティアに高校生と行きました。

毎年八月、広島、長崎の原爆資料館訪問、被爆者の話を聞く会、全国高校生平和集会に参加してきました。

二〇一七年一月、核兵器禁止条約署名の取組みを高校生が決め、以来毎月、神宮橋で署名活動を続け、二〇二〇年二月に目標五千筆を超えました。

日本人の反応は比較的冷ややか、外国人は署名用紙を丁寧に読み、子どもにもどうする?と問いかけて可否を判断する人が多かったのが印象的でした。

世界的な反核運動の広がりの中、二〇二一年一月二二日、「核兵器禁止条約」が発効し、核兵器が「絶対悪」になりました。唯一の戦争被ばく国として、日本が核兵器廃絶の先頭に立つことが求められています。

残された時間、高校生の平和への強い思いと行動力に力をもらいながら「核兵器のない世界」をめざしてがんばろうと思います。

「微力だけど無力じゃない」という国連「高校生平和大使」のスローガンに共感し、金子兜太「原爆許すまじ蟹かつかつと瓦礫をあゆむ」に胸つまり、鼓舞されて。

（一九七三年～八九年在職　社会科）

支部便り・部活報告

朝陽ＵＳＡ支部報告

米国ではコロナ感染の拡大に加えて五月末からブラック・ライブズ・マターの抗議運動やそれに便乗した略奪行動が各地で起こり心穏やかではない生活が続く中、八月一日にサンデイエゴの保科さん（二七回）の音頭でＺＯＯＭによる「第一回バーチャル朝陽ＵＳＡ同窓会」を開催しました。まだその頃はＺＯＯＭの使用について慣れていなかったこともあり試行錯誤しながらのセットアップでしたが、いざ蓋を開けてみるとオペレーションも簡単でグループでのチャットも問題なく、音声や画像も鮮明で想定以上に《場》の共有や臨場感を味わえることが分かりました。何しろマスク着用や夜道のドライブなど気にせずに家でワイングラス片手に寛ぎながら気楽におしゃべりできるのが最高です。二年おきに米国内の場所を変えて開催している同窓会にはなかなか参加できないメンバーの初参加もあり、各地の感染状態などをシェアして大変有意義な時間を持つことができました。

味を占めて年内にもう一回やろう、ということになり十二月五日に忘年会を兼ねた「第二回バーチャル朝陽ＵＳＡ同窓会」を開催しました。米国と日本からの参加者も含めて総勢十六名。今回も話題の中心はコロナでしたが各業界で活躍されている皆さんの角度を変えた視点からの最新情報は素晴らしく、多くのことを学び、改めて新宿高校の卒業生であることを誇りに思いました。忘年会の後半は答え合わせクイズやイントロ当てクイズで久しぶりに大笑いをし、皆さんから沢山の元気をもらった二時間半でした。

今年初めにはＺＯＯＭの存在すら知らなかったことを考えるとコロナ禍でのデジタル技術の急速な普及には目を見張るものがあります。もちろん実際に会えることができれば一番良いですが、広大な米国大陸を網羅している同窓会支部なので、こういったバーチャル型の集いは時差こそあれメンバーが最小限の労力で気楽に集えるという点で最適ということを学びました。フィジカルな行動が極端に制限された年でしたが朝陽ＵＳＡの情報交流はいつもの年よりも活発でメンバーの皆さんのことを今までよりも知ることができた年となりました。



コロナ禍により社会の規範や常識が変わっていく中で私たちの意識・価値観・行動もそれにつれて変化し、従来

は自身の価値観を表現する《場》として最優先されたリアルの代替手段としてのバーチャルが大きな価値を持つようになってきました。朝陽ＵＳＡにおいても今後はリアルとバーチャルの融合型で活動して行けたら理想的だと思います。

最後になりますが、次回の朝陽ＵＳＡ総会・同窓会は二〇二二年二月十九日（土）にロサンゼルスで開催予定です。（コロナの状況によっては変更になる可能性あり）

米国大陸にお住まいの皆さん、随時会員の募集をしていますので是非ご一報ください。

連絡先　yasukoyc@gmail.com

（二四回　横田康子）

群馬朝陽会便り

二〇二〇年は二年に一度の総会開催予定の年でありましたが、ＣＯＶＩＤ－19の影響で開催できなくなりました。隔年の十一月、第二週を開催予定としておりますが、八月までにワクチン接種が進み、会合が可能なようになりましたら九月に朝陽のホームページ並びに会員各位に総会開催可否を葉書にてお知らせいたしたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

（二五回　浅原　寛人）

九州朝陽会便り

令和元年度の支部総会は、久々に二十名越えの幸先良いスタートでしたが、年明け四月の緊急事態宣言の発出で、広島14佐治氏「政府が宣言解除しても、福岡行きを二年は控える！」とのメールが物語る先行きの不安に、九州支部も不要不急（⁉）の幹事会を開けないまま。神奈川17芝原氏「今年の総会は？」にもお返事を差上げられずじまい。幹事の不徳、紙面をお借りして会員各位にお詫びいたします。

一年半ぶりの幹事会を「上京して来たよ」とお元気な3石井会長以下七名で三月に中洲川端シャポーで開催。令和三年度も無理な会合は禁物、安全第一で様子を見ることにしました。この日まで勤めてくださった7豊田氏に代わりいつも颯爽とされている15野上氏が会計監査役を快諾。「コロナってホントに怖いの？」と再開博多座で歌舞伎を堪能された7小泉氏。超台風対策で戸建→集合住宅へ住替え、貴重本多数を断腸の断捨離23安武氏。28小林幹事の導きで幹事間の新連絡手段、覚束ないＬＩＮＥ仲間となり解散しました。

（二九回　山下　美智恵）

多摩朝陽会便り

多摩朝陽会より、二〇二〇年度のご報告をいたします。

多摩朝陽会は例年七月の第二土曜日ごろを目途として、多摩市の京王プラザホテル多摩において総会を開催しております。しかしながら、昨年度はご承知の通り新型感染ウイルスによる感染症の拡大など、密を避けざるを得ない事態となり、第十八回目の開催を前に、残念ながら中止を決断するところとなりました。開催を楽しみにされていた皆さまにはお詫びを申し上げます。とともに、今なお予断を許さず、本年度の開催についても実施を決めかねている中ではありますが、どうぞ、くれぐれも御身お大事にご自愛くださいますようお願いを申し上げます。

この事態が解除となりました暁には、是非皆さまと笑顔で再会いたしたく思います。その日を心から楽しみにしております。

（三三回　大内）

令和３年度　宮城朝陽会　総会開催のお知らせ

昨年度はコロナ禍により、残念ながら開催かないませんでしたが、今年度は次のとおり開催させていただく予定です。　ホテルとも十二分に連携し、“三密”を徹底防止したうえ、“新しい様式”により運営してまいります。

◆令和３年９月１８日（土）１５時　於スマイルホテル仙台国分町

皆様の元気なお顔を拝見できますこと、心待ちにいたしております。

会長　米本行範（20 回）　　事務局　小田島肇（38 回）

朝陽バラ会　それでもバラは咲く

花の育種の醍醐味、それは地球上に存在する生物すべてに共通する遺伝子の変異が作り出すバリエーションの組み合わせから生まれる新奇性の創出、しかしその変異が人類に害をもたらす病原性ウィルスを作り出せば世界は恐怖に突き落とされる。

一九九九年の年の瀬、世の中はミレニアム問題なる関心事に右往左往していた。

パソコンが動かなくなるだの、金融システムが不具合を起こすなど、様々な憶測が飛び交う中、ある評論家がニュースキャスターに二一世紀とはどのような時代なりますか?と問われ、こう答えていた。

「二一世紀は既得権益と未知のウィルスとの闘いです。」

その時は何となく聞き流したが今となってはその評論家の名前だけでも覚えておけばよかった思う。

毎年夏になるとメディアは人食いバクテリアが人類に脅威を与えるとまくしたてたが、ＳＡＲＳもエボラ出血熱も私たちの日常生活を脅かすことはなかった。鳥インフルエンザも豚熱（豚コレラ）も…人類は最強だ！

そんなうぬぼれがひとたまりもなく打ち砕かれた。

バラは病気に弱いといわれる。

バラはそんな人間の評価を受け入れているように思える。

バラの世界には「それでもバラは咲く」という言葉がある。

私は今までこの言葉はバラの管理の上手ではない人がバラを栽培しても、枯れさえしなければ春には花を咲かせてくれるという少し人を小バカにした言葉だと捉えていた。

二〇二〇年、朝陽バラ会ではコロナ禍の影響でバラの手入れをしてあげたくてもできない状況が続いた。

新宿高校の朝陽バラ会の花壇は草に埋もれてしまったと聞いた時、私の脳裏にはあるバラ園の姿が浮かんだ。

それは震災の後、放射能汚染により人間から見放され荒れ果てた福島県の双葉バラ園の姿であった。

何とか学校の花壇を再生させたのは、愛溢れるバラ会のメンバーである。

そして二〇二〇年秋、バラは例年と変わらない花を咲かせた。

「それでもバラは咲く」

（三九回　武内俊介）

坪井昌造法律事務所

弁護士　坪井　昌造（26回）

〒107-0062
港区南青山1-10-4　南青山NKビル4階
TEL：03-5771-8041，FAX：03-5771-8042
e-mail:tsuboi-lawoffice@muh.biglobe.ne.jp

やまぶき法律事務所

弁護士　佐藤　貴則（27回）

〒101-0052
千代田区神田小川町2-1
シンコー・ミュージック・プラザ　5階イーストウィング
TEL：03-5577-6901，FAX：03-5577-6902
e-mail：sato@yamabuki-law.jp

(医)社団 赤坂まつの矯正歯科

院長　松野　功（27回）

〒107-6102
港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル2F
TEL：03-5573-8893，FAX：03-5573-8892
http://www.ak-matsuno.com/

税理士法人 アドヴァンス会計

副代表社員税理士
松野（平田）淳子（27回）

〒154-0004
世田谷区太子堂1-12-39-7F
TEL：03-5787-3255，FAX：03-3413-6255
e-mail: j-matsuno@advance-tax.com

山本会計事務所

税理士　山本　展也（27回）

〒150-0042
渋谷区宇田川町2-1 渋谷ホームズ508
TEL：03-5459-3411，FAX：03-5459-3413
e-mail: LDZ00547@nifty.com

いわさき眼科
都立新宿高等学校校医（眼科）

医学博士・眼科専門医
院長　岩崎　寿子（35回）

〒160-0022
東京都新宿区新宿3-32-5　日原ビル3F
TEL：03-5367-5455
http://www.iwasakieyeclinic.com/

島﨑会計事務所

公認会計士・税理士
島﨑　主税（28回）

〒160-0023
新宿区西新宿7-1-7　A310
TEL：03-3361-4793
e-mail:cpashima@ace.ocn.ne.jp

登坂法律事務所

弁護士　登坂　真人（29回）

〒153-0044
東京都目黒区大橋1丁目2番10号
ライオンズプラザ池尻大橋706号室
TEL：03-6712-7773，FAX：03-6712-7774
E-mail: cxn02345@nifty.com

矢島税務会計事務所

税理士　矢島　守（34回）

〒190-0002
東京都立川市幸町1-14-12
SHOEIビル301
TEL：042-537-9660，FAX：042-537-9661
e-mail：yajima115417@jcom.zaq.ne.jp

中村・木原法律事務所

弁護士　中村 悦朗（35回）

〒160-0004
新宿区四谷1丁目10番地
第2上野ビル2階
TEL：03-6384-1230，FAX：03-6384-1231
e-mail: nakamura@law-nk.jp

医療法人社団恵比寿会 淳クリニック
• 内科（呼吸器内科・消化器内科・気管食道内科）
• 小児科 • 放射線科

理事長 院長　内藤　淳（28回）

〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿西1-14-2　ツムラビル2F
TEL・FAX：03-5489-0463
https://www.ebisukai.server-shared.com

ジュク！ファーイト!!

弁護士　木村　眞一（16回）

〒100-0004
東京都千代田区丸の内３－４－２
新日石ビルヂィング９階
高橋法律事務所
電話：03-3213-5771，FAX：03-3213-5774
e-mail: s-kimura@abox3.so-net.ne.jp

石束（いしづか）クリニック
精神科･心療内科（もの忘れ外来･睡眠外来）

院長　石束 嘉和（24回）

〒157-0067
世田谷区喜多見 8-18-12 コーポ真木４階
小田急線喜多見駅徒歩30秒
TEL：03-6411-8739
e-mail：ishizukaclinic@yahoo.co.jp
http://ishizuka-cli.byoinnavi.jp/









KEIO PLAZA HOTEL TOKYO

京王プラザホテル　〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1
TEL.(03)3344-0111　www.keioplaza.co.jp

50th Anniversary

これからのホテルへ、
これからも笑顔で。

母校便り

学校長所感

校長　藪田　憲正



令和三年四月一日付けで校長に就任いたしました、藪田憲正です。どうぞよろしくお願いいたします。

本年三月までは学校の様々な業務をワンストップで支援する、中部学校経営支援センターで支所長をしておりました。今回の新宿高校長への就任は十年ぶりの学校勤務になります

新宿高校着任にあたっての本校の印象は、伝統を重視しながらも、常に先を行く学校というものでした。これは、私自身が高校生時代に部活動の練習試合で訪問した際の同窓会の施設を見た印象や、教育委員会で大学進学対策の施策立案の仕事をしていた際に、本校の先進の進学指導システムを見分したことによります。

着任以来、本稿執筆までの間、いよいよこの感を強くしております。

私自身、都立の伝統校の出身で、卒業後は同窓会総会の実行委員を務めました。実行委員の仕事中で、総会で行う抽選会の景品を先輩のもとにお願いに行くというものがありました。誰もが名を知る大企業の社長室に通され、直接社長を務める先輩から自身の高校時代のお話や、母校の現在の状況についてお話をしたことは今でも自分の財産になっております。

新宿高校でも朝陽会の諸先輩方に様々な御支援をいただいていることは、生徒にとって大きな財産となっているとともに、生徒の高い志に大きな力となっていると考えております。これは、新宿高校の百年に及ぶ歴史の賜物であります。今後もかわらぬご支援を先輩方にお願いしたいと存じます。

新宿高校の進学指導のシステムにつきましては、その成果をもとにして、都立高校の大学進学に向けた重点的指導をうける、進学指導特別推進校に指定されていることからも明らかなことです。生徒、教職員、保護者が一体となって進学にむけた準備を行う新宿システムや、進路実現に向けて、一人の落伍者を出さず、全員で励ましあいともに切磋琢磨することを意味する「進路は補欠なき団体戦」という合言葉で取り組んでいます。また、これら精神的な支えだけでなく、生徒一人ひとりの学力の状況をそれぞれの生徒に関係する教職員全員で分析し、必要な指導を考える「目線合わせ」や自習室の完備など、進学に向けた様々な仕組みも整えております。

この成果として、ここ数年、国公立大学への進学者は百名を超えるとともに、毎年着実にその数を伸ばしております。今後さらに生徒の希望の実現のため、努力してまいる所存でございます。

私が校長として着任した際に立てました学校経営計画の中では、中期的目標として、「高い志をもった生徒の育成と進路希望の実現」を掲げさせていただいております。本校の進学実績を支えているのは、各生徒の高い志とそれを実現しようとする努力によるものが大きくあります。私は、生徒がさらなる高みを目指して、高い志をもち、それを高校生活を通じて維持し続けることを願っております。学校としてはそのために最大限の努力を重ねてまい

りたいと思います。それとともに、同窓会の諸先輩方にも、様々な機会を通じて、高い志をもって自己実現を図られたご経験を、ぜひ後輩である生徒たちのために役立てていただければありがたいと考えているところです。

どうぞ、今後も本校への御指導、御鞭撻のほど、お願い申し上げます。

母校だより

副校長　高取　克明



令和三年四月一日付けで副校長に就任いたしました、高取克明です。どうぞよろしくお願いいたします。

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にひとかたならぬご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

母校だよりとして、今年度も引き続く本校の新型コロナウィルス感染症対応についてご報告いたします。

（一）まん延防止等重点措置の適用に伴う対応について

令和三年三月十八日付の通知により、緊急事態宣言の解除に伴い、感染防止対策の徹底と学校運営の継続に取り組んでまいりました。

しかしながら、まん延防止等重点措置の適用が決定し、東京都においては、四月十二日から五月十一日まで、二三区及び六市を対象区域として、「徹底した人流の抑制」「徹底したあらゆる場面のリスク抑え込み」「徹底した医療提供体制等の整備」を三つの柱に、都県境を越える外出自粛やGW中の旅行延期、テレワークの徹底、学校における感染症対策の徹底やデジタル機器の積極的な活用など、まん延防止等重点措置を実施することになりました。

本校では藪田憲正統括校長先生のリーダーシップのもと、ガイドラインに基づく学校や家庭での感染症対策を再度確認し、学校における感染の発生や感染拡大のリスクを低減するため、学校生活全般にわたり、感染症対策を一層徹底・点検しているところです。特に、生徒の思い出の機会を減らさないよう創意工夫できるところは検討を重ねています。

（二）教育活動について

生徒等に対する指導の徹底として、時差通学を継続しています。四五分授業で、朝・帰りの混雑回避を行っています。また、現在の感染状況を鑑み、感染症対策を講じてもなお飛沫感染の可能性が高い教育活動は行わないこととしています。部活動については、練習試合や合同練習等は行わない。ただし、大会等参加に伴う都県をまたがない練習試合や合同練習等は可能とし、実施する場合は、学校長の責任の下、生徒の健康観察を徹底するとともに、必要最低限の活動時間及び参加人数にする等の感染症対策を徹底し、実施しています。合宿や修学旅行は、集団で旅行することに伴う感染リスク等を踏まえ、GoToトラベルが再開するまでの間、中止となっています。更に、学校行事については校外での活動は延期又は中止することとし、中止する場合は、感染症対策を講じた代替の活動を検討しています。

このような状況ではありますが、新しい生活様式を取り入れながら、少しでも前進しようと、生徒・保護者、同窓会をはじめとする多くの関係者の皆様のお力添えを頂きながら、教職員一丸となって、この難局を乗り越えていく所存です。

最後になりますが、皆様の安全とご健康をお祈り申し上げ、報告とさせていただきます。

退任のご挨拶
～発展を続ける新宿高校へ～

前校長　加藤　隆



平成二八年度から令和二年度まで校長として新宿高校に勤めましたが、この度私事あって退職することといたしました。同窓会の皆様には在任中に取り組んだ進学実績の向上や学校行事等の充実などに多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。

大学進学実績では、着任年度に対象校となった「進学指導コンサルティング」で明らかとなった課題の解決を図り、学校経営計画の数値目標を〝難関国立四大学合格者十五名以上〟などと明確化したり、教育課程をすべての生徒が国立大学を受験できるよう変更するなどの改善を進めました。同窓会の皆様にはキャリアガイダンスへの講師派遣や進路通信への寄稿などを継続してくださって新宿高校の進学指導にとって欠くことのできないご支援をいただきました。中期的目標「進学指導特別推進校から進学指導重点校へ」の達成はかないませんでしたが、平成三一年度卒業生では進学指導重点校選定基準のすべて満たすなど、次期選定が期待できる段階を迎えられました。

学校行事の充実では、なんといっても臨海教室へのご支援を揚げなければなりません。現地館山で初めて見た水泳会ＯＢ・ＯＧの熱意あふれる指導と応える生徒の力強さには圧倒されました。行事継続への並々ならぬ熱意は現地でのご支援にとどまらず、次期教育課程への実施期間短縮や台風被害からの館山寮再建へも専門性を発揮した力を結集して課題を乗り越えていく正に全員指導者の同窓会、卒業生諸氏へ心から敬意を表するものです。

創立百周年へも早々に記念事業を立ち上げて、奨学金の充実などによりいつも在校生を励ましてくださったことが強く印象に残ります。校長としても日頃様々にご相談申し上げてはご理解ご協力いただくことで今日の日を迎えることができたものと思っております。昨年度は新型コロナウイルスへの対応に明け暮れて計画した教育活動の半分も実施できませんでしたが、新宿高校の一層の発展は学校と同窓会が手を携えてこそ可能となることを実感した五年間であったことをここに記して退任の挨拶とさせていただきます。

異動に伴うご挨拶

前副校長　内海　秀一



朝陽同窓会の皆さまにおかれましては、日頃より皆さまの母校、東京都立新宿高校の教育活動にご理解、ご支援賜りましてありがとうございます。

令和三年三月末日をもって、新宿高校から異動することとなりました。二年間という短い期間ではございましたが、同窓会事務局の、吉村様、西出様、寺澤様はじめ多くに皆さまにこの上なくお世話になりました。この場をお借

りして、心よりお礼申し上げます。

私が着任した平成三一年は、まさしく時代の大きな変革とともに、本校においても臨海教室の二泊三日実施、新学習指導要領改訂に向けた教育課程の編成等、様々なことがありました。

平成最後となった入学式では、音楽部の生徒によるコーラスから始まり、素晴らしい式典を見ることができました。本校はまさしく伝統校・名門校であるとの強い思いを抱くと同時に、副校長としての職責が果たせるのかと大きな緊張に包まれたことを昨日のことのように思い出されます。運動会、戸山戦、臨海…いろいろなことが目まぐるしく過ぎていった年でありました。

令和元年の年末から、未知のウイルスという言葉を耳にすることが増えてきました。そしてそれは、あっという間に広がりを見せ、七二回生の卒業式を卒業生と教員のみで執り行った後、令和二年度の行事はすべて中止となってしまいました。

七五回生の入学式は開催できず、担任団が手分けをして、まだ見ぬ新入生に課題等を郵送する。臨時休業が続き、新入生セミナー講習、運動会、戸山戦は中止。館山寮修復の件も伴い、臨海も中止。朝陽祭も、合唱コンクール、マラソン大会も……

九月に生徒活動発表会を何とか実施できたことだけが、唯一生徒の活動だったのかなと感じます。部活動も大きく制限が加わり、活動と自粛を行ったり来たりでした。

せめて、「修学旅行だけは」との先生方の思いから、九月から三月に延期し、計画を組みなおし、保護者の皆さまへのご理解をいただくも、年明けの感染拡大に伴い、断腸の思いで中止を決断いたしました。

しかし、生徒はそのような中においても、精いっぱい努力をしてくれていました。可能なこと、新しいことを考え、まさしく未知の課題に対して解決策を考え出すといった、これからの社会に必要なことを模索しています。頼もしく感じます。

副校長という立場は大規模校になると、なかなか生徒との直接的な接点はありません。私自身も、名前と顔が一致する生徒はほんの数人でした。ですが、卒業式の後や、異動の発表があった後、わざわざ挨拶に来てくれた生徒がいました。本当にいい生徒たちだなと思うとともに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

新宿高校には、素晴らしい生徒、素晴らしい先生方、対応の素早い経営企画室の職員の方々、惜しみなく協力してくださるＰＴＡの皆さま、母校愛に満ちた卒業生の皆さま、皆でチーム新宿を形成しているのだと、新宿を離れて一層身に染みています。

東京都立新宿高校のますますの発展と、チーム新宿に関わる全ての皆さまのご活躍を心より願って、異動の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



令　和　3　年　度　教　員　異　動

【退職者】
高橋伸明　（国語）
福江香　（国語）　非常勤教員
橋本輝夫　（化学）　非常勤教員
【転出者】
加藤隆　（校長）　指導部高等学校教育指導課
内海秀一　（副校長）石神井高校
佐藤江美　（地歴世界史）　南多摩中等
青柳利陽　（化学）　足立高校
山田茂博　（生物）　文京高校
日原奈緒美（英語）　総合芸術高校
長美美弥子（英語）　竹早高校
小峰和則　（音楽）　松原高校

【転入者】
藪田憲正　（支所長）中部学校経営支援センター支所
高取克明　（副校長）小平南高校
辻亜弓　（国語）　司書教諭【新規採用】
川口直弘　（地歴世界史）三田高校
松本隆行　（理科化学）第四商業高校
渡邊正治　（理科生物）西高校
鈴木実千　（英語）　国立高校
桑原香苗　（英語）　西高校
千原卓也　（芸術音楽）つばさ総合高校
久間竜太郎（国語）　町田高校
野田徹　（化学）　足立高校

2021年入試 73回生･既卒生 合格状況（2021.4.5現在 判明分）

国公立大学合格状況

	合計	現役	既卒
難関国立	10	9	1
東京大	1	1	
京都大			
東京工業大	6	5	1
一橋大	3	3	
旧帝大等	7	5	2
北海道大	4	3	1
東北大	1		1
名古屋大	1	1	
大阪大			
神戸大			
九州大	1	1	
国立大	80	69	11
帯広畜産大	1	1	
宮城教育大			
山形大			
茨城大	1	1	
筑波大	9	8	1
埼玉大	5	5	
千葉大	17	14	3
お茶の水女子大	2	2	
電気通信大	3	3	
東京医科歯科大	1	1	
東京外国語大	7	6	1
東京海洋大	2	1	1
東京学芸大	8	7	1
東京芸術大	1	1	
東京農工大	9	8	1
横浜国立大	11	9	2
信州大			
山梨大			
静岡大			
富山大	1		1
福井大			
岐阜大			
京都教育大	1	1	
奈良女子大			
三重大			
香川大			
高知大	1	1	
公立大	19	17	2
東京都立大	14	14	
千葉保健医療大	1	1	
横浜市立大	1	1	
諏訪東京理科大	1		1
京都府立大	1	1	
愛知県立芸術大	1		1
大学校	5	4	1
防衛大学校	1	1	
水産大学校	2	1	1
国立看護大学校	2	2	
国公立大等合計	121	104	17

私立大学合格状況

	合計	現役	既卒
私立大（難関）	212	181	31
早稲田大	81	67	14
慶応大	28	26	2
上智大	32	29	3
東京理科大	71	59	12
私立大（GMARCH）	415	373	42
学習院大	17	12	5
明治大	142	127	15
青山学院大	42	36	6
立教大	79	74	5
中央大	70	65	5
法政大	65	59	6
私立大	70	66	4
成蹊大	23	22	1
成城大	17	15	2
武蔵大	9	9	
明治学院大	21	20	1
私立大(日東駒専)	154	131	23
日本大	63	54	9
東洋大	62	52	10
駒澤大	21	19	2
専修大	8	6	2
私立大（女子大）	60	56	4
跡見女子大			
大妻女子大			
学習院女子大	2	1	1
共立女子大	2	2	
駒沢女子大			
実践女子大	1	1	
昭和女子大	8	7	1
白百合女子大	4	4	
聖心女子大	1	1	
津田塾大	12	12	
東京女子大	13	11	2
同志社女子大			
日本女子大	16	16	
恵泉女子大	1	1	

専門学校・その他合格状況

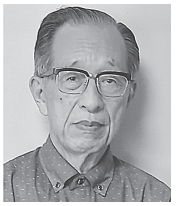
	合計	現役	既卒
専門学校	2	2	0
都立広尾看護専門学校	2	2	
	合計	現役	既卒
その他			0
航空自衛隊			

	合計	現役	既卒
私立大	263	243	20
亜細亜大	5	5	
桜美林大	6	6	
神田外語大	0		
北里大	12	9	3
杏林大	8	8	
工学院大	8	8	
國學院大	15	14	1
国際基督教大	1		1
国士舘大	1	1	
麻布大	2	2	
芝浦工大	54	50	4
順天堂大	4	4	
城西大	1	1	
昭和大	0		
昭和薬大	0		
聖路加国際大	0		
国際医療大	1	1	
大正大	1	1	
大東文化大	1	1	
高千穂大	1	1	
拓殖大	1	1	
玉川大	2	2	
多摩美術大	7	6	1
千葉工業大	4	4	
帝京大	4	4	
帝京平成大	2	2	
東海大	13	9	4
東京医大	2	2	
東京家政大	1	1	
東京経済大	3	2	1
東京工科大	5	5	
東京慈恵医科大	1	1	
東京女子医大	1	1	
東京電機大	8	8	
東京都市大	9	9	
東京農大	26	24	2
東京薬科大	1	1	
東邦大	2	2	
独協大	5	5	
日赤看護大	3	3	
日本体育大	3	3	
日本獣医生命大	3	3	
日本薬科大	0		
文教大	4	4	
星薬科大	3	3	
武蔵野音楽大	1	1	
武蔵野大	8	8	
武蔵野美大	9	6	3
明治薬科大	1	1	
明星大	4	4	
目白大	1	1	
横浜薬科大	0		
酪農学院大	1	1	
関西大	0		
関西学院大	0		
同志社大	0		
立命館大	1	1	
近畿大	1	1	
名城大	2	2	
私立大等合計	1174	1050	124

創立百周年記念特集　新副会長・監事の皆様、「新宿生をスタートに」

3／100の高校生活

副会長　小林曉生（八回）



私達、新八回生は昭和二八年（一九五三年）四月に新宿高校へ入学し昭和三一年（一九五六年）四月に卒業した。母校の創立三一周年から三四周年にあたり、初代の鉄筋コンクリート二階建ての校舎で学んだ。

この頃はスターリンの死去による株価大暴落、ビキニ水爆実験で「第五福竜丸」が被災、石原慎太郎の「太陽の季節」が芥川賞を受賞などが有り、卒業の年の昭和三一年の経済白書では「もはや戦後ではない」と謳われていた。

私達の高校生活は落合矯一校長先生との個人面談から始まった。学園祭では演劇「修善寺物語」の照明係をやったし、フォークダンスもやった。オクラホマミキサーの曲に乗って踊ったのも愉しい思い出だ。二年生と三年生の間に行われた関西への修学旅行も懐かしい。薬師寺では若き日の高田好胤師（当時三一歳）の説明を聞いた。京都では当時では珍しいお寺（東福寺）での宿泊だった。広い宿坊で馬跳びをして遊び住職に注意された。映画鑑賞も課外授業の一環として行われた。「山椒太夫」、「二十四の瞳」、「雨月物語」、「野菊の如き君なりき」等が記憶に残っている。

卒業後、大学へ進学し、社会人になり、そして定年退職し現在に至っている。あれから、六十年余経ち母校も百周年を迎えます。卒業生の思い出が詰まった百年、私達はこの中の三年間を過ごしたことになります。百周年おめでとうございます。そして、有難うございました。

新宿高校らしい百年誌を目指す

副会長　西出紀久（十五回）



この度、朝陽同窓会幹事長を退任し、百年誌担当副会長に専念させて頂くことになりました。同窓会との縁は二〇〇九年に森田先輩（七回）の後任として同窓会誌「朝陽」編集長を務めたのが最初で、二〇一二年には同期秋山小南さん辞任で事務局長、その後吉村幹事長の一時的体調不良で幹事長代行、幹事長と分不相応な職で息も絶え絶え今日まで過ごしてきました。振り返ってみると合計十二年、持って生まれた粗忽の性が加齢で磨きがかり、仕事面でも私生活でも多方面に迷惑かけ放しの日々、誰が見ても年貢の納め時でした。

母校百年誌編集作業は佐藤喜一先生がご健在なら私の出番などないのですが、同窓会事務局で各種資料に触れるチャンスがあったこと、「朝陽」編集長の僅かな経験も何かの役に立つかと思い、身の程知らずにも引き受けてしまい、今となって重責に身の細る思いです。幸いにも、編集委員には橋本健一同窓会長（七月から幹事長）、太田正行さん（二三回）の元母校教員のお二人始め、元毎日新聞記者の奥武則さん（十七回）、「朝陽」編集長の林慶治郎さん（十八回）、元ＮＨＫの三矢恵子さん（二六回）など経験豊かな方々が揃っていますので、皆様の助けをお借りし「新宿高校らしい百年誌」を目

指し、この七月から本格的な取り組みを開始すべく現在準備を進めています。

個性豊かな面々に思う
副会長　柴田真樹（十八回）



新宿高校に進んだのは、青梅街道に近い家賃六千円のアパート・淀橋荘から徒歩二十分と、最も近い高校だったからだ。新校長の着任が遅れ、入学式で挨拶したのは沢登哲一前校長。吉川英治の「随筆　宮本武蔵」の話は強烈で、武蔵ファンだった僕は思わず引き込まれてしまったのを覚えている。

最も人数の多い我々だが、変わり者の人材も豊富だった。ドイツ語やロシア語の原書を読み耽り、さっぱりわからない数式みたいなものに挑戦するグループ。誰が開けるのかブロック塀の穴から新宿御苑に侵入を試みる男女。鐘楼、プール、校舎は昔の面影を残す建物で、山岳部の面々は三十キロの砂を詰めたリュックを背負って階段を上り、足腰を鍛えた。

ユニークな先生たちも大勢いた。生物のタローちゃんは授業の八割が猥談もどき。英語教諭は授業の前後に教室のドアの前で、チョーク箱を灰皿代わりに煙草をプカプカ。美術のY先生にピカソ展の感想を聞かれ、「さっぱりわからなかった」と答えたら、「正直に自分で感じることが大事だ」とほめられた？　ことも。ちなみに我々のクラスは二年生の学園祭で「ペカソ展」に挑戦。あっと驚く作品群を展示したのも、懐かしい思い出だ。

青春の汗を流し、恥をかき、それぞれの道を歩み続けてほぼ半世紀。医者や学者など現役の仲間もいるが、連絡の取れない友人も増えてきた。百周年を迎える母校で、どれだけ懐かしい友と語り合えるだろうか。

旧教職員として
副会長　西尾信子（二四回）



新体制のもと、旧教職員枠から一名選出ということで、図らずも副会長職を引き受けることとなりました。二四回生です。一年生の秋に学園紛争を経験し、価値観を根本から揺さぶられる衝撃を受けましたが、幸いにも三年間女子バレーボール部を続けることができました。大学四年の時には英語の教育実習生としてもお世話になりました。

都立高校の教員となってからも新宿関係の先生方にはいろいろとお声をかけていただき、昭和六一年から十三年間母校の教員として充実した日々を過ごすことができました。三九回生から五三回生までの皆さんと学びの時を共に過ごしたことになります。今や働き盛りとなっている懐かしい卒業生の皆さんにも、ぜひ積極的に同窓会活動に関わっていただけたらと願っています。

数年前からは、百周年記念事業の一環として結成された「朝陽合唱団」の一員にもなっています。幅広い年代の方々と接する機会となり、母校との繋がりをより一層意識するようになりました。

旧教職員代表としての同窓会活動といっても何ができるのか甚だ心許ないところもありますが、活性化のお役に立てるよう尽力したいと思っています。旧教職員の皆様方、どうぞお気軽にご意見・情報などお寄せください。

新宿の空気を吸って過ごした仲間として、朝陽同窓会活動を盛り立てていただけましたら幸いです。なおこの役職は同窓生に限ったものではないとの事。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

副会長になりました
副会長　渡辺康隆（二五回）



我々二五回が入学したのが一九七〇年、万博の年です。我々の年代では、万博と言えば大阪で、今でも三波春夫が歌った『世界の国からこんにちは』は歌えるし、オリンピックと言えば東京（前の）で、マラソンでのアベベの快走と、円谷が最後ヒートリーに抜かれた悔しさです。高校在学中には札幌オリンピックが有り、笠谷がスキージャンプ七〇m級で金メダル、更に金野・青地と続いた『日の丸飛行隊』も懐かしですね。

自分は今まで卒業以来ずーっと二五回の代表幹事を続けています。卒業時に代表幹事を決める会合があり、それをサボった自分が欠席裁判で代表幹事に指名されました。その会合を招集した前中先生（国語）との約束（命令）で死ぬまで代表幹事を続けます。で、今回二五回の代表幹事では飽き足らず、同窓会全体の副会長をすることになりました。

確か二年の時に新宿高校が創立五十年を迎えました。それから五十年経って、今度は百年です。記念すべき百周年です。もう定年で仕事もやめ暇になったので、母校の百年に一肌脱ごうじゃないかと思う今日この頃です。

朝陽同窓会での二十歳代、三十歳代の活動の場について
副会長　宮坂雅子（二七回）



私が朝陽同窓会の活動に回生の代表幹事として参加させていただいたのは、四十歳代だったと思います。

その後、東京大学で建築について論文を提出し、博士（工学）を得ました。現在は総合建設会社で働いています。

新宿高等学校が百周年を迎えるにあたり、何か新しい提案をしたいと考え、朝陽同窓会における、二十歳代、三十歳代の方々の参加、活動について書いてみたいと思います。

十八歳で高校を卒業し、次の学校や仕事で皆さんは忙しくしていらしても、同窓会は、卒業して五年目あたりに、卒業生に同窓会への参加や活動の機会をお示しするのはいかがでしょうか。

卒業して五年目あたりの方々は、クラスから代表を出して回生の会を立ち上げ、小規模であっても回生で集まる機会を企画せず、回生の会を立ち上げることのみでも、今後の活動の基礎となるので意味があるかもしれません。

私はある時期から同期の方々とおめにかかり、同期の方々の人生のそのときの状況を聞き、私もそのときの状況を伝えたり、報告することができました。振り返ると、長い人生のある時期をともに進むことができ、よかったと思います。

二十歳代からの長い人生を、朝陽同窓会の中で、ゆるやかではありま

が、ともにつながり、ともに進むことができるのはすばらしいことではないでしょうか。



TEAM TATEYAMA
高橋寛です！
副会長　高橋寛（三二回）



第二学区の芦花小、芦花中と進み、駒場になったら行かせないと父に言われながら二一群を受け、祈り通じ新宿高校へ。詰襟は最初の数日で、夏はビーサン、基本はＬｅｅに岩田屋で買ったスニーカーというラフな格好、スポーツは高二からバドミに入り、土曜の部活帰りに新宿西口ガード至近の……横丁で頻繁に飲食し、他の高校生とは違うんだと勝手に粋がってました。

新宿高校割引がある馬場の予備校に同期が行くので、一緒に一浪し、大学ではアルペンスキー競技をするとのかねてからの思いで、北大体育会スキー部へ入学。札幌でも北海道朝陽会が毎年開かれ御馳走になりました。インカレに二回出たら二回留年し、農学部を最低ギリギリで卒業。（株）リクルートに入った寮の先輩に誘われるまま入社、急成長ステージのベンチャー丸出しの時期でヘヴィワーク、十一年勤務したところで、厚労省の規制緩和を捉え間髪入れずに、上司の起業に参加。丸二三年強、銀座で人材紹介業 兼ヘッドハンティングを営む(株)エリートネットワークの役員をしています。

震災後、卒業後初めて、同窓会の総会にフラッと寄ったら、代表幹事、館山寮再建実行委員長のご縁を賜り現在に至ります。私は新宿高校でリベラルな生き方と自己責任の原則を学んだと思います。現国の中野先生の授業がとても好きでした。母校の百周年は誰もが得られる体験ではありません。二十代から四十代のＯＢ・ＯＧも楽しめるイベントになる事を願うばかりです。



幾多の偶然により得られた繋がり
副会長　小野瑞城（三四回）



学校群制度の下で七九年の春に入学しました。合格しても新宿か駒場かの希望を聞かれることすらなく、新宿高校入学は全くの偶然でした。そしてその年に初めて作られた戸山戦の応援団に偶然に選ばれ、そのメンバーで作ったクラブとしての応援団に所属し、二年次には応援団長を務めました。

在校中は普通の高校生活と思っていたので新宿高校に特別の思いは無く、新宿高校の繋がりを感ずる様になったのは卒業後二〇年以上経ってからでした。当時の校舎（二代目校舎）の建て替えに伴い、二〇〇四年の暮に校舎のお別れ会が企画されました。二五回生の渡辺先輩にメールで詳細をお尋ねしたところ「三四回生はお前が取りまとめろ」と命令され、偶然に学年の取りまとめを行うこととなりました。その関係で新宿高校の縦の繋がりの強さを初めて意識しました。

その為もあってか「そろそろ卒業四半世紀」との思いが頭に浮かび、折角

の節目と考えて同期会をと〇七年に声を掛けたところ、多数の賛同を得て盛大に開催されました。その際に事務局にお世話になった御縁で繋がりができて同窓会行事に出席する様になり、やがては副会長とのお声掛けを頂いてお受けするに至ったことは自分でも驚いています。振り返ると幾多の偶然により様々な方々との繋がりを得ることができました。袖振り合うも他生の縁。この繋がりを大切にしたく思いますし、次の百年も更にその先も新宿高校の繋がりが続いて行って欲しいと思います。

高校での教えが導いた秘策

副会長　渡辺信久（三四回）



現在、大阪工業大学の教授をしている私がいうといやみに聞こえますが、高校在学中の物理・数学は私の能力をはるかに超えておりました。それでも、あきらめずに、「わからん」を頭の中で飼い続けることを、新宿高校は容認してくれました。数学Ⅲの対数関数や三角関数の微積分はあからさまな暗記科目で、二学期の試験が、中間五点、期末十点くらいだったと記憶していますが、数学の宮下先生は「憶えろ」とは一言も言わず、今後を期待しての単位認定をいただきました。物理もそうでした。運動量と運動エネルギーの違いがわからずに、大学受験に臨んだ武勇伝もあります。それでも「わからないのなら憶えろ」とは、おっしゃらなかったのです。

その後私は、歴代の秀才とは異なった自らの理解を深化させる独特の方法をあみ出し、現在の職に就くことになりました。この独特な方法とは、「理屈はともかく憶える」と「手に取るようにわかる」を直結させた（つもりの）ものです。こうして合理化し、「理屈はともかく憶えなさい」と、しばしば大阪工業大学で教えています。技術にとって必要なことは理解より信頼であり、「理屈はともかく、次にやっても必ずこうなる」ことが信頼の源（みなもと）だからです。大いなる矛盾ですが、信頼されるためには、「理屈はともかく……」に身を投じる瞬間が必要なのです。とにもかくにも、新宿高校で「わからん」を飼い続けたことがその原点でした。

六十回生は、三代目校舎に引越しが終わり、進学重視型単位制高校第三期生として入学しました。当時、学区域制は既に廃止され一般入試は自校作成問題が導入されて数年経った頃でした。

創立百周年記念に寄せて

副会長　楠木綿太（六十回）



新宿高校在学時は様々なことができたのをよく覚えています。保健の授業をして全然うまくいかなかったり、電脳同好会を復活させたり、朝陽祭での新宿ＦＭや生物部の体験型展示。先生方の協力を得ながら自分たちで企画したものが実現できる環境は他の学校ではないのではと思います。

高校卒業、大学院修士課程修了した後、公立中学校にて理科教諭として働きました。学校行事で「校内ハローワーク」がありました。これは、仕事とはなにか、などを様々な職業の人に紹介してもらうキャリア教育の一つで

した。その際、講師として五八回生の大久保和彦先輩と六二回生の佐伯拓磨くんにお願いしました。この経験を元に提案したのが、三月二七日に実施されたOB・OGのためのキャリアガイダンスです。今後、新宿高校の縦の繋がりがさらに広がることを期待しています。

六回生の生徒会長だった清水貴司くんに誘われ、現在は音響機器メーカーでシステムエンジニアをしています。新宿高校での経験や縁があったからこそ、今の自分が形成されているのだと思います。



新宿高校でのラグビーとの出会い

監事　中越一統（三一回）



若輩者でありながら今回、同窓会副会長に任命されました。このような形で創立百周年記念事業に関われて光栄です。これからの朝陽同窓会をみなさんと盛り上げていきます。

昨年還暦を迎え振り返ってみると高校でラグビーをはじめたことが人生における決定的な出来事の一つであると感じている。心身が鍛えられたのはもとより高校、大学等のラグビー仲間は生涯の友となった者も多くいろいろと影響を与えてくれている。現在も本業の傍らで日本協会に関与させていただくという形でラグビーに関われていることは大きな喜びである。

高校当時の私は線が細く運動には縁がないタイプだったがはずみでラグビー部に入部してしまった。我々の代は人数が多いこともありコーチ・OBの期待が高く練習は大変厳しかった。先輩方や同期、ときには後輩達にも励まされ何とか全うすることができ感謝している。目標としていた関東大会の予選で大雨の中最後に同点に追いつかれ抽選の結果出場を逃したことが忘れられない（相手は早実）。自分自身については勉強と部活を絶対に両立させるという覚悟が欠けていたためいずれも中途半端にしてしまったことが悔やまれてならない。それもあって大学以降もラグビーを続けてきたのだと思う。

新三一回には節目ごとに同窓会を企画してくれるリーダーがいてコロナ前に卒業四〇周年の同窓会を開催できた。多方面で活躍している人が多くいつもながら同期から刺激を受けている。百周年関連では世代を超えた人と交流できるような〝つながりの場〟を企画していただけると良いなと思っている。



世代を超えた卒業生との出会い

監事　廣田勝彦（四四回）



この度、監事を拝命しました新四四回生の廣田勝彦と申します。現在は世田谷区で税理士として独立開業しております。高校時代の思い出は体育の授業。運動が苦手な身としては遠泳、マラソン、縄跳びは大変苦労しました。高校卒業後は慶應義塾大学商学部に進学しましたが、大学を卒業する平成八年は就職氷河期の始まりの頃でした。一般企業への就職は諦め資格取得の道を選びました。

大学卒業後は税理士試験の予備校講

師や会計事務所に勤務し、現在まで税理士業界一筋ですが、勤務先を変えても必ず一人は新宿高校の卒業生に遭遇しました。監事就任のお話もそのうちのお一人から声をかけていただいたことが発端です。また、お付き合いのある地元信用金庫の担当が新宿高校の後輩、さらに証券会社の営業担当も新宿高校の後輩で、初めて会ってから一年位したときに何気ない話から判明したときは驚きました。やはり卒業生との共通の話題は「遠泳、マラソン、縄跳び」。時代は変わっても変わらないものがあるのだと思い出話に花を咲かせました。

社会人になっても身近なところに新宿高校卒業生がいるもんだと思いこの原稿を書いていたところ、事務所スタッフのご子息が新宿高校に合格し、令和三年から新入生になるとのこと。

百周年を迎える伝統ある新宿高校だからこそ、これからもどこかで世代を超えて卒業生とお会いできることを楽しみにしています。



♬ 六声会合唱団 団員募集 ♬

私たちは新宿高校ＯＢ男声合唱団です。新型コロナ渦中のこの 1 年余り、活動ができませんでした。今は練習のできた普通の日々の大切さを強く感じる毎日です。コロナ明けには、私達と一緒に歌で若き日の元気を取り戻しませんか？　ＯＧの旦那様も大歓迎ですので、週 1 回、旦那様の練習場への送り出しをお勧め致します。

『最近の練習曲』

多田武彦「柳河風俗詩」、「トスティ歌曲集」、シベリウス「フィンランディア」、ロイド・ウェッバーのミュージカル曲「キャッツ」から、愛唱曲集など。

『これからの練習曲』

旅に寄せたポピュラー曲から「遠くへ行きたい」、「いい日旅立ち」、「芭蕉布」、「北帰行」、「青葉城恋唄」、「川の流れのように」の 6 曲を練習する予定です。

これら 6 曲は日本人に歌い継がれてきたポピュラーの名曲ですが、西岡瞳さん（東京芸大院作曲卒）が優しさと芸術性を備えた間奏曲でつなぎ男声合唱曲集として編集したもので、初心者の方もすぐに歌える曲です。人生の機微や故郷の情景が目に浮かぶような歌、ご希望の方には譜面と CD をお送り致しますので、お知らせ下さい。

『演奏予定』

毎年初夏と秋の新宿区音楽祭、母校百周年記念音楽会等に出演予定です。

『練習場所、時間、その他』

場所：新宿区百人町 1 － 15 － 25 サール・ムジカ（JR 山手線「新大久保駅」より西へ徒歩 2 分、皆中稲荷神社前）

時間：毎週月曜日 午後 6 ：30 ～ 8 ：30 （指揮者：東京混声合唱団の山田さん）

会費：月 5,000 円（入団より 3 か月間は会費不要です）

『お問い合わせ先』

興味ある方は下記のメールアドレスへお問い合わせ下さい。

e-mail : kistatsu@gmail.com 岸田（25 回）　stoneslope2012@gmail.com 石坂（17 回）

なお、六声会合唱団ホームページより過去の演奏を試聴できます。

令和２年度朝陽同窓会紙上総会議事

１. 令和元年度活動報告と決算
・幹事長交代、吉村悟Ｓ７から西出紀久 S15
・令和２年３月末百周年記念募金実績　6,741万円、館山寮再建募金2,144万円
・朝陽奨学金を13名に支給、100周年誌編集委員会発足
・支部朝陽会７支部で開催、東京校歌祭、朝陽クラブなど同窓会活動を展開
・組織強化委員会発足し寿会員制度廃止、副会長選出方法変更などを検討
・ホームカミングデー開催「音楽会」をテーマに200名超参加
２．令和２年度活動計画と予算
・規約改正：寿会員制度廃止、副会長の定員増、会長職務の明確化、役員は会長・副会長とするなど
・会長：橋本健一 S19
副会長：小林暁生 S8、西出紀久 S15柴田眞樹 S18、西尾信子 S24、渡辺康隆 S25、宮坂雅子 S27、高橋寛 S32、小野瑞城 S34、渡辺信久 S34、楠木綿太 S60、
監事：中越一統 S31、廣田勝彦 S44
・100周年記念募金：目標1,000万円、館山寮再建募金：目標1,000万円
・朝陽奨学金：就学援助金６名分追加し210万円計上
・事業準備室賃貸契約を解除
・支部朝陽会、戸山交流戦、ホームカミングデー、朝陽クラブなど中止又は延期
・館山寮再建第二期工事計画立案

同　窓　生　支　援

ＯＢ・ＯＧのためのキャリアガイダンス

昨年度から新しく始めた同窓生就職支援の試み。第１回が2021年３月27日（土）、現在小・中・高等学校で教諭として活躍している講師（同窓会員）から、将来教職を目指している学生（同窓会員）に対して、Zoom を使ってリモートで行われた。

講師による、業務内容、教諭としての心構え、学生時代の過ごし方、子供への接し方、採用などに関するアドバイスの後、活発な質疑応答が行われた。

講師陣：３名／古谷　真（65回）　池田丞吾（66回）　森　菜乃（68回）

受講者：12名／ 69回生３名　71回生８名　75回生１名

母　校　支　援

令和２年度母校キャリア教育支援

同窓会では母校支援の重要な柱として、母校がキャリア教育充実のため行っている諸活動を、全面的に支援してきました。令和２年度も母校の要望に応え、各界で活躍する同窓生の協力を得て、講師の派遣、体験談の寄稿など、母校を支援してきました。

（１）　キャリアガイダンスへの講師派遣

キャリアガイダンスは、１年生の文理選択の参考に母校が開催する先輩の体験談講演会です。令和２年度キャリアガイダンスは令和２年２月10日（水）の午後、「緊急事態宣言」下で学校はオンライン授業中でしたので、オンラインで実施され、下記の15名の方々が講師を務めて下さいました。

卒業回	氏名	現職・主たる経歴等
15	馬場悠男	元 国立科学博物館人類研究部長
20	小林　光	元環境庁次官　現 東大先端科学技術研究センター研究顧問

21	津川清一	KDDI（株）標準化推進室・大学非常勤講師・国際会議議長
21	小池洋次	日本経済新聞論説副委員長 現　関学大教授
23	太田正行	元新宿高校教師（社会科）
24	酒井邦彦	弁護士・元広島高検検事長
25	篠原厚子	清泉女子大人文科学研究所教授（健康科学）
26	植田益朗	アニメプロデューサー　ガンダム生みの親
30	石川　裕	理化学研究所　スパコン「富岳」プロジェクトリーダー
31	中越一統	公認会計士　理系から公認会計士に
32	関井　隆	国立天文台　物理科学研究科　天文学専攻　日震学・星震学
34	潮　智史	朝日新聞スポーツ部（専門はサッカー）
43	西村雄一	日本サッカー協会プロフェッショナルレフェリー・元サッカー国際審判員
48	原田将史	一級建築士・設計事務所代表
48	須田健太郎	（株）電通クリエイティブディレクター

過去の実施内容は同窓会ホームページ下記サイトでご覧になれます。

（2）　月刊紙『進路部通信』“先輩からの言葉”への寄稿

母校進路指導部が発行する月刊紙『進路部通信』(A4サイズ4ページ）に毎号1ページ、各界第一線で活躍する同窓生が、現役生徒の進路選択の参考となり、励みとなる原稿を寄稿しています。令和1年度発行の57 ～ 63号で下記の方々が執筆者されました。

発行号	氏　名	卒回	寄稿タイトル
57（2020. 9）	津川清一	21	グローバルで活躍するためのヒント －国際機関 40 年の経験から
58（2020.10）	鈴木千秋	31	小指の爪の先の未来
59（2020.11）	石川　裕	30	無題（先輩からの言葉）
60（2020.12）	須田健太郎	48	興味・関心を仕事にする生き方
61（2021. 1）	植田益朗	26	「未来のリハーサル」をしよう！
62（2021. 2）	大島正克	21	良い友良きライバルになる資格
63（2021. 3）	楠木綿太	60	学んだことはどこかでつながっている

寄稿内容は同窓会ホームページでご覧になれます。

（3）　各種母校支援

この他にも、①各部活 OBOG 会による現役支援、②奨学金支給、③定期健康診断への医師応援、④財団法人朝陽会による臨海教室支援、インターンシップ受入れほか、様々な場面で母校への熱い思いを持った様々な組織、同窓会員が母校支援を繰り広げています。

朝陽同窓会会員諸氏の寄贈著書紹介

令和２年度にも卒業生から以下の著書の寄贈をいただきました。

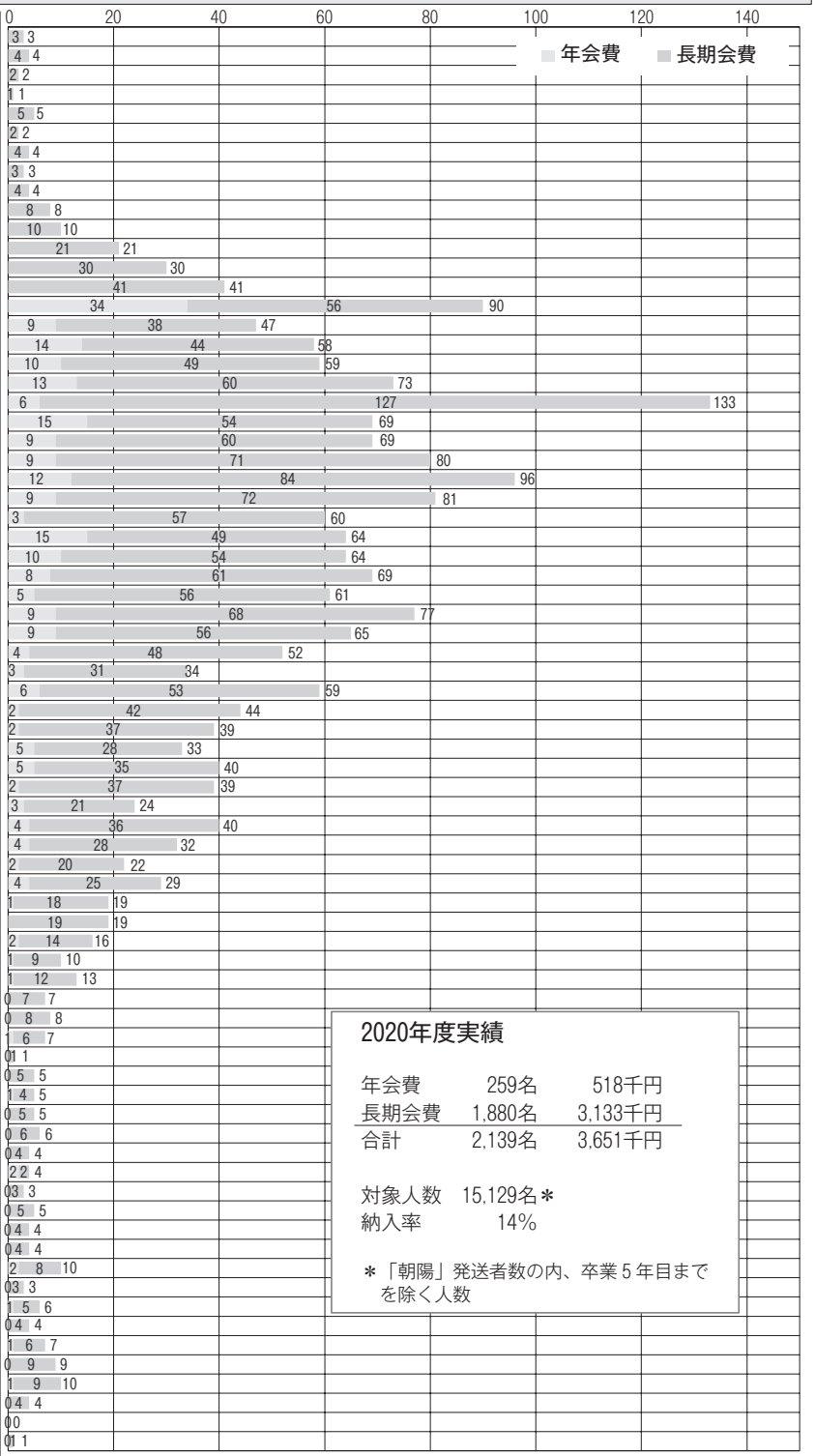
著者名	卒回	書　名	出　版　社	本体価格
遠藤　誉	13	ポストコロナの米中覇権とデジタル人民元	実業之日本社	¥1,800
		習近平　父を破滅させた鄧小平への復讐	株式会社ビジネス社	¥1,800
馬場悠男	21	顔の進化	ブルーバックス	¥1,100
竹内元一	38	中世史講義	甲子園出版合同会社	¥2,400
畑中千晶	40	これからの古典の伝え方　西鶴『男色大鏡』から考える	(株) 文学通信	¥2,090

卒業年次別会費納入状況－会費納入にご協力をお願いします－

同窓会活動は皆様からの会費が唯一の収入源です。同窓会報「朝陽」の発行、母校支援など、同窓会活動はすべて皆様からの会費で運営しています。
2020年度の会費納入状況は下表の通り14%の低率にとどまっており、このままでは今後の運営に支障が出かねません。
年会費は2,000円です。同窓会維持・発展のために、一層のご協力をお願いします。

会費卒業年次別納入者分布表　2,139名（内、長期1,880名）　2020年度

卒業年月	卒業回	年会費	長期会費	合計
1943年3月	R17		3	3
1944年3月	R18		4	4
1945年3月	R19		2	2
1946年3月	R20		1	1
1947年3月	R21		5	5
1949年3月	S1		2	2
1950年3月	S2		4	4
1951年3月	S3		3	3
1952年3月	S4		4	4
1953年3月	S5		8	8
1954年3月	S6		10	10
1955年3月	S7		21	21
1956年3月	S8		30	30
1957年3月	S9		41	41
1958年3月	S10	34	56	90
1959年3月	11回生	9	38	47
1960年3月	12回生	14	44	58
1961年3月	13回生	10	49	59
1962年3月	14回生	13	60	73
1963年3月	15回生	6	127	133
1964年3月	16回生	15	54	69
1965年3月	17回生	9	60	69
1966年3月	18回生	9	71	80
1967年3月	19回生	12	84	96
1968年3月	20回生	9	72	81
1969年3月	21回生	3	57	60
1970年3月	22回生	15	49	64
1971年3月	23回生	10	54	64
1972年3月	24回生	8	61	69
1973年3月	25回生	5	56	61
1974年3月	26回生	9	68	77
1975年3月	27回生	9	56	65
1976年3月	28回生	4	48	52
1977年3月	29回生	3	31	34
1978年3月	30回生	6	53	59
1979年3月	31回生	2	42	44
1980年3月	32回生	2	37	39
1981年3月	33回生	5	28	33
1982年3月	34回生	5	35	40
1983年3月	35回生	2	37	39
1984年3月	36回生	3	21	24
1985年3月	37回生	4	36	40
1986年3月	38回生	4	28	32
1987年3月	39回生	2	20	22
1988年3月	40回生	4	25	29
1989年3月	41回生		18	19
1990年3月	42回生	0	19	19
1991年3月	43回生	2	14	16
1992年3月	44回生	1	9	10
1993年3月	45回生	1	12	13
1994年3月	46回生	0	7	7
1995年3月	47回生	0	8	8
1996年3月	48回生	1	6	7
1997年3月	49回生	0	1	1
1998年3月	50回生	0	5	5
1999年3月	51回生	1	4	5
2000年3月	52回生	0	5	5
2001年3月	53回生	0	6	6
2002年3月	54回生	0	4	4
2003年3月	55回生	2	2	4
2004年3月	56回生	0	3	3
2005年3月	57回生	0	5	5
2006年3月	58回生	0	4	4
2007年3月	59回生	0	4	4
2008年3月	60回生	2	8	10
2009年3月	61回生	0	3	3
2010年3月	62回生	1	5	6
2011年3月	63回生	0	4	4
2012年3月	64回生	1	6	7
2013年3月	65回生	0	9	9
2014年3月	66回生	1	9	10
2015年3月	67回生	0	4	4
2016年3月	68回生	0	0	0
2017年3月	69回生	0	1	1
合計		259	1,880	2,139



2020年度実績

年会費	259名	518千円
長期会費	1,880名	3,133千円
合計	2,139名	3,651千円

対象人数　15,129名＊
納入率　14%

＊「朝陽」発送者数の内、卒業５年目までを除く人数

令和３年度朝陽同窓会総会書面開催議案

新型コロナウィルス蔓延のため、同窓会総会を昨年同様に本誌「朝陽」を使っての書面開催と致します。会員の皆様におかれましては、以下の議案１～４につき、内容をご検討の上それぞれの議案に対する賛否のご意見をお寄せくださいますようお願いします。

賛否ご意見表明をメールで行う場合は同窓会ＨＰに掲載のご案内に従って手続きください。メールご利用でない場合は、同封の賛否表明用紙に賛否、お名前などをご記入の上、050-3730-0138へ Fax、あるいは記入済みの賛否表明用紙を〒160-0015新宿区内藤町11-４ 都立新宿高等学校内朝陽同窓会へ郵送ください。なお恐縮ですが送料ご負担ください。

賛否表明の締め切りは令和３年７月12日（月）です。郵送の場合は消印有効です。

議案の採決は、それぞれの議案につき、賛成数が書面開催参加者数（朝陽発送数とします）の２／３以上で可決とします。ただし、期限までに賛否表明を頂けなかった方は賛成いただいたと見なします。また、記名なき賛否表明は無効ですので、必ずお名前を明記してください。

議案１　役員人事　（以下敬称略）

＊橋本会長が会長を退き、幹事長に就任　　＊新会長に青柳正規を選任
＊西出幹事長が幹事長を退く、ただし、副会長は継続
＊部活ＯＢ会推薦母体の副会長は、今回も断念
＊役員は２年毎改選であり、昨年任命の副会長交代はありません

会長
　青柳正規　S15　新
副会長
　小林暁生　S08　留　01～10回から選出
　西出紀久　S15　留　11～20回から選出
　柴田眞樹　S18　留　同上
　西尾信子　S24　留　旧教職員から選出
　渡辺康隆　S25　留　21～30回から選出
　宮坂雅子　S27　留　同上
　高橋　寛　S32　留　31～40回から選出
　小野瑞城　S34　留　同上
　渡辺信久　S34　留　支部朝陽会から選出
　楠木綿太　S60　留　41回以降から選出
幹事長
　橋本健一　S19　新任
監事
　中越一統　S31　留任　公認会計士
　廣田勝彦　S44　留任　税理士

◆退任役員
会長
　橋本健一　S19　幹事長に就任
幹事長
　西出紀久　S15　副会長は継続

朝陽同窓会長候補　青柳正規（15回）略歴



昭和19年生
昭和38年新宿高等
　学校卒（山岳部）
昭和42年東京大学
　文学部美術史学科卒、
昭和44年同大学院修士課程修了

古代ローマ美術・考古学を専攻
東京大学文学部教授、国立西洋美術館館、
文化庁長官を務め、
現在、東京大学名誉教授、学校法人多摩美術大学理事長、奈良県立橿原考古学研究所所長、東京オリンピック・パラリンピック
　文化・教育委員会委員長　他

文学博士　日本学士院会員
平成18年紫綬褒章受章

朝陽同窓会関係
　平成25年５月　第14代会長就任
　平成26年５月　文化庁長官就任のため会長辞任

議案２　館山寮再建の取組
＊以下にご紹介の館山寮再建実行委員会の設置と再建の進め方

◆館山寮再建実行委員会の設置

名称等変更

2019年度10月（財）朝陽会に設置され今日まで活動してきた「館山寮再建委員会」に、同窓会副会長等３名を加えて再編成する。名称も「館山寮再建実行委員会」に変更し、仕組みを明文化

意思決定の仕組み等を定めた「館山寮再建実行委員会規程」を財団理事会で承認済み

その骨子は以下の通り

・委員会は、代表理事の求めに応じて、館山寮再建計画に関する設計与条件、工事内容の確定などを検討・立案し、報告。さらに、館山寮再建計画に関して重要と判断した事項に関し、代表理事に提案、対処案の立案、報告も可能

・委員の選定方法を明文化

委員会メンバー

新規委員　柴田眞樹S18、髙橋寛S32（委員長委嘱）、駒形昭子S43

継続委員　湯山康樹S25、岩崎洋平S38、鈴木仁志S38、富宇加潤S48

◆今後の進め方

方針

・「館山寮再建実行委員会規程」に則り来年夏の臨海教室実施に向けて寮再建を目指す。

・今年度は再建工事の障害となる既存不適格部分（注１）の解決を図るために、まず設計士の選任をする必要がある。

・社会的信用があり実績のある４社に設計委託料の見積もりを依頼し、最低価格を提示したニジアーキテクツ１級建築士事務所を設計士として選定する。（同事務所は第一期工事を担当している）

（注１）　過去の法令では適法とされていたものが、法令の更新により現在では、適法でないとされ、このままではその不適合状態のままでの新築・増築工事ができない状況にあります。

以上

議案３　2020年度事業報告と決算

◆事業報告　全般
総括
　2020年度は新型コロナの感染拡大により、同窓会活動は著しく制約を受けた
規約の改正
　2020年度総会において寿会員制度の廃止など一部規約の改正実施　12月
役員人事
　同じく総会において卒業回10回ごとに副会長を選出するなど、
　選出方法を改正　12月
◆事業報告　100周年記念事業
－朝陽記念募金
100周年記念募金　年度目標　1,000万円　年度実績466万円
館山寮再建募金　年度目標　1,000万円　年度実績595万円
－朝陽奨学金
今年度実績　12名　120万円を給付　通年
－館山寮再建
　第１期工事完了　男子棟トイレ、風呂などの修復と男子棟の解体　７月
　第２期工事計画　詳細立案継続
－事業準備室
　利用頻度低迷のため賃貸契約を解除　７月
◆事業報告　一般活動
－総会
　コロナ禍の影響で７ヶ月遅れ書面開催
　役員人事、規約の改正など決議　12月
－支部朝陽会
　全支部中止または延期
－事務局テレワーク
　設備を導入して在宅勤務開始　５月
－「朝陽」69号発行　11月
－キャリアガイダンス　２月
－ＯＢ・ＯＧのためのキャリアガイダンス
　第１回開催　在校生を含め20名参加　３月
－各種イベント
　ホームカミングデー、戸山交流戦など中止
◆決算
－活動区分別収支
　昨年度から一般活動と100周年記念事業をそれぞれ一般会計と特別会計に区分して収支を表示
　一般会計については鋭意経費の節減等を図った結果86万円の黒字
　特別会計も190万円の黒字を計上
－監査
　４月16日に中越、廣田両監事の監査済み「特に問題なし」
－具体数値については次頁および次々頁をご覧ください。　以上

2020年度決算案
2020年4月1日より2021年3月31日まで

△印は予算に対して実績が少なかったことを示す

勘定科目	予算	実績	差異	差異理由(予算→実績)
●一般活動				
＜収益の部＞				
入会金	4,088,000	4,100,000	12,000	
年会費	570,000	629,000	59,000	
長期会費	4,470,000	3,623,756	△ 846,244	2683名➡2175名
寄付金	0	60,000	60,000	
朝陽広告料収入	540,000	427,000	△ 113,000	広告料一部未回収
預金受取利息他	7,000	15,701	8,701	
財団受託手数料	360,000	360,000	0	
収益小計	10,035,000	9,215,457	△ 819,543	
＜費用の部＞				
事務局手当	2,904,000	2,916,000	12,000	
通勤交通費	237,000	215,248	△ 21,752	
会議費	70,000	30,000	△ 40,000	
通信費	395,000	366,109	△ 28,891	
光熱費	192,000	161,013	△ 30,987	
消耗品費	464,000	434,770	△ 29,230	
記念品・慶弔費	220,000	60,000	△ 160,000	役員慰労金辞退
銀行郵貯手数料	147,000	173,170	26,170	
取扱手数料	150,000	278,388	128,388	クレジットカードによる納入増
減価償却費	112,000	115,683	3,683	
出張旅費	0	0	0	
名簿印刷発行費	127,050	127,050	0	
朝陽発行費	3,260,000	3,461,324	201,324	発送手続きの外部委託化
総会費	0	0	0	
支部助成金	30,000	0	△ 30,000	
校歌祭費用	0	0	0	
朝陽クラブ運営費用	0	0	0	
雑損失	0	2,538	2,538	
活動助成金	50,000	0	△ 50,000	
母校支援費	100,000	60,000	△ 40,000	
予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
費用小計	9,458,050	8,401,293	△ 1,056,757	
一般活動収支	576,950	814,164	237,214	
●100周年記念事業				
＜収益の部＞				
100周年記念募金	10,000,000	4,701,000	△ 5,299,000	当初予想に届かず
館山寮再建募金	10,000,000	5,951,010	△ 4,048,990	〃
収益小計	20,000,000	10,652,010	△ 9,347,990	
＜費用の部＞				
朝陽奨学金	2,100,000	1,200,000	△ 900,000	就学援助金発生せず
館山寮再建引当金	10,000,000	5,951,010	△ 4,048,990	
事業準備室	920,000	807,704	△ 112,296	維持経費節減
ホームカミングディ	0	0	0	
記念音楽会	100,000	0	△ 100,000	実費発生せず
記念ロゴ	250,000	156,184	△ 93,816	
100年誌	30,000	10,698	△ 19,302	
水上寮再生	30,000	0	△ 30,000	
朝陽合唱団	30,000	0	△ 30,000	
募金趣意書印刷	633,000	583,260	△ 49,740	
費用小計	14,093,000	8,708,856	△ 5,384,144	
100周年記念事業収支	5,907,000	1,943,154	△ 3,963,846	
当期経常増減額	6,483,950	2,757,318	△ 3,726,632	

財産目録　　2021年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
＜資産の部＞		＜負債の部＞	
現金	45,585	源泉徴収所得税預かり	14,696
（募金等引当預金）		予納会費−74、75回生	4,065,000
定期預金	30,000,000	預り金−館山寮再建募金	27,392,083
定額貯金	13,000,000	長期会費未経過分引当金	11,668,664
郵便貯金	22,000,000	計	43,140,443
（その他預金）			
普通預金	9,419,155	＜繰越金＞	
郵便貯金	11,214,846	100周年記念募金繰越金	37,079,198
未収入金	2,501,361	一般繰越金	8,400,903
器具備品	439,597	計	45,480,101
合計	88,620,544	合計	88,620,544

剰余金処分案

1.前年度繰越金	42,722,783
当期経常増減額	2,757,318
計	45,480,101
2.これを次の通り処分します	
次期繰越金	45,480,101

（註）100周年記念募金繰越金

2015年度	17,341,200
2016年度	11,853,673
2017年度	16,357,407
2018年度	9,850,442
2019年度	12,010,910
2020年度	4,701,000
募金累計	72,114,632
奨学金	△ 6,000,000
館山寮改修費用	△ 16,500,000
集いの場費用	△ 5,641,363
100周年記念事業費	△ 6,894,071
支出累計	△ 35,035,434
差引繰越金	37,079,198

会計監査報告

2020年度朝陽同窓会の会計監査を行いましたところ、会計帳簿及び証憑書類との照合結果については、いずれも一致していることを確認いたしました。

2021年4月16日　　監事　　中越一統・廣田勝彦



議案4　2021年度事業計画と予算

◆事業計画　　全般
総括　今年度もコロナ禍の影響を受け、同窓会活動が大きく制約を受けている。しかし、館山寮の再建や100周年記念事業の追い込みとなる大変重要な年なので、創意工夫を凝らし成果が出るよう努力する。

◆事業計画　100周年記念事業
－朝陽奨学金　　今年度15名に給付、来年度から2023年度以降10年分の寄金積み立てを開始する。
－記念名簿　　2022年に（株）サラトという同窓会支援専門業者に委託して作成の予定
－記念音楽会　　2022年度、または2023年度に開催の予定（コロナの影響を加味して判断）
　開催団体は以下の通り、各ジャンルでの個別開催とする
　　合唱　　朝陽合唱団、六声会合唱団
　　オーケストラ　　管弦OB会
　　軽音楽　　軽音楽OB、有志　（ライブハウス開催）
－記念祝賀会　2022年10月23日（日）に京王プラザホテルで開催の予定
　参加者400名、立食または着座（コロナの影響を加味して判断）
　ゲストなどは今年度中に決定する
－100周年記念誌「新宿高校100年の歩み」
　「通史」と「100年誌」の２冊を作成
－銘板作成　　朝陽募金賛同者の内、銘板掲載可の方の銘板を2022年に設置の方向
－ホームカミングデー　　今年度はコロナ禍のため開催断念

◆100周年記念事業収支計画
－募金　　2022年度末までに100周年記念募金１億円と館山寮再建募金５千万円達成を目標
－奨学金　　2023年から10年間毎年150万円給付を継続するための寄金を引き当てる
－館山寮改築　維持補修費に充当
－集いの場　　今後無償借用可能な物件が出たときの初期費用として留保
－祝賀会・音楽会・100年誌・銘板
　100周年記念募金から補助金を支給する。支出に当たっては予め予算を作成し代表幹事会の承認を得る
－館山寮再建募金　全て館山寮再建のために引き当て、もし残金があれば寮の維持費に充当
－2022年度末までの募金最終目標

100周年記念募金	10,000万円
館山寮再建募金	5,000万円

－2022年度末計上の積立金

奨学金	2023年から10年間毎年150万円給付を継続	1,500万円
館山寮改築	今後の寮の維持費に充当	2,600万円
集いの場	今後無償借用可能な物件が出たときの初期費用	1,380万円
館山寮再建	館山寮再建に引き当て	5,000万円

◆事業計画　一般活動

「朝陽」70号発行	館山寮と100周年記念事業を採り上げる	６月
総会	書面開催	６月
支部朝陽会	開催	未定
朝陽祭	開催	９月
校歌祭	開催	10月
新宿戸山ゴルフ交流戦	開催	10月
キャリアガイダンス		
母校主催	現役生対象のキャリアガイダンスに講師派遣	２月
同窓会主催	OBOGの為のキャリアガイダンス　３～４回開催予定	通年

◆予算
－活動区分別収支
　一般活動の収支はゼロ
　100周年記念事業の収支は709万円の黒字
　→　詳細は次頁以下をご覧ください。

2021年度予算案
2021年4月1日より2022年3月31日まで

△印は実績に対して予算が少くなったことを示す

勘定科目	前年実績	予算	差異	差異理由(実績→予算)
●一般活動				
＜収益の部＞				
入会金	4,100,000	4,100,000	0	
年会費	629,000	691,000	62,000	
長期会費	3,623,756	3,986,000	362,244	前年実績の10%増
寄付金	60,000	60,000	0	
朝陽広告料収入	427,000	452,000	25,000	
預金受取利息他	15,701	10,000	△ 5,701	
財団事務受託収入	360,000	360,000	0	
収益小計	9,215,457	9,659,000	443,543	
＜費用の部＞				
事務局手当	2,916,000	3,400,000	484,000	事務局員交代のため重複期間分手当
通勤交通費	215,248	230,000	14,752	
会議費	30,000	30,000	0	
通信費	366,109	370,000	3,891	
光熱費	161,013	190,000	28,987	
消耗品費	434,770	530,000	95,230	
記念品・慶弔費	60,000	120,000	60,000	
銀行郵貯手数料	173,170	170,000	△ 3,170	
取扱手数料	278,388	240,000	△ 38,388	
減価償却費	115,683	138,820	23,137	
出張旅費	0	0	0	
名簿印刷発行費	127,050	127,050	0	
朝陽発行費	3,461,324	3,461,000	△ 324	
総会費	0	0	0	
支部助成金	0	30,000	30,000	
校歌祭費用	0	0	0	
朝陽クラブ運営費用	0	0	0	
雑損失	2538	0	△ 2,538	
活動助成金	0	50,000	50,000	
母校支援費	60,000	60,000	0	
予備費	0	500,000	500,000	
費用小計	8,401,293	9,646,870	1,245,577	
一般活動収支	814,164	12,130	△ 802,034	
●100周年記念事業				
＜収益の部＞				
100周年記念募金	4,701,000	10,000,000	5,299,000	
館山寮再建募金	5,951,010	10,000,000	4,048,990	
収益小計	10,652,010	20,000,000	9,347,990	
＜費用の部＞			0	
朝陽奨学金	1,200,000	1,500,000	300,000	就学援助金として
館山寮再建引当金	5,951,010	10,000,000	4,048,990	
事業準備室	807,704	0	△ 807,704	レイフラットとの契約解除
ホームカミングディ	0	0	0	
記念音楽会	0	100,000	100,000	練習場所借り賃補助
記念ロゴ	156,184	238,000	81,816	
100年誌	10,698	430,000	419,302	編集作業開始
水上寮再生	0	30,000	30,000	
朝陽合唱団	0	30,000	30,000	
募金趣意書印刷	583,260	580,000	△ 3,260	
費用小計	8,708,856	12,908,000	4,199,144	
100周年記念事業収支	1,943,154	7,092,000	5,148,846	
当期経常増減額	2,757,318	7,104,130	4,346,812	

財団朝陽会財務諸表

財団法人朝陽会は館山寮と旧水上寮の所有者であり、寮の運営管理、臨海教室の支援などの事業を行っています。組織としては、朝陽同窓会とは別組織ですが、その理事会及び評議員会メンバーは同窓会員、教師、PTA 役員で構成されていて、代表理事は朝陽同窓会長が務めています。

運営管理事務手続きは朝陽同窓会事務局が担当するなど、朝陽同窓会とは密接な関係にあり、同窓会を通じて行っている募金活動（100 周年記念事業募金、館山寮再建募金など）の結果集まった寄付金も朝陽会の活動の用に供されます。特に、館山寮の再建などにつき財団朝陽会と朝陽同窓会は密接に連携して事業を進めて行く必要があり、以下に財団朝陽会の財務諸表を掲載します。

①令和２年度　貸借対照表総括表
令和３年３月31日現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産（現金、預金）			
流動資産合計	5,176,300	7,130,478	△ 1,954,178
2. 固定資産			
(1)基本財産（土地、建物）			
基本財産合計	94,100,673	85,766,676	8,333,997
(2)特定資産（館山寮再建等引当資産）			
特定資産合計	71,073,820	87,298,820	△ 16,225,000
固定資産合計	165,174,493	173,065,496	△ 7,891,003
資産合計	170,350,793	180,195,974	△ 9,845,181
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債（前受金、未払金）			
流動負債合計	6,021,361	6,316,361	△ 295,000
負債合計	6,021,361	6,316,361	△ 295,000
Ⅲ .正味財産			
1. 一般正味財産	164,329,432	172,075,087	△ 7,745,655
2. 指定正味財産	0	1,804,526	△ 1,804,526
正味財産合計	164,329,432	173,879,613	△ 9,550,181
負債および正味財産合計	170,350,793	180,195,974	△ 9,845,181

②令和２年度　正味財産増減計算書総括表
自：令和２年４月１日　至：令和３年３月31日

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
（1） 経常収益			
賛助会員受取会費	4,035,000	3,975,000	60,000
館山寮運営事業収益等	4,612	7,595,127	△ 7,590,515
経常収益合計	4,039,612	11,570,127	△ 7,530,515
（2） 経常費用			0
減価償却費	5,540,003	4,915,157	624,846
委託費	656,660	7,710,034	△ 7,053,374
消耗品費	0	407,344	△ 407,344
保険、賃借料	387,976	814,722	△ 426,746
管理人給与	500,000	500,000	0
光熱水、燃料費	387,976	794,391	△ 406,415
通信費	33,681	1,739,795	△ 1,706,114
支払助成金、負担金	207,900	468,090	△ 260,190
その他費用	234,597	465,299	△ 230,702
経常費用合計	7,948,793	17,814,832	△ 9,866,039
当期経常増減額	△ 3,909,181	△ 6,244,705	2,335,524
2. 経常外増減の部			
（1） 経常外収益	0	86,594,294	△ 86,594,294
（2） 経常外費用	5,571,000	3,863,195	1,707,805
当期経常外増減額	△ 5,571,000	82,731,099	△ 88,302,099
当期一般正味財産増減額	△ 7,675,655	76,486,394	△ 84,162,049
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産期首残高	172,075,087	95,658,693	76,416,394
一般正味財産期末残高	164,329,432	172,075,087	△ 7,745,655
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	1804526	0	1804526
指定正味財産期末残高	0	1,804,526	△ 1,804,526
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	164,329,432	173,879,613	△ 9,550,181

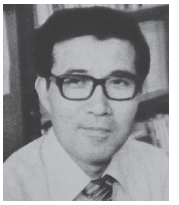
追悼文・訃報

岩波　祐治　先生（享年八九歳）

令和二年八月十三日ご逝去

教科：数学

在籍：昭和四一年五月～昭和五九年四月（十八年間）



岩波先生の想いで

高橋　望（三五回）

恩師、岩波裕治先生のご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、追悼文を寄稿させて頂くにあたり、久しく見ていなかった卒業アルバムを押入れの奥の奥から引っ張り出した。少し色褪せたそのアルバムの中から若かりし頃の顔・顔・顔。そして、自然と在学中の色々な想いでが脳裏をよぎった。懐かしくも有り、そして気恥ずかしくもある数々の想いで達。

我々三五回生は、昭和五五年四月に入学し、そして同五八年三月に卒業した。我々はどうしたはずみか以前より一クラス多い九クラスだった。

私と岩波先生との一番の接点は、三年生の時に担任をして頂いた事に尽きる。クラスは、「A」であった。当時は、三年生になると進路に沿ってクラス分けが実施され、Aクラスは理系の最右翼。そして、クラスが進むに従って文系色が強くなっていくという具合であった。岩波先生は、数学の教鞭を執っておられた。先生の風貌は、身長が高くスマートで、髪型は七三分けで眼鏡を掛けていた。とても穏やかな口調でお話しになり、常に授業では白衣を着て教壇に立っていたので、学者然とした佇まいを身にまとった先生であった。

ある日、クラス内で、「岩波先生がテレビに出ているらしい」という噂が飛び交った。今でこそ、当たり前の様に大学の教授やら何やらが、コメンテイターというカテゴリーでテレビ出演する時代になったが、当時は自分の知っている人がテレビに出るなんて有り得ない事（少なくても私はそう思っていた）だった。早速、友人に教えられた番組のチャンネルを自宅で回してみた。そこには、紛れもない「我々の岩波先生」が出演していた。ＮＨＫの「高校講座　数Ⅰ」という番組であった。先生は、新宿高校の授業と同じく白衣を身にまとい、穏やかな語り口で日本全国の生徒に教鞭を執られていたのだ。それから、先生を見る目が変わったのはいうまでなく、私の秘かな自慢話になったのも間違いなかった。

こんなエピソードもある。当時、先生は「平林」というニックネームで生徒の間で呼ばれる事もあった。Aクラスは、運動部の生徒が比較的多かった。ある日、数Ⅲの授業で、岩波先生が黒板に向かって数式を書いていた時、野球部でピッチャーをしている某生徒が、何を思ったか、突然「平林！」と小声で囁いた。すると、調子にのった他の生徒が、一人、二人…と同じように「ひらばやし！」、「ヒラバヤシ！」と囁き出した。そして、そのウエーブがちょっとした合唱レベルになった時、クルッと踵を返した先生は、ニンマリと笑いながら「おまえたち、うるさい」と我々をたしなめられたのだった。普段は、穏やかな学者然とした物腰の先生だったが、とてもユーモアが有りウエットに富んだ人格者でもあった。

井村　誠司　先生（享年八四歳）

令和二年八月　ご逝去

教科：数学

在籍：昭和四四年四月～平成元年三月（十年間）



各停列車の旅

川村　喜昭（二九回）

ＳＮＳ全盛の世に移行しても依然年賀状のやり取りを続けている。添えられた文言で差出人の近況を知り、驚かされたり、奮闘振りに励まされた気分になったりとささやかな喜びがある。一方、年末に頂戴する喪中葉書で先輩や知人のご不幸に接し、昨今は筆不精ならぬ連絡不精やらメール不精と言うそうだが、平素の疎遠を恥じることも多い。

昨年末に井村先生の奥様からの書状で先生が逝去された旨を知った。それも八月と随分と前のことではないか。卒業クラスのメンバーから訃報を聞いた記憶もなく、お悔やみを申し上げる機会を逸した無念もあり、絶句してしまった。コロナ禍が落ち着いた後のクラス会でお会いできるのを楽しみにしていたのだが。

井村先生には昭和四九年から、一年Ｃ組、二～三年Ｆ組と三年間お世話になった。ご体調が優れずとても辛そうに授業をされていた時期もあり、大いに心配した。生徒がザワつく授業中に「体調が悪いので頼むから静かにしてくれ」と弱々しくおっしゃった時には、他の先生にはいろいろと突っ込むやんちゃ達もさすがに何も言えなかった。怒鳴られるより、この方が余程効いた。先生の数学の授業は、絡み合った糸を静かに解すように淡々と進むが、生徒の理解を待つ目配りと優しさを感じた。私は文系だが私大受験科目の一部を数学としたのは、先生のおかげで数学に拒否感なく接することができたからだと思う。

下校時にＪＲ新宿駅改札前で井村先生に遭遇したことがあった。中央線快速電車ではなく敢えて中央本線の各停列車に乗って八王子駅経由で帰宅するのだとおっしゃっていた。密かな楽しみだったのだろうか、妙に照れながら手を振り去られた光景と、鉄道ファンはこんな楽しみ方もするのだなと得心したのを思い出す。

井村先生は、クラス会や周年同期会の出席率が実に高かった。後になって知ったのだが、先生は長い間週三回の透析を続けており、実は治療日程を何とか調整して体調も整え、奥様によれば時には少々無理をしてでも出向かれたそうだ。動機は「このクラスの連中と会うのは、構えなくていいから良いんだよね」と伺った。一昨年の我々の還暦記念同期会にご出席の折には「懐かしい皆んなに会えて大変嬉しい。新宿高校に入学した頃の初々しい少年少女たちが、途中でグレもせず、まともに還暦を迎えるまでに成長したものだと思うと、感無量だ。」のコメントを頂戴した。先生に導いて頂いたクラスメンバーは何と幸せなことか。

井村先生は、おそらくお好きだった各停列車に乗り、既に出立された。あの優しい眼差しで、車窓からの世界中の風景を楽しんでいらっしゃるに違いない。



訃報

恩師訃報

小野塚　克治　先生
ご逝去：二〇二〇年二月二八日
享年：八八歳
教科：社会科
在籍：昭和六十年四月
～平成四年三月
（七年間）

会員訃報

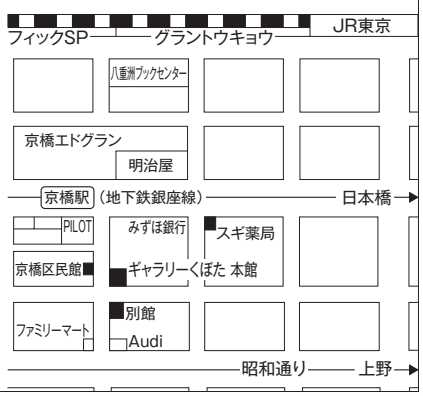
椎名　政夫　さん（中一九回）
ご逝去：二〇二一年二月十四日
享年：九三歳



2021年「第27回 0の会展」のご案内

故 吉江新二先生を慕う絵画部OBなどで結成された「0の会展」は、下記要領で本年も開催されます。どうぞご高覧ください。

会期：2021年11月15日（月）～11月26日（日）
時間：午前11時～午後6時30分
場所：ギャラリーくぼた本館4階
　　中央区京橋2-7-11 TEL03-3563-0005（代表）
東京メトロ銀座線「京橋」徒歩1分
都営地下鉄浅草線「宝町」徒歩1分
JR「東京」八重洲口徒歩10分



編集後記

収束せぬコロナ禍により、今年も多くの同窓会活動が中止となりました。

このため、同期会報告、支部報告、母校便りなどの定例記事が大幅縮小。記事を楽しみにしていらっしゃる会員の方々には誠に申し訳ないこととなりました。

その分、今号では、随筆記事を増強して、読み応えのある記事内容とすることを心がけました。

引き続き、同窓会活動へのご協力よろしくお願い申し上げます。

（朝陽編集委員長　一八回　林　慶治郎）

東京都立新宿高等学校朝陽同窓会
同窓会会報　朝陽70号

発　行　日：２０２１年６月１日
発　行　人：東京都新宿区内藤町11番4
　　東京都立新宿高校内
　　朝陽同窓会長　橋本　健一
表紙デザイン：　草川　衛（18回）

非　売　品

本文（写真、文章）の無断転用転載はお断りいたします



「ひとつのルワンダ」を共に広げる

かつて、民族対立による悲劇を経験したルワンダ。ゼンショーは2011年、この悲劇を乗り越え2つの民族が手を取り合い「ひとつのルワンダ」を体現し活動するコーヒー生産者組合と、フェアトレードを開始しました。この活動によって生まれる社会開発資金は、水道設備の建設に活用され、多くの住民が容易に飲み水を汲めるようになりました。そして、生産地にある小学校では、家庭科教室の建設や学級文庫の導入など、民族の違いにとらわれることなく次世代を担う子どもたちの教育に役立てられています。また、このコロナ禍では、家庭科授業で子どもたちにマスクの作り方を習得してもらい、自分の家族だけでなく近隣住民にもマスクを配布できるようにするという新たな取り組みをおこなっています。

※ルワンダの子どもたちが描いた絵



※社会開発資金：原料買取価格の中で現地の人々が必要とする様々な生活改善活動に充てられる金額のこと。



左：駐日ルワンダ共和国特命全権大使 アーネスト・ルワムキョ
右：代表取締役会長兼社長 小川賢太郎









株式会社 ゼンショーホールディングス
代表取締役社長　小川 賢太郎（19回卒）
〒108-0075 東京都港区港南 2-18-1 JR 品川イーストビル　Tel：03-6833-1600

ZENSHO

2021年度朝陽同窓会総会を書面開催とすることのお願い

新型コロナウィルスの感染が終息せず、今年度も昨年同様に、同窓会総会は本誌「朝陽」を使っての書面開催となりました。

総会にお諮りする議案は、紙面70～76ページに記載してございます。内容をご検討のうえ、同封の賛否表明用紙に各議案に対する賛否を記入し、郵送（送料のご負担をお願いします）、FAX、またはメールにて７月12日（月）までに朝陽同窓会事務局までお送りくださいますようお願い申し上げます。なお、メールの場合は同封の賛否表明用紙は使わず、同窓会HPの「事務局からのお知らせ」欄の「2021年度朝陽同窓会総会のご案内」をクリックして、表示される案内に沿って賛否の意志表明をしてください。

書面開催の出席者数を本誌発送数として、その３分の２以上の賛成をもって可決とします。ただし、期日までに賛否ご意見を頂けなかった方は賛成として取り扱います。

同窓会費納入のお願い

皆様からいただく同窓会費は、同窓会活動に必須の血液です。血液不足で活動不全に陥らぬよう、今年もまた会費の納入をお願い申し上げる次第です。

なお、大変恐縮ではございますが、昨年度の紙上総会にて「寿会員制度」は廃止されておりますので、従来の寿会員に該当する方々にも会費の納入をお願い申し上げます。

☆会費の種類

①年 会 費… 2,000円

②長期会費…10,000円（６年間有効）

①、②のいずれかをお選び下さい。

☆会費の免除

・卒業時又は入学時に入会された会員は卒業後５年間は納入免除です。
今年は69～73回生の方々が該当します。

・現･旧職員[特別会員]は納入免除です。



恒例の新宿･戸山ゴルフ交流戦（10月22日（金）埼玉　開催）に
参加されませんか！
はじめての参加を希望される方は同窓会事務局までお問合せください。

朝陽同窓会事務局 Tel 03-5368-8366 Fax 050-3730-0138

朝陽同窓会フェースブック・ホームページもご利用ください
https://facebook.com/jchouyou
http://www.nchouyou.net/